

第3節 地域診断

本県の保健・医療に係る地域的課題について、人口構造、死亡原因、傷病別の受療状況等から分析を行いました。

また、エビデンス（根拠）に基づいて保健医療施策の方向性を決定するため、本計画の最終目標の指標である健康寿命QOL（生活の質）やSMR（標準化死亡比）と保健医療福祉サービス等との関連を分析し、本県及び二次保健医療圏ごとの保健医療の現状や課題を記載しました。

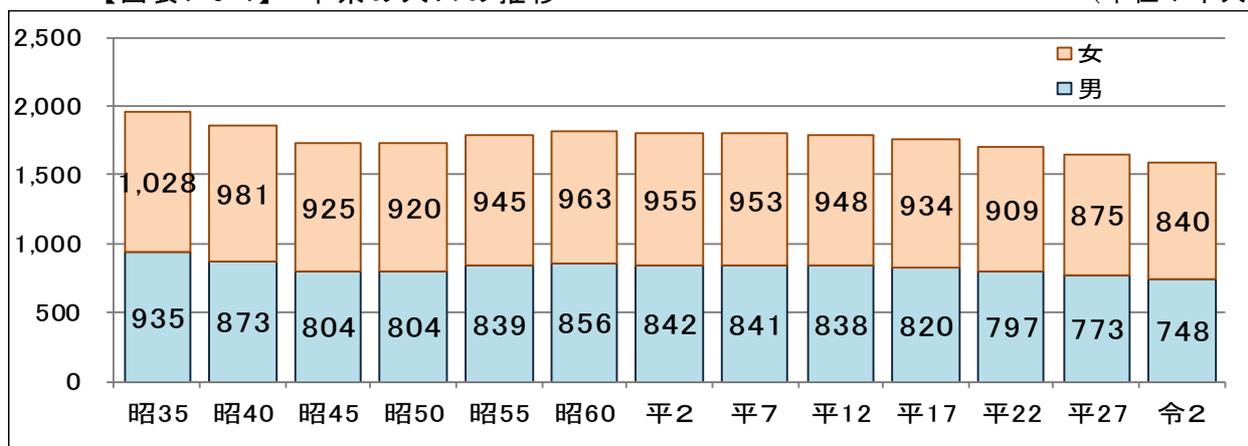
1 人口・世帯数

(1) 人口

- 令和2年の国勢調査による本県の総人口は、1,588,256人で、平成27年からの5年間で59,921人（3.6%）減少しています。
- 令和2年の総人口に占める年齢3区分別構成割合^{*1}は、年少人口が13.3%、生産年齢人口が53.9%、老年人口が32.8%となっており、全国よりも高齢化が進んでいます。平成27年と比較すると、年少人口が15,370人（7.0%）減少、生産年齢人口が97,564人（10.5%）減少しているのに対し、老年人口は26,157人（5.5%）増加しています。

【図表1-3-1】 本県の人口の推移

（単位：千人）



[国勢調査]

【図表1-3-2】 本県の年齢3区分別人口の推移

（単位：人，%）

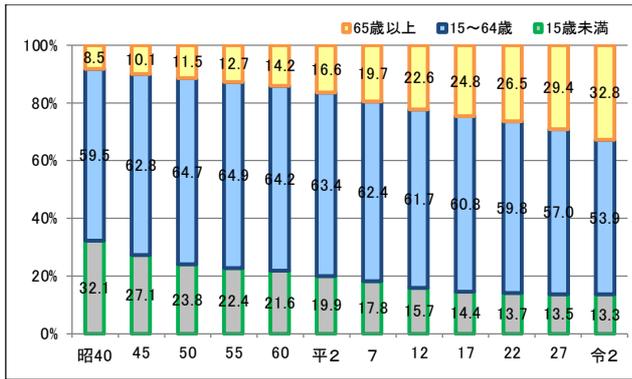
区分	平成22年		平成27年(a)		令和2年(b)		(b)-(a)	
総人口	1,706,242		1,648,177		1,588,256		△ 59,921	△ 3.6
15歳未満	233,379	13.7	220,751	13.5	205,381	13.3	△ 15,370	△ 7.0
15～64歳	1,016,150	59.8	929,758	57.0	832,194	53.9	△ 97,564	△ 10.5
65歳以上	449,692	26.5	479,734	29.4	505,891	32.8	26,157	5.5
計	1,699,221	100.0	1,630,243	100.0	1,543,466	100.0	△ 86,777	△ 5.3

（注）総人口には年齢不詳人口を含む。割合は年齢不詳人口を除いて算出。
端数処理のため、割合の計と内訳は一致しない。

[国勢調査]

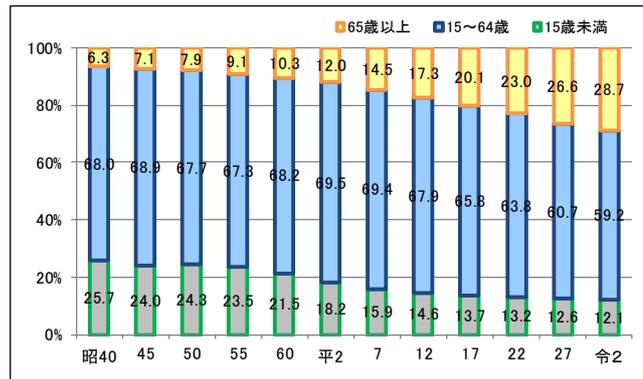
*1 年齢3区分別構成割合：年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）

【図表1-3-3】 本県の年齢構成の推移



[国勢調査]

【図表1-3-4】 全国の年齢構成の推移



[国勢調査]

○ 本県の総人口は、令和7年には令和2年より77千人減少し、約151万人と推計されています。年齢別に見ると、65歳未満人口は57千人減少し、980千人となる一方、65歳以上人口は531千人となることが見込まれています。

【図表 1-3-5】 本県の将来推計人口

(単位：千人，%)

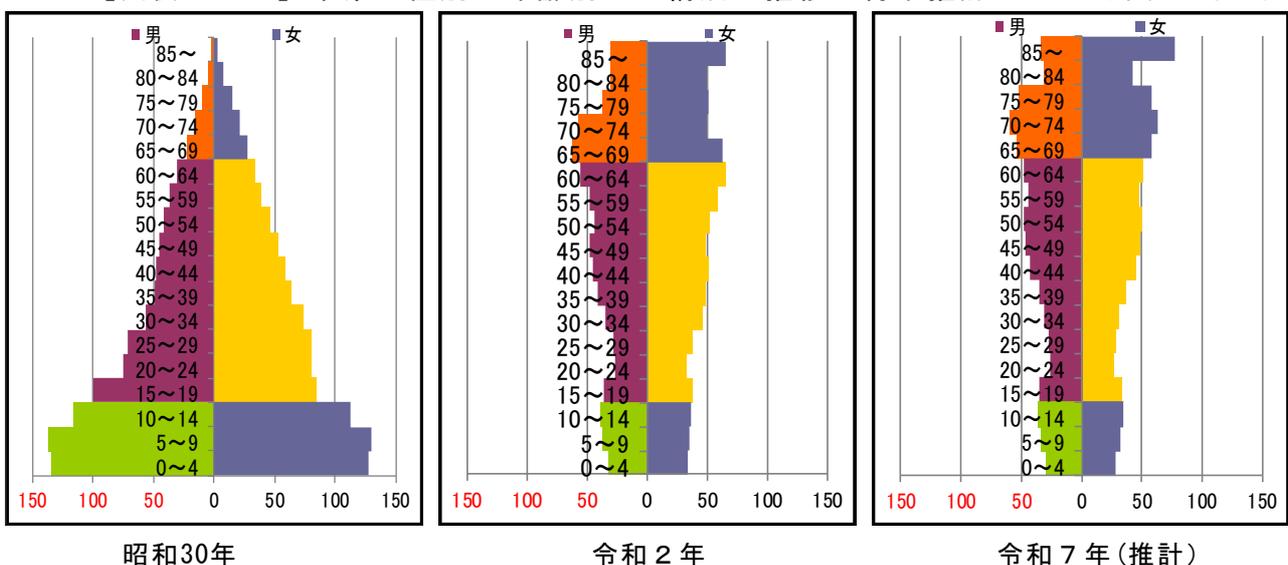
区分	昭和30年	令和2年	令和7年(推計)
総人口	2,044	1,588	1,511
15歳未満	756 (37.0)	205 (13.3)	195 (12.9)
15～64歳	1,162 (56.8)	832 (53.9)	785 (51.9)
65歳以上	126 (6.2)	506 (32.8)	531 (35.2)
75歳以上 (再掲)	41 (2.0)	262 (17.0)	295 (19.5)

(注) 昭和30年及び令和2年の総人口には年齢不詳人口を含み、割合は年齢不詳人口を除いて算出。

[昭和30年・令和2年：国勢調査，令和7年：都道府県別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）]

【図表 1-3-6】 本県の性別・年齢別人口構成の推移と将来推計

(単位：千人)



[昭和30年・令和2年：国勢調査，令和7年：都道府県別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）]

(2) 世帯構成

- 令和2年の国勢調査による本県の一般世帯*数は725,855世帯で、平成27年と比べると3,483世帯（0.5%）増加しています。
- 65歳以上の高齢者のいる世帯は324,685世帯であり、一般世帯の44.7%となっています。
このうち、「高齢単身世帯*2」は119,020世帯で、一般世帯の16.4%となっています。
また、「高齢夫婦世帯」は108,442世帯で、一般世帯の14.9%となっています。

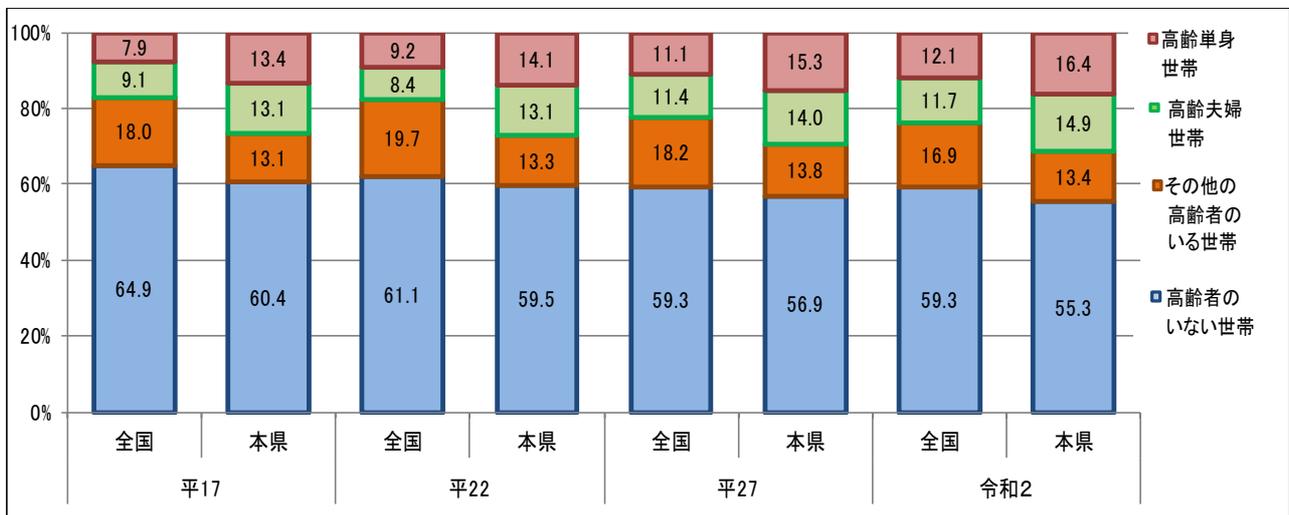
【図表 1-3-7】本県の世帯構成の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年(a)		令和2年(b)		(b)-(a)	
	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	増減率(%)
高齢者のいない世帯	436,780	60.4%	432,839	59.5%	411,239	56.9%	401,170	55.3%	△ 10,069	△ 2.4
高齢者のいる世帯	286,157	39.6%	294,434	40.5%	311,133	43.1%	324,685	44.7%	13,552	4.4
高齢単身世帯	96,567	13.4%	102,443	14.1%	110,741	15.3%	119,020	16.4%	8,279	7.5
高齢夫婦世帯	94,873	13.1%	95,610	13.1%	100,929	14.0%	108,442	14.9%	7,513	7.4
その他	94,717	13.1%	96,381	13.3%	99,463	13.8%	97,223	13.4%	△ 2,240	△ 2.3
一般世帯合計	722,937	100.0%	727,273	100.0%	722,372	100.0%	725,855	100.0%	3,483	0.5

[国勢調査]

【図表 1-3-8】本県及び全国の世帯構成の推移

(単位：%)



[国勢調査]

*1 一般世帯：世帯の種類には、「一般世帯」と「施設等の世帯」がある。
「一般世帯」：住居と生計を共にしている人の集まり、1戸を構えて住んでいる単身者、間借り・下宿などの単身者、会社などの独身寮の単身者。
「施設等の世帯」：寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所の入院者、社会施設の入所者、自衛隊営舎内居住者、矯正施設の入所者、その他

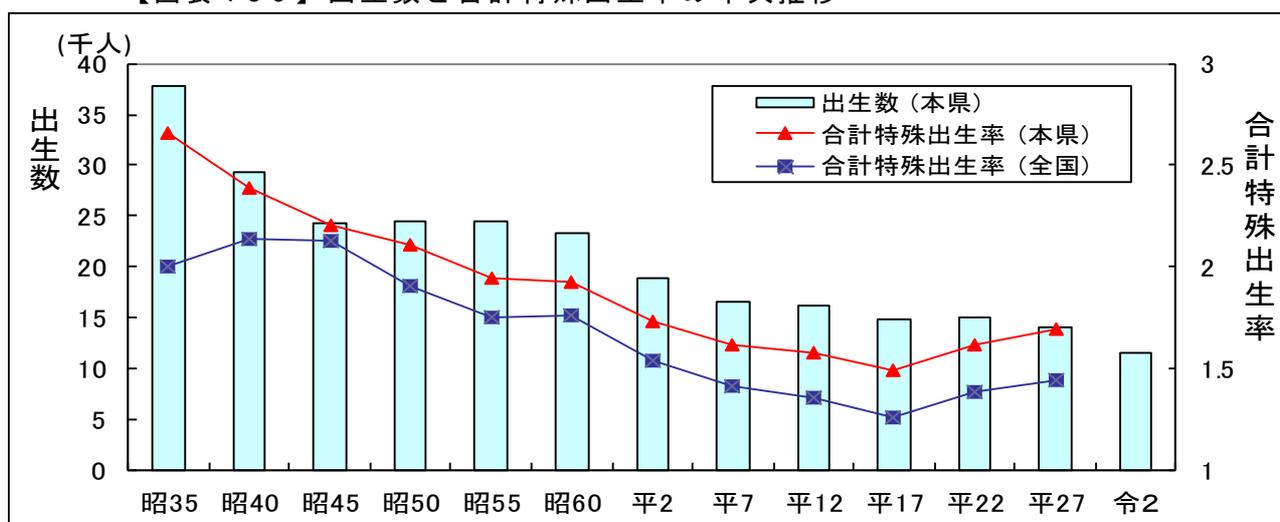
*2 高齢単身世帯：65歳以上の者1人のみの一般世帯（他の世帯員がないもの）
高齢夫婦世帯：夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦一組の一般世帯（他の世帯員がないもの）

2 人口動態

(1) 出生

- 本県の出生数は年々減少傾向にあり、平成22年は微増したものの、平成27年からは再び減少に転じ、令和2年は11,638人と、前年より339人減少しています。
 - 出生率^{*1}も年々低下し、令和2年は7.5となりましたが、全国に比べると0.6ポイント高くなっています。
- また、合計特殊出生率^{*2}は、令和元年は1.63となり、前年より0.07ポイント減少し、全国に比べ0.27ポイント高くなっています。

【図表 1-3-9】出生数と合計特殊出生率の年次推移



(単位：人)

区 分		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
出生数	本県	13,688	13,209	12,956	11,977	11,638
	全国	8.4	8.2	8.1	7.5	7.5
出生率	本県	7.8	7.6	7.4	7.0	6.9
	全国	1.68	1.69	1.7	1.63	-
合計特殊出生率	本県	1.44	1.43	1.42	1.36	-
	全国	-	-	-	-	-

※令和2年の死亡率は国勢調査（令和2年）の人口を用いて算出したもの [人口動態統計]

※令和2年の合計特殊出生率は令和4年1月時点で未公表

(2) 死亡

- 本県の死亡数は増加傾向にありましたが、令和元年度に減少に転じ、令和2年は21,501人と平成28年より109人減少しています。
- 死亡率^{*3}は、令和2年は13.9で前年より増加しており、全国に比べて2.6ポイント高くなっています。
- 平成7年から、死亡数が出生数を上回り自然減となっています。

*1 出生率：人口千人当たり出生数

*2 合計特殊出生率：母の年齢別出生数を年齢別女子人口で除して得た年齢別の値のうち、15歳から49歳までの数値を合計した値

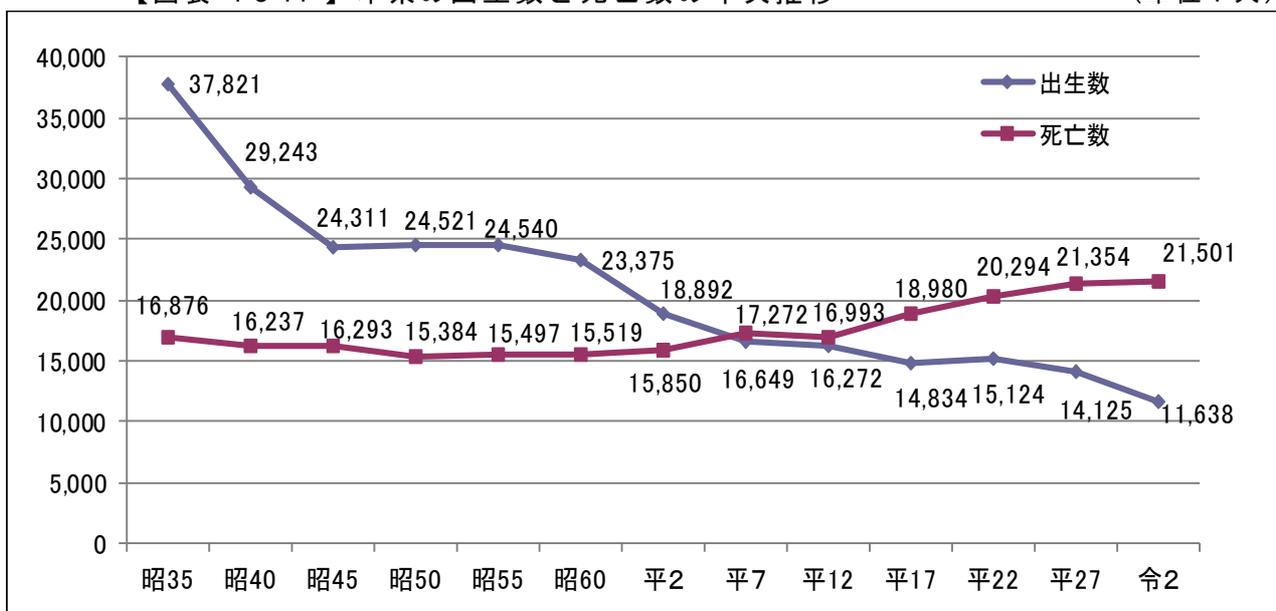
*3 死亡率：人口千人当たり死亡者数

【図表1-3-10】 死亡数，死亡率（人口千対）の年次推移 （単位：人）

区 分		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
死亡数	本県	21,610	21,833	22,106	21,834	21,501
	全国	10.5	10.8	11.0	11.2	11.3
死亡率	本県	13.3	13.5	13.7	13.7	13.9
	全国	10.5	10.8	11.0	11.2	11.3

※令和2年の死亡率は国勢調査（令和2年）の人口を用いて算出したもの [人口動態統計]

【図表 1-3-11】 本県の出生数と死亡数の年次推移 （単位：人）



[人口動態統計]

(3) 死産

- 令和2年の本県の死産^{*1}数は278胎（自然死産123胎，人工死産155胎）と，平成28年と比較して49胎減少しています。
- 令和2年の本県の死産率^{*2}は23.3で，全国の20.1を3.2ポイント上回っています。
- 令和2年の死産率を自然死産^{*3}と人工死産^{*4}別に見ると，本県は，自然死産は10.3で全国より0.8ポイント高くなっています。人工死産は13.0で全国より2.4ポイント高くなっており，全国に比べ自然死産・人工死産ともに高くなっています。

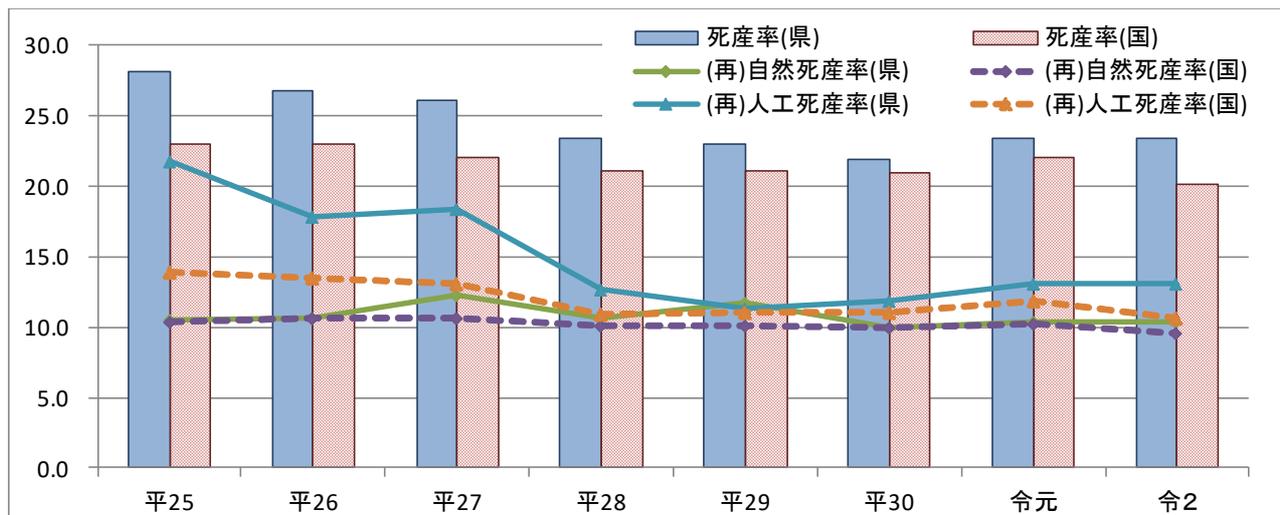
*1 死産：妊娠満12週（第4月）以後の死産であり，自然死産と人工死産がある。

*2 死産率：出産数（出生数＋死産数）千当たりの死産数

*3 自然死産：人工死産以外の死産

*4 人工死産：胎児の母体内生存が確実であるときに，人工的処置を加えたことにより死産に至った場合

【図表 1-3-12】死産率，自然死産率，人工死産率（出産千対）の年次推移



(単位：胎)

区 分			平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
死産	数	本県	327	311	289	287	278
	率	本県	23.3	23.0	21.8	23.4	23.3
		全国	21.0	21.1	20.9	22.0	20.1
(再掲) 自然死産	数	本県	149	158	133	126	123
	率	本県	10.6	11.7	10.0	10.3	10.3
		全国	10.1	10.1	9.9	10.2	9.5
(再掲) 人工死産	数	本県	178	153	156	161	155
	率	本県	12.7	11.3	11.8	13.1	13.0
		全国	10.9	11.0	11.0	11.8	10.6

[人口動態統計]

(4) 乳児死亡・周産期死亡

○ 本県の乳児及び新生児の死亡については，令和2年は，乳児死亡^{*1}数24人，新生児死亡^{*2}数7人となっています。

乳児死亡率^{*3}は2.1で，全国の1.8より0.3ポイント高く，新生児死亡率^{*4}は0.6で全国の0.8よりともに0.2ポイント低くなっています。

○ 本県の周産期死亡^{*5}数については，増減はありますが，減少傾向にあり，令和2年は，周産期死亡率^{*6}2.9で，平成28年より0.2ポイント減少し，全国よりも0.3ポイント低くなっています。

○ 周産期死亡数の内訳は，早期新生児死亡数が7人で，妊娠満22週以後の後期死産数は27胎です。

*1 乳児死亡：生後1歳未満の死亡

*2 新生児死亡：生後4週未満の死亡

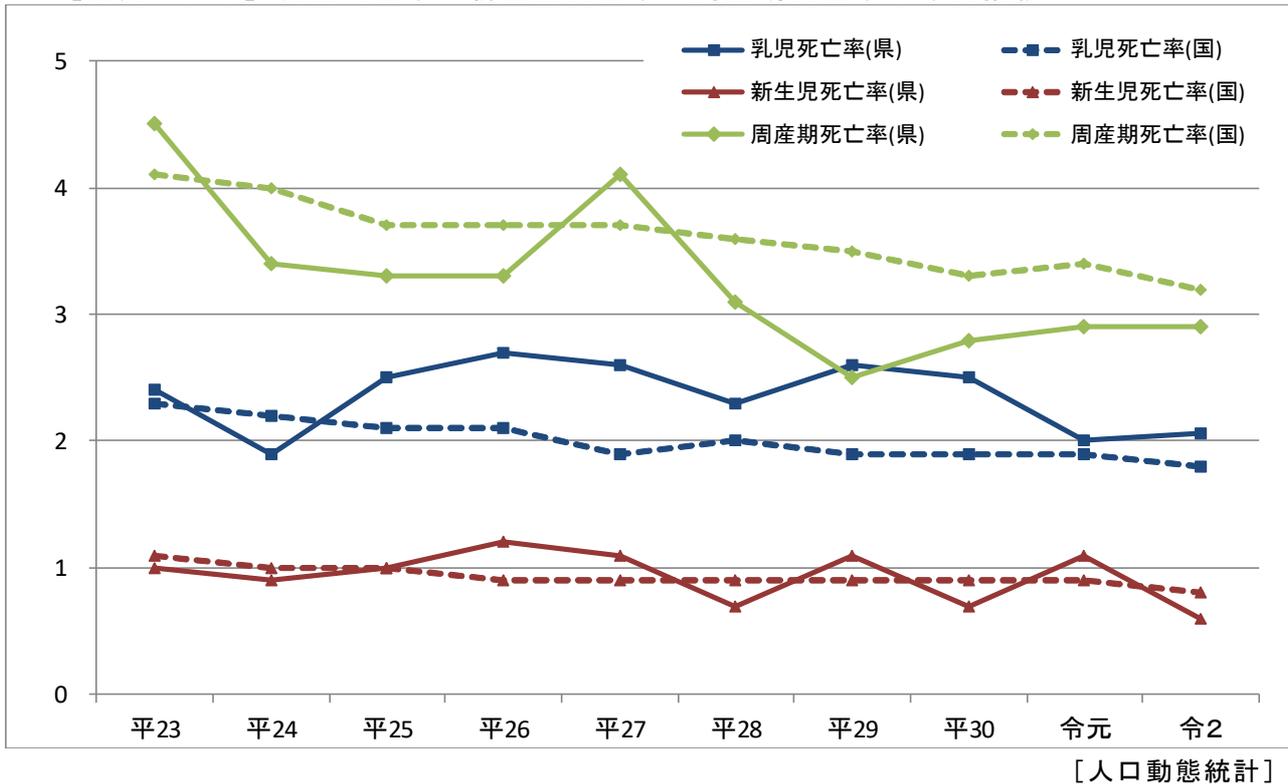
*3 乳児死亡率：出生数千人当たりの乳児死亡数

*4 新生児死亡率：出生数千人当たりの新生児死亡数

*5 周産期死亡：後期死産(妊娠満22週以後の死産)＋早期新生児死亡(生後1週未満の死亡)

*6 周産期死亡率：出産数千当たりの周産期死亡数

【図表 1-3-13】 乳児死亡率・新生児死亡率・周産期死亡率の年次推移



【図表 1-3-14】 乳児・新生児・周産期の死亡数及び死亡率の年次推移 (単位：人・胎)

区分		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	
乳児死亡数	本県	32	35	32	24	24	
乳児死亡率	本県	2.3	2.6	2.5	2.0	2.1	
	全国	2.0	1.9	1.9	1.9	1.8	
新生児死亡数	本県	9	14	9	13	7	
新生児死亡率	本県	0.7	1.1	0.7	1.1	0.6	
	全国	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	
周産期死亡数	本県	42	46	37	35	34	
内訳		早期新生児死亡	7	12	6	10	7
		後期死産	35	34	31	25	27
周産期死亡率	本県	3.1	3.5	2.8	2.9	2.9	
	全国	3.6	3.5	3.3	3.4	3.2	

[人口動態統計]

○ 乳児の死亡原因を見ると、「先天奇形・変形及び染色体の異常」が11人(45.8%)と最も高くなっています。

【図表 1-3-15】 本県の乳児死亡の原因 (令和2年) (単位：人，%)

区分	先天奇形等	周産期に発生した病態	不慮の事故	心疾患	その他	計
死亡数	11	4	1	0	8	24
割合	45.8	16.7	4.2	-	33.3	100.0

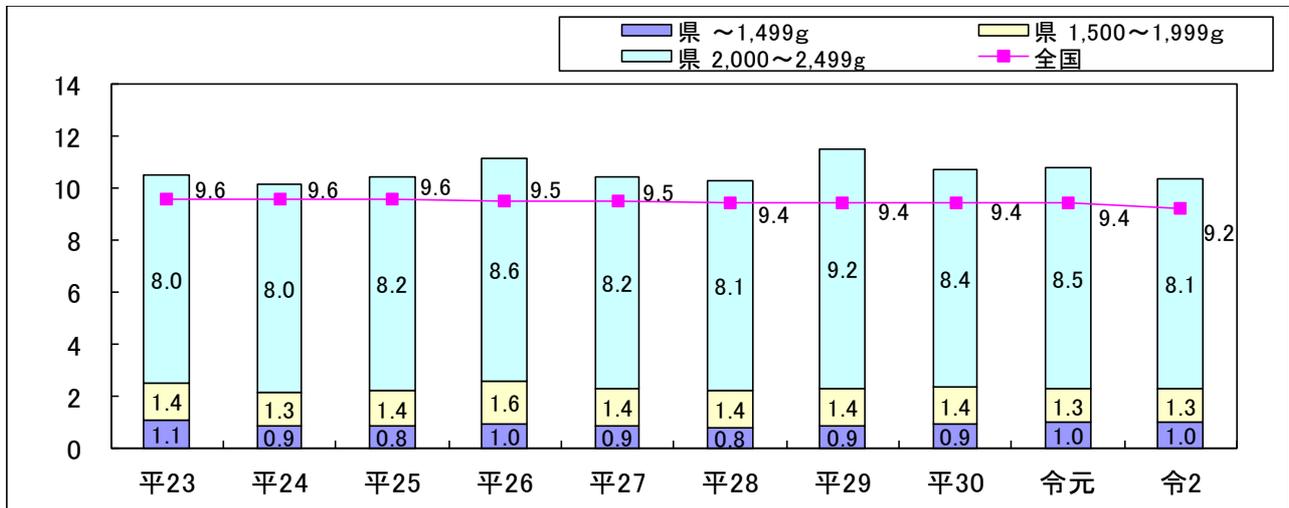
[人口動態統計]

(5) 低出生体重児の状況

○ 本県の令和2年における低出生体重児の出生割合は10.4%で全国の9.2%より高く、前年の10.8%より0.4ポイント減少しています。

出生体重別では、2,000g未満の割合は概ね横ばいで推移しています。

【図表 1-3-16】 全国の低出生体重児出生割合と本県の出生体重別低出生体重児出生割合の推移



[人口動態統計]

【図表 1-3-17】 本県の出生体重別低出生体重児出生数の推移

(単位：人)

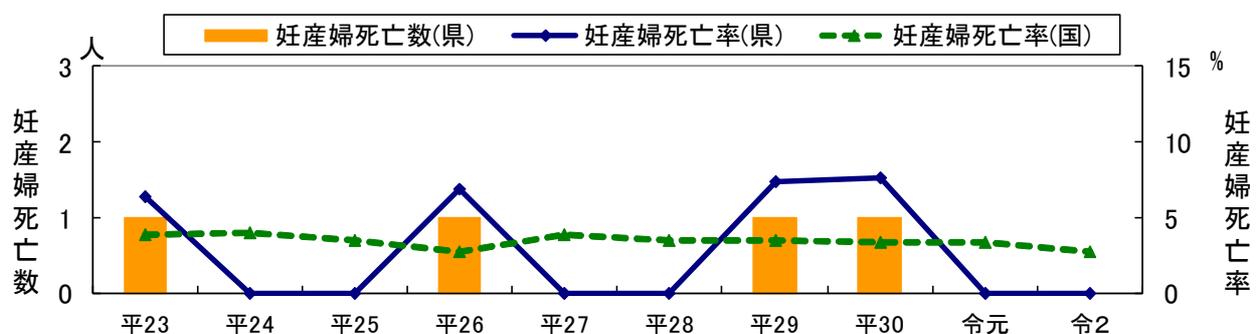
区分	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年	
	出生数	割合								
~1,499g	111	0.8	117	0.9	122	0.9	118	1.0	116	1.0
1,500~1,999g	191	1.4	188	1.4	179	1.4	152	1.3	146	1.3
2,000~2,499g	1,108	8.1	1,214	9.2	1,085	8.4	1,022	8.5	946	8.1
2,499g以下計	1,410	10.3	1,519	11.5	1,386	10.7	1,292	10.8	1,208	10.4

[人口動態統計]

(6) 妊産婦死亡

○ 本県の妊産婦死亡^{*1}数については、令和2年は0人でした。

【図表 1-3-18】 妊産婦死亡数，死亡率（出産10万対）



[人口動態統計]

*1 妊産婦死亡：妊娠中又は妊娠終了後満42日未満の女性の死亡

3 健康指標

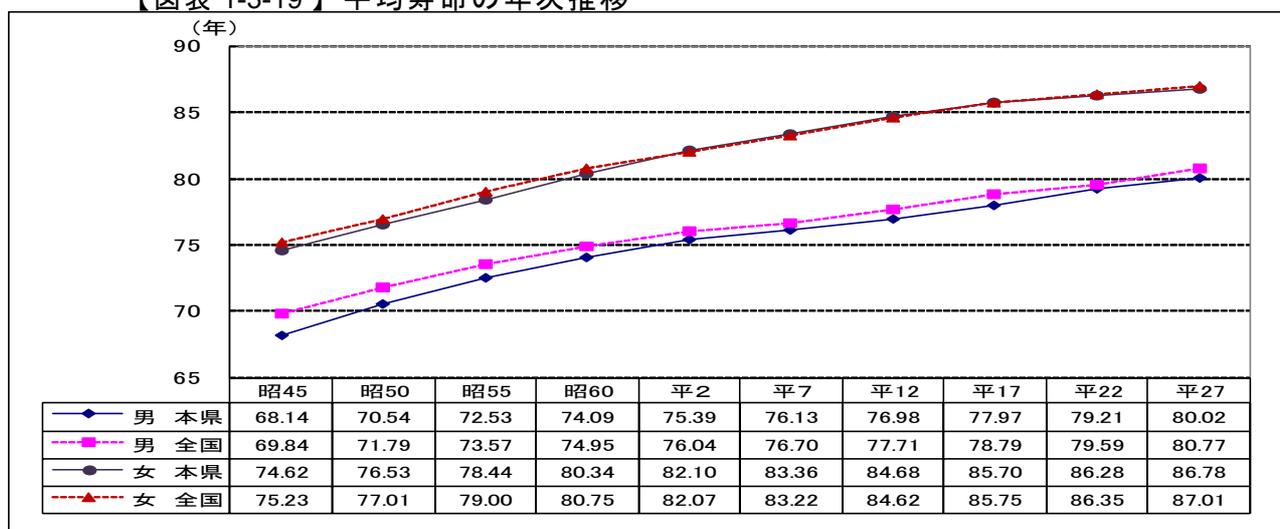
本計画の目標に関連する平均寿命^{*1}・健康寿命^{*2}・早世・QOL等の状況は、次のとおりです。

(1) 平均寿命と健康寿命

ア 平均寿命

- 都道府県別生命表によると、本県の平均寿命は、平成27年では、男性80.02年、女性86.78年となっており、男女とも年々伸びていますが、全国を下回っています。

【図表 1-3-19】 平均寿命の年次推移



[都道府県別生命表]

イ 健康寿命

- 厚生労働省研究班の算出データによると、本県の健康寿命は、男性73.40年、女性76.23年と、ともに全国を上回っています。

【図表 1-3-20】 健康寿命（令和元年）

（単位：年）

	本県		全国	
	男性	女性	男性	女性
日常生活に制限のない期間の平均	73.40	76.23	72.68	75.38
日常生活に制限のある期間の平均	7.21	10.85	8.73	12.06

[令和3年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)「健康日本21(第二次)の総合的評価と次期健康づくり運動に向けた研究」分担研究報告書「健康寿命の算定・評価と延伸可能性の予測に関する研究」]

*1 平均寿命：0歳の者が生存する年数の平均

*2 健康寿命：心身ともに自立した活動的な状態で生存できる期間

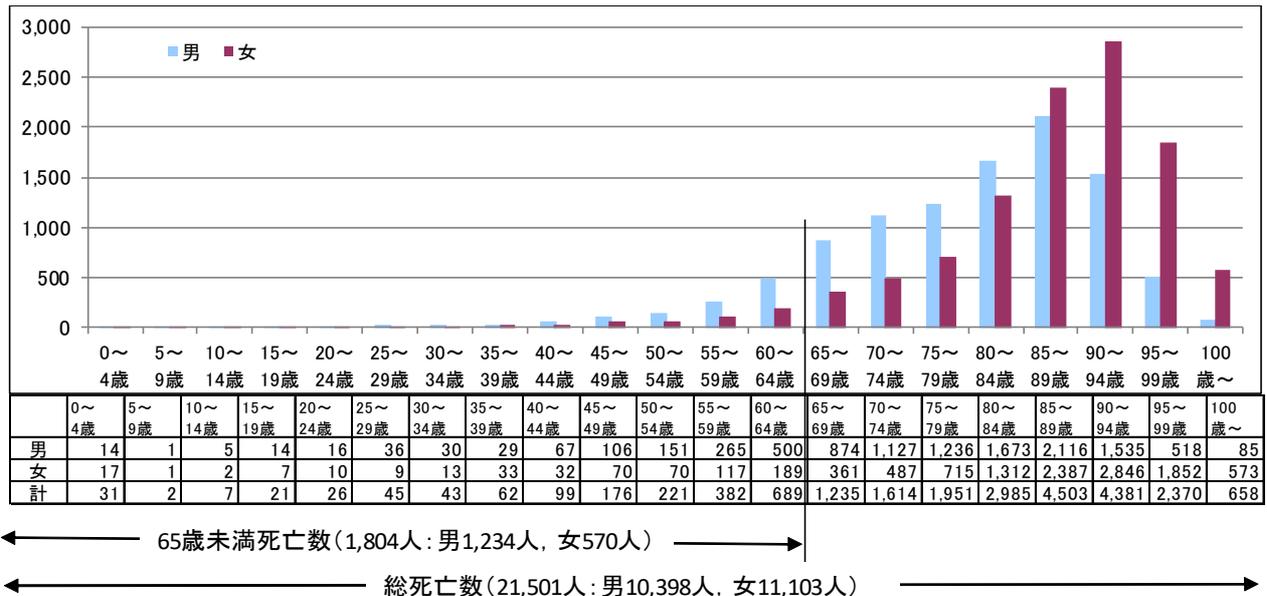
(2) 早世の状況

ア 65歳未満の死亡数

本県の令和2年における65歳未満の死亡数を見ると、男性1,234人、女性570人で、総数は1,804人となっています。65歳未満死亡割合（65歳未満の死亡数／総死亡数）を見ると、男性11.9%、女性5.1%と男女で2倍以上の開きがあります。

65歳未満の死亡割合の推移を昭和60年から見ると、男女ともに緩やかに減少しております。

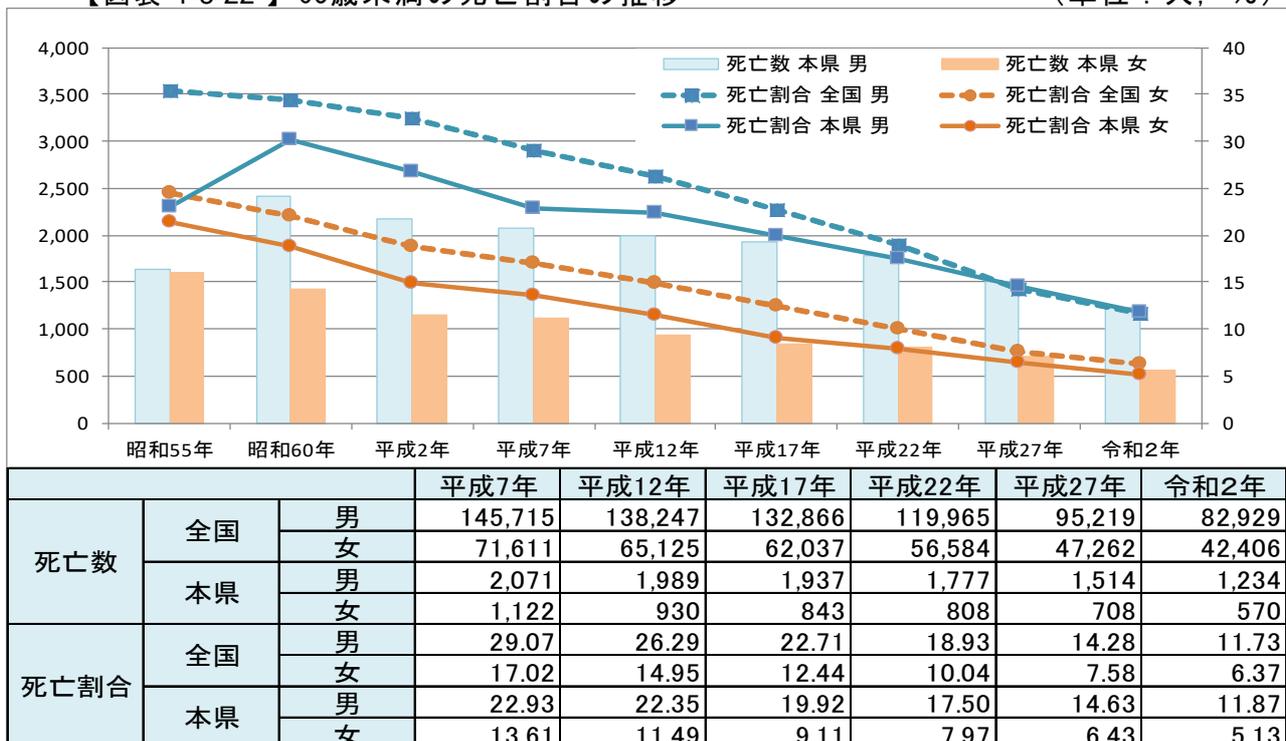
【図表 1-3-21】本県の年齢（5歳階級）別、性別死亡数（令和2年）（単位：人）



[人口動態統計]

【図表 1-3-22】65歳未満の死亡割合の推移

(単位：人、%)



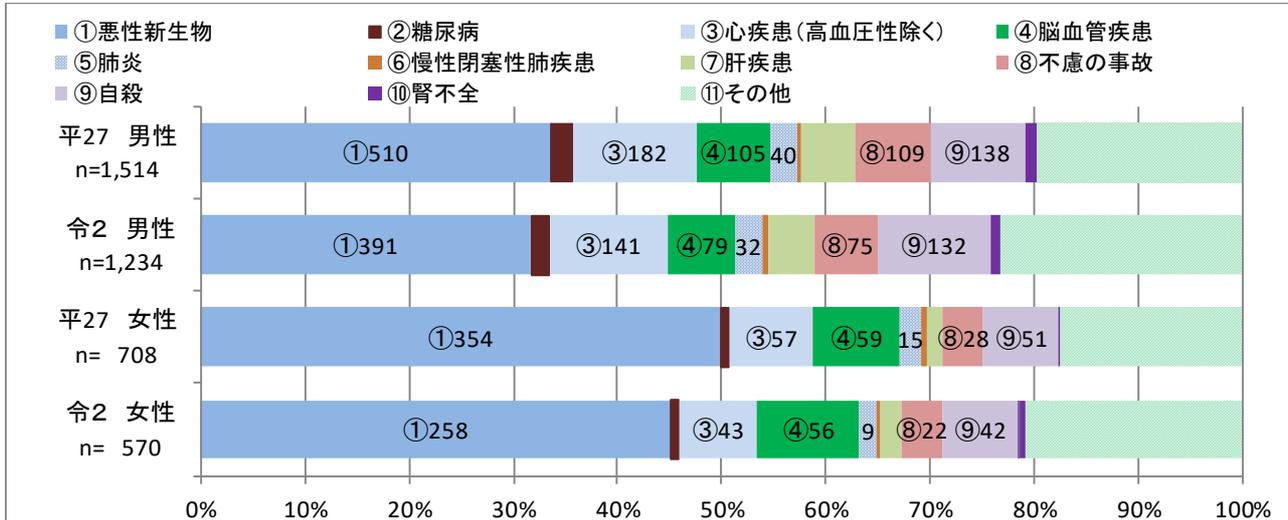
[人口動態統計]

イ 65歳未満の死因別死亡状況（令和2年）

- 令和2年の死因別死亡割合は、男性では悪性新生物，心疾患，自殺，女性では悪性新生物，脳血管疾患，心疾患，自殺の順で高くなっています。
- 平成27年の死因別死亡割合と比べると，男性では自殺，慢性閉塞性肺疾患が，女性では脳血管疾患，肝疾患，自殺，腎不全が増加しています。

【図表 1-3-23】 65歳未満の死因別死亡割合

（数値は人数）



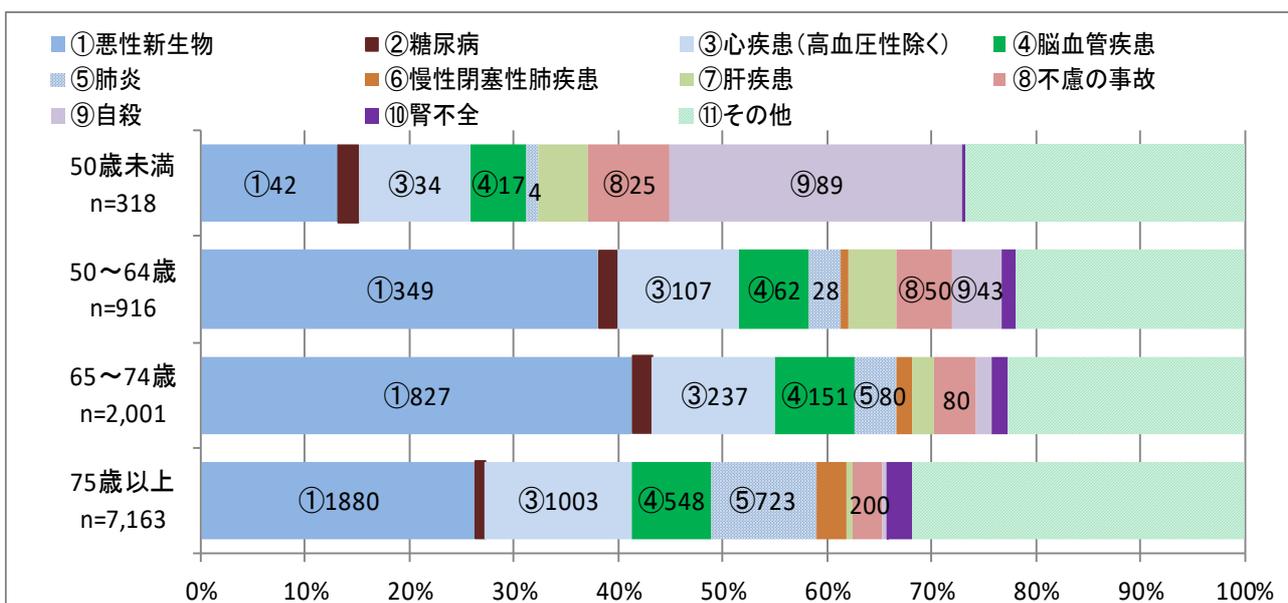
[人口動態統計]

ウ 年齢階級別の死因別死亡状況（令和2年）

- 男性の年齢階級別の死因別死亡状況を見ると、
 - ・ 50歳未満では，自殺が最も高く，次いで悪性新生物，心疾患の順です。
 - ・ 50～74歳では，悪性新生物，心疾患，脳血管疾患が上位を占めています。
 - ・ 75歳以上では，悪性新生物が最も多く，次いで心疾患，肺炎の順です。

【図表1-3-24】 年齢階級別・死因別死亡割合（男性）

（数値は人数）

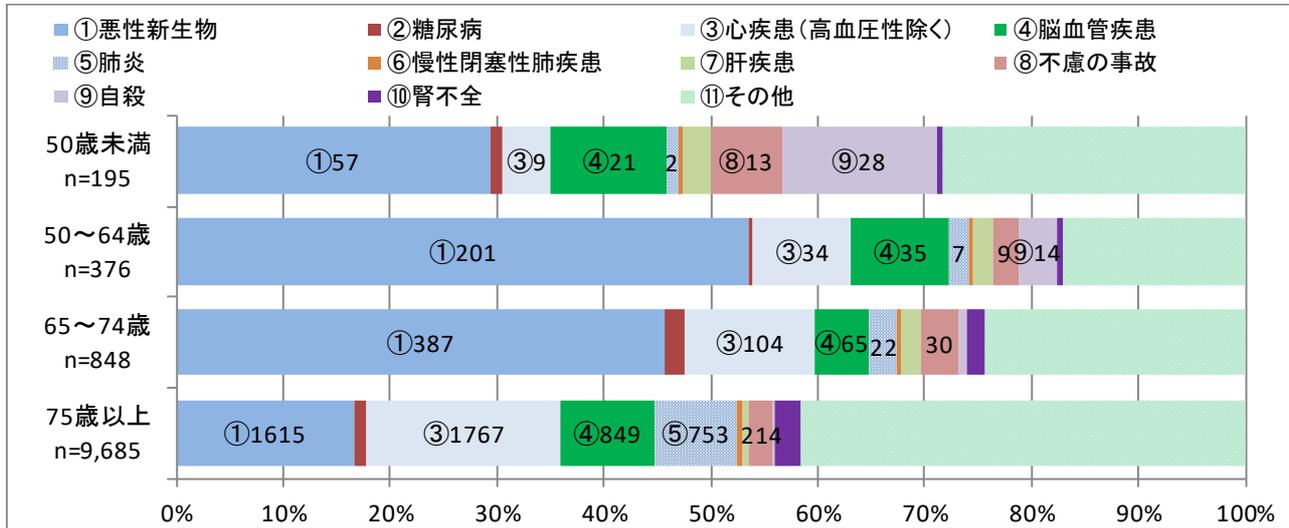


[人口動態統計]

- 女性の年齢階級別の死因別死亡状況を見ると、
- ・ 50歳未満では、悪性新生物が最も高く、次いで自殺、脳血管疾患の順です。
 - ・ 50～74歳では、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患が上位3位を占めています。
 - ・ 75歳以上では、他の年代よりも心疾患や肺炎の占める割合が高くなっています。

【図表1-3-25】年齢階級別・死因別死亡割合(女性)

(数値は人数)



[人口動態統計]

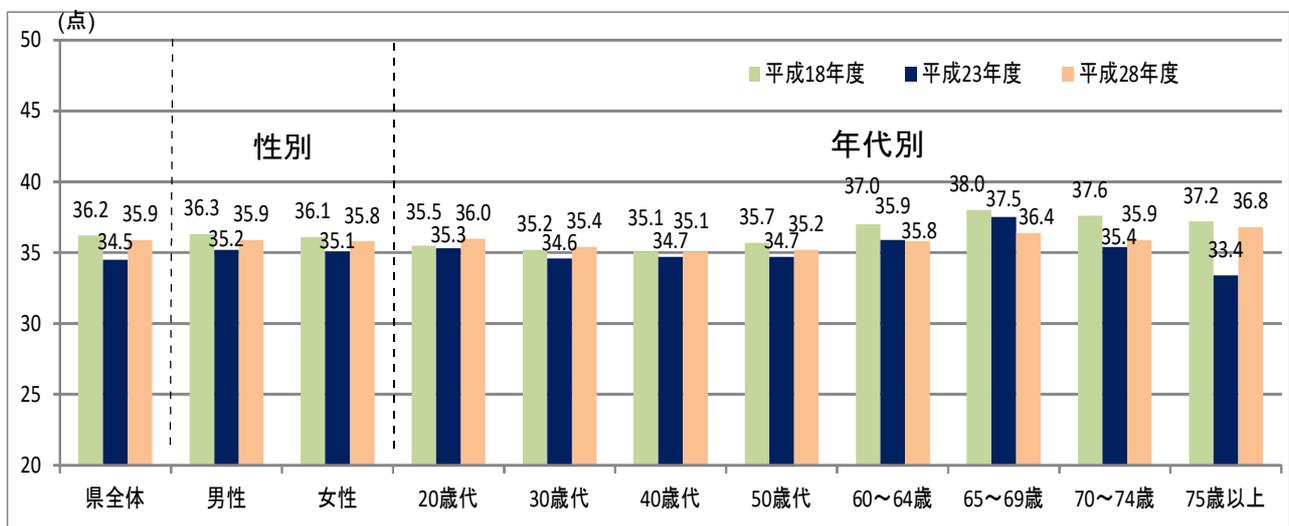
(3) 生活の質（QOL）

○ QOL^{*1}については、世界保健機構（WHO）で開発されたWHO/QOL-26の判断項目を参考に、県民保健医療意識調査において、本県独自に身体的領域・心理的領域・社会的関係・環境等の分野から項目を設定し調査を行っています。

平成28年度調査結果は、以下のとおりです。

- ・ 総合得点（55点満点）
県全体（35.9点）、男性（35.9点）、女性（35.8点）
平成23年度調査と比較すると、県全体・男性・女性ともに増加している。
- ・ 年代別
最も得点の高い年代：75歳以上（36.8点） 平成23年度 65～69歳（37.5点）
最も得点の低い年代：40歳代（35.1点） 平成23年度 75歳以上（33.4点）

【図表 1-3-26】QOL得点（県全体・性別・年代別）



[県民保健医療意識調査]

*1 QOL (Quality of Life)：生きがいや満足感，幸福感などを規定している様々な要因の質のこと。生活の自意識や生活者を取り巻く環境などが，この諸要因を構成していると考えられており，これらのバランスの良い向上が生活の質の向上につながると考えられている。

本章においては，下記によりQOLを数値化の上，分析を行っている。

- ・ 基礎資料：平成28年度県民保健医療意識調査
- ・ 調査項目：健康状態，睡眠，仕事能力，自己評価，人間関係，金銭関係，医療サービスや福祉サービスの利用しやすさ，交通アクセスなど
- ・ 数値化の方法：各項目について「非常に満足（5点）」「満足（4点）」「どちらでもない（3点）」「不満（2点）」「全く不満（1点）」の5段階評価を行ってもらい，各項目の得点の合計をQOLとしている。

(4) 主要死因別死亡

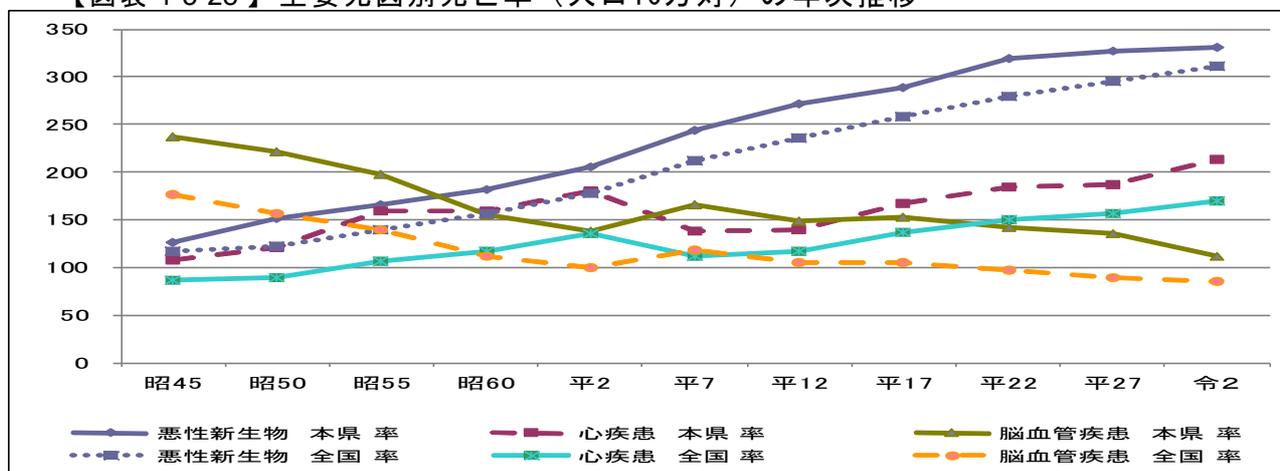
- 令和2年における本県の死因の第1位は悪性新生物，第2位心疾患，第3位老衰となっており，悪性新生物（24.9%），心疾患（15.3%），脳血管疾患（8.0%）の三大生活習慣病で，全死亡の48.3%を占めています。
- 死亡率（人口10万対）の年次推移を見ると，悪性新生物については，昭和58年以降最多の死因として増加が続いています。心疾患については，一旦減少しましたが平成12年以降緩やかに増加，脳血管疾患については，近年減少傾向にあります。全国と比較すると高い状況が続いています。
- 三大生活習慣病以外の死因については，老衰，肺炎，不慮の事故，腎不全，大動脈瘤及び解離の順となっています。

【図表 1-3-27】 主要死因別死亡数，死亡総数に対する割合の年次推移 （単位：人，%）

区分			平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
悪性新生物	本県	数	5,451	5,270	5,302	5,250	5,358
		割合	25.2	24.1	24.0	24.0	24.9
	全国	割合	28.5	27.9	28.4	27.3	27.6
心疾患	本県	数	3,180	3,439	3,453	3,304	3,295
		割合	14.7	15.8	15.6	15.1	15.3
	全国	割合	15.1	15.3	15.3	15.0	15.0
脳血管疾患	本県	数	2,091	2,055	1,971	1,770	1,726
		割合	9.7	9.4	8.9	8.1	8.0
	全国	割合	8.4	8.2	7.9	7.7	7.5
3大生活習慣病	本県	数	10,722	10,764	10,726	10,324	10,379
		割合	49.6	49.3	48.5	47.3	48.3
	全国	割合	52.0	51.3	51.6	50.0	50.0
その他	本県	数	10,722	10,764	10,726	10,324	11,122
		割合	50.4	50.7	51.5	52.7	51.7
	全国	割合	48.0	48.7	48.4	50.0	50.0
全死亡合計	本県	数	21,610	21,833	22,106	21,834	21,501
		割合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全国	割合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
全死亡の死亡率	本県	人口千対	13.2	13.4	13.7	13.7	13.9
	全国	人口千対	10.5	10.8	11.0	11.2	11.3

※令和2年の死亡率は国勢調査（令和2年）の人口を用いて算出したもの [人口動態統計]

【図表 1-3-28】 主要死因別死亡率（人口10万対）の年次推移



※令和2年の死亡率は国勢調査（令和2年）の人口を用いて算出したもの [人口動態統計]

【図表 1-3-29】 本県及び国における死因別死亡順位（人口10万対）（令和2年）

順位	1	2	3	4	5	
死因	悪性新生物	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎	
本県	死亡数	5,358	3,295	1,955	1,726	1,619
	死亡率	346.6	213.2	126.5	111.7	104.7
	割合	24.9	15.3	9.1	8.0	7.5
死因	悪性新生物	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎	
全国	死亡数	378,385	205,596	132,440	102,978	78,450
	死亡率	311.3	169.2	109.0	84.7	64.5
	割合	27.6	15.0	9.6	7.5	5.7

順位	6	7	8	9	10	
死因	不慮の事故	腎不全	大動脈瘤及び解離	慢性閉塞性肺疾患	自殺	
本県	死亡数	621	471	326	300	270
	死亡率	40.2	30.5	21.1	19.4	17.5
	割合	2.9	2.2	1.5	1.4	1.3
死因	不慮の事故	腎不全	自殺	大動脈瘤及び解離	慢性閉塞性肺疾患	
全国	死亡数	38,133	26,948	20,243	18,795	16,125
	死亡率	31.4	22.2	16.7	15.5	13.3
	割合	2.9	2.0	1.5	1.4	1.2

※令和2年の死亡率は国勢調査（令和2年）の人口を用いて算出したもの [人口動態統計]

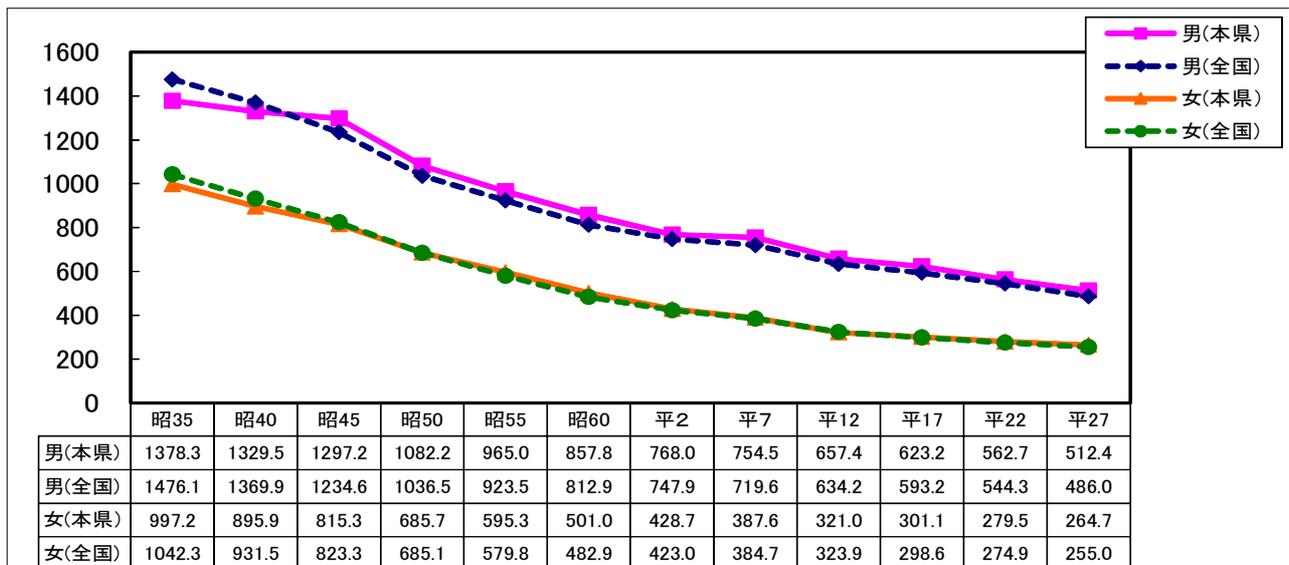
(5) 年齢調整死亡率^{*1} (人口10万対) と SMR (標準化死亡比)^{*2}

ア 全死因 (総死亡)

年齢調整死亡率は昭和35年以降年々減少傾向にあります。全国と比較して、男性は昭和45年以降、女性は平成12年を除く昭和50年以降高い傾向が続いています。

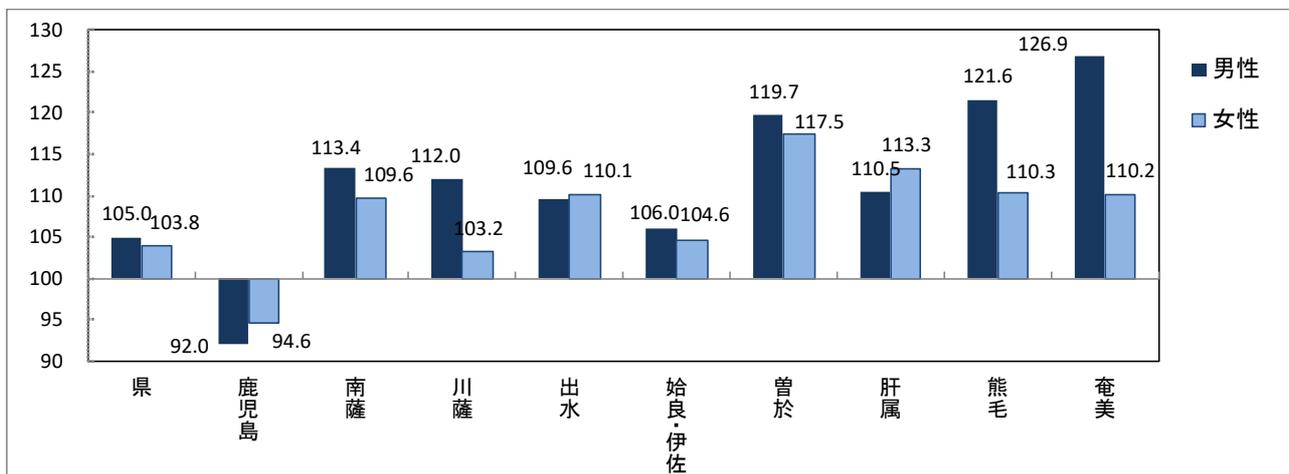
圏域ごとの SMR (標準化死亡比) は、鹿児島のみ男女ともに全国より低くなっています。

【図表 1-3-30】 年齢調整死亡率(人口10万対)の推移 (全死因)



[人口動態統計特殊報告]

【図表 1-3-31】 圏域ごとの SMR (平成28~令和2年) の状況 (全死因)



[県保健医療福祉課調べ]

*1 年齢調整死亡率：各都道府県人口の年齢構成の差異を基準人口で調整した死亡率。年齢調整死亡率の基準人口は「昭和60年モデル人口」である。(人口10万対で表章)

*2 SMR (標準化死亡比)：全国の年齢構成ごとの死亡率を本県の人口構成に当てはめて算出した期待死亡数と実際の死亡数を比較するもの。全国を100とし、100を超えれば死亡率が高い、下回れば低いと判断される。

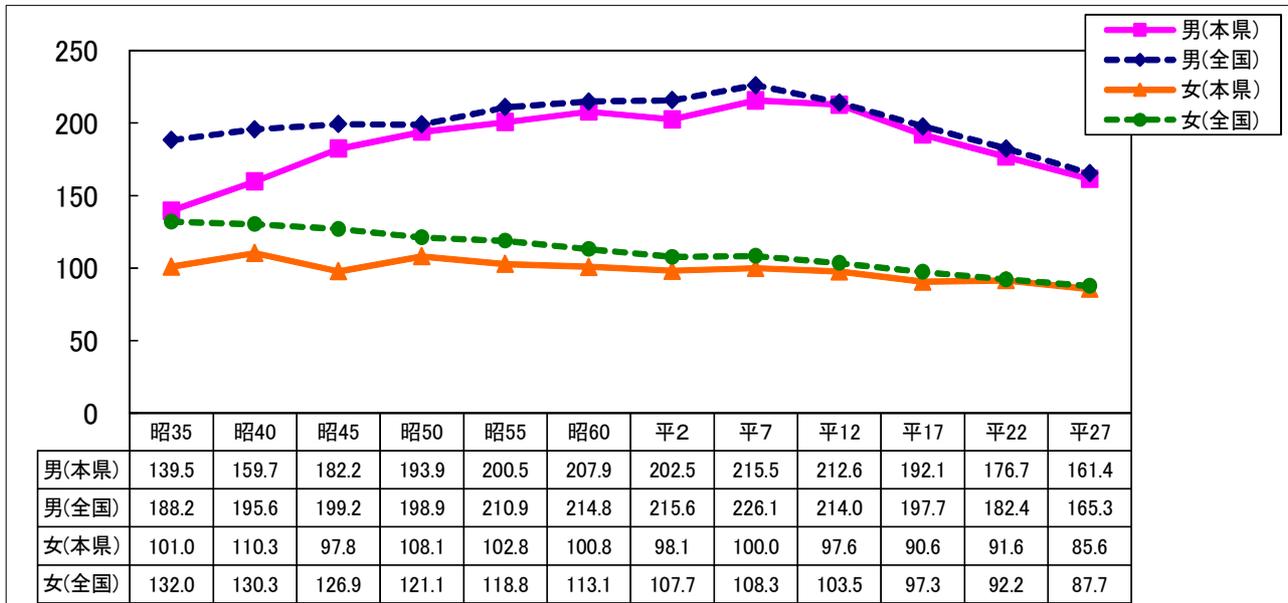
$$\text{SMR (標準化死亡比)} = \frac{\text{観察集団の死亡数}}{(\text{基準集団の年齢階級別死亡率} \times \text{観察集団の年齢階級別人口}) \text{の各年齢階級の合計}} \times 100$$

イ 悪性新生物

年齢調整死亡率は男性は平成7年をピークに減少傾向にあり、女性はほぼ横ばいになっています。

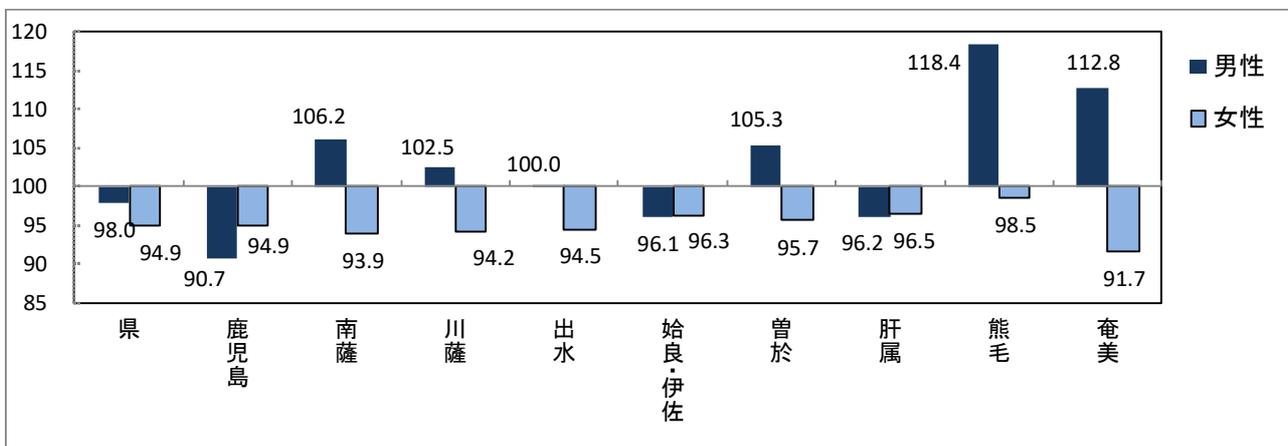
圏域ごとのSMRは、特に熊毛の男性が高くなっています。

【図表 1-3-32】年齢調整死亡率(人口10万対)の推移(悪性新生物)



[人口動態統計特殊報告]

【図表 1-3-33】圏域ごとのSMR(平成28~令和2年)の状況(悪性新生物)



[県保健医療福祉課・健康増進課調べ]

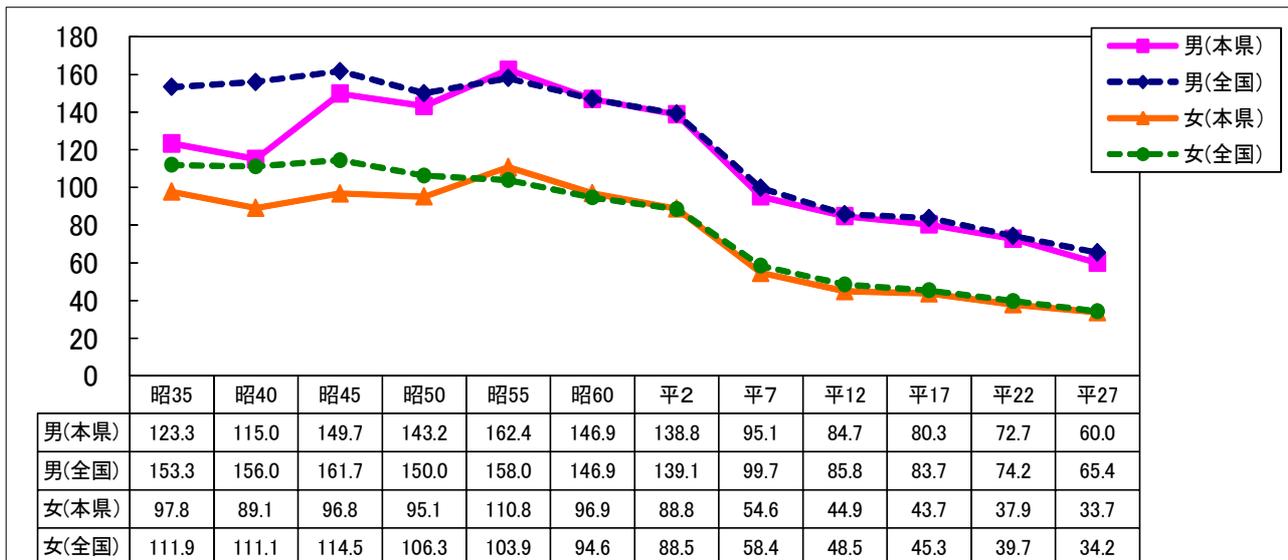
ウ 心疾患

年齢調整死亡率は男女ともに昭和55年をピークに減少傾向にあります。

また、心疾患に分類される急性心筋梗塞の年齢調整死亡率をみると、平成17年以降、男女とも全国より高くなっています。

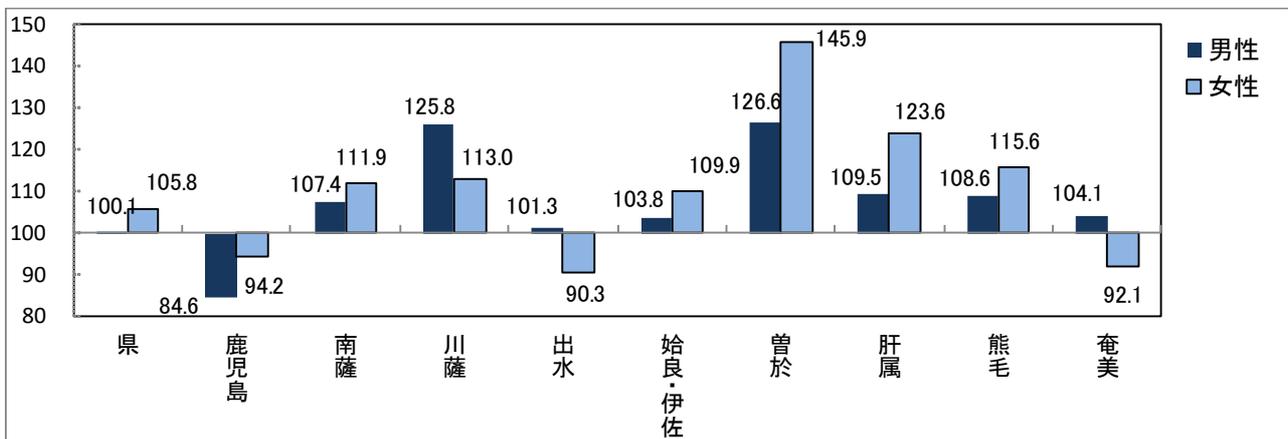
圏域ごとのSMRは、心疾患では特に曾於が男女とも全国より高く、急性心筋梗塞ではすべての圏域の男女が全国より高く、特に曾於、熊毛の女性が高くなっています。

【図表 1-3-34】年齢調整死亡率(人口10万対)の推移(心疾患)



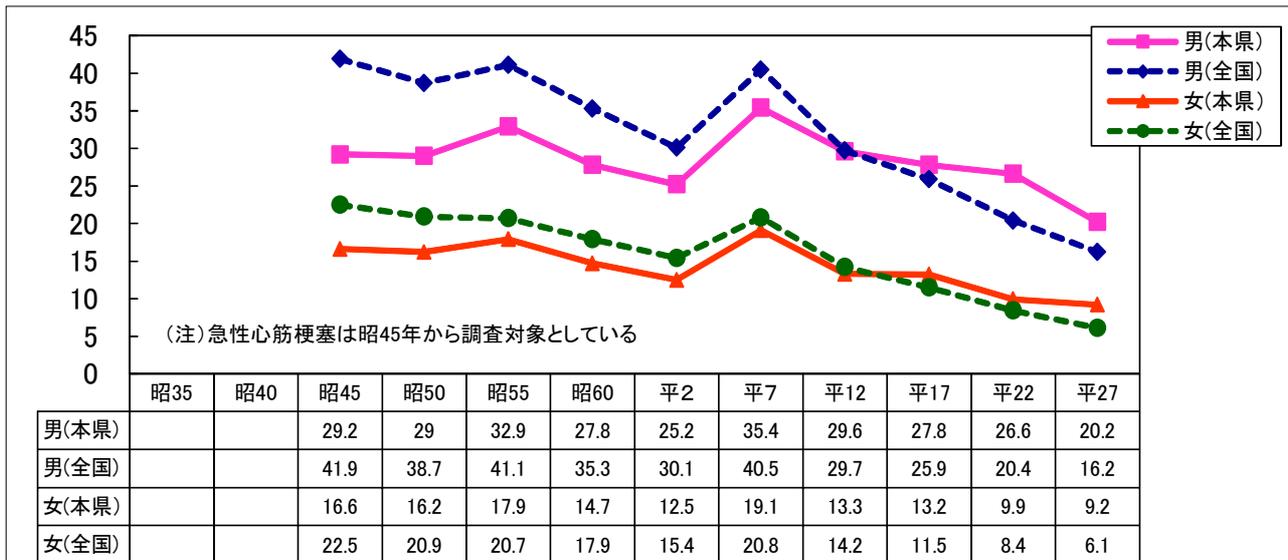
[人口動態統計特殊報告]

【図表 1-3-35】圏域ごとのSMR(平成28~令和2年)の状況(心疾患)



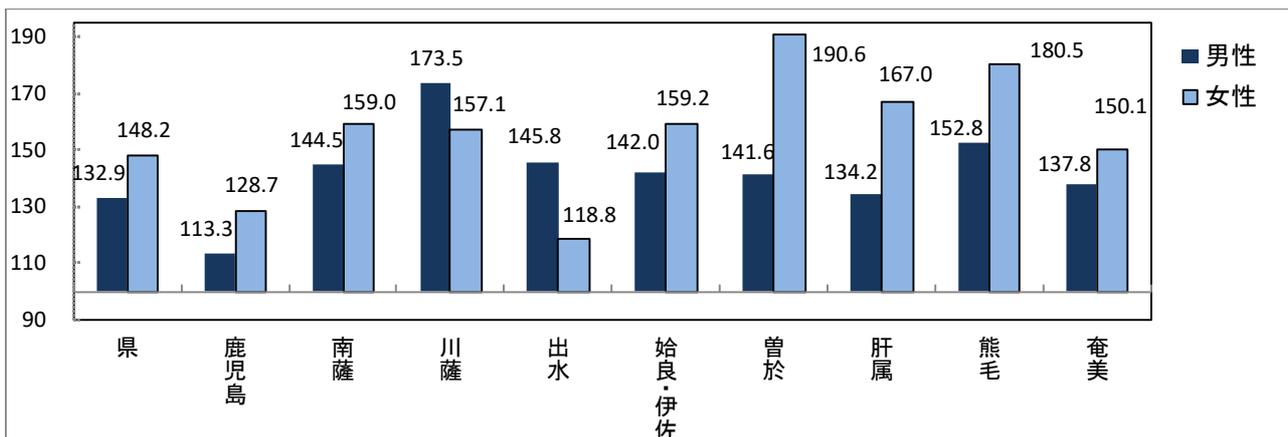
[県保健医療福祉課・健康増進課調べ]

【図表 1-3-36】年齢調整死亡率(人口10万対)の推移(急性心筋梗塞)



[人口動態統計特殊報告]

【図表 1-3-37】圏域ごとのSMR(平成28~令和2年)の状況(急性心筋梗塞)



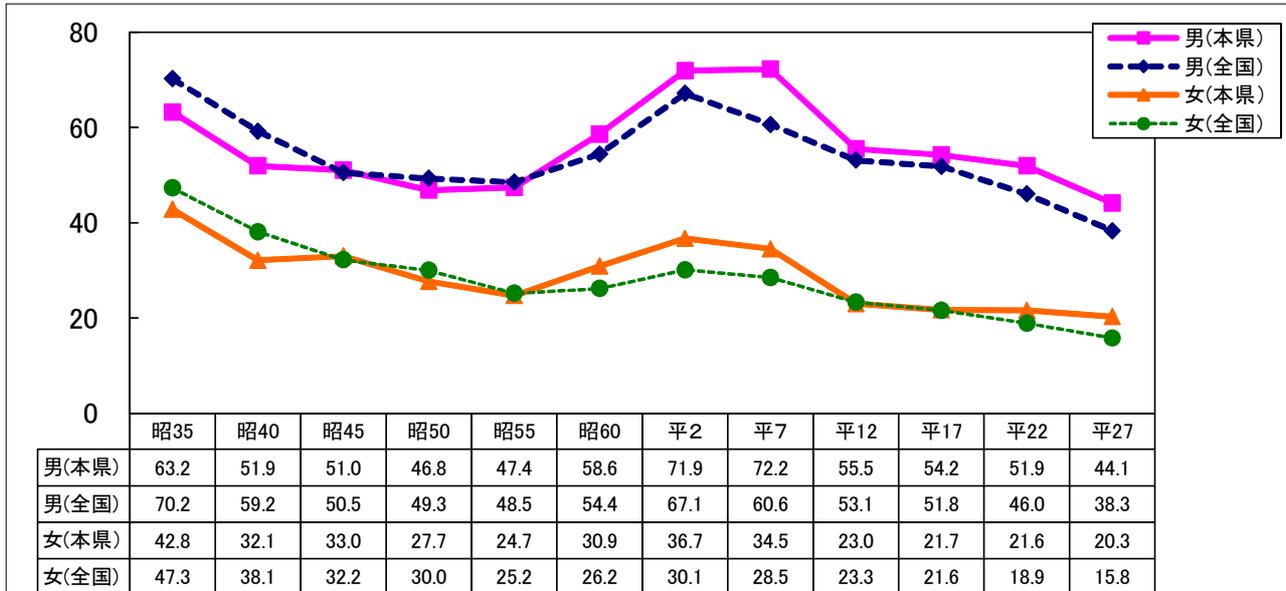
[県保健医療福祉課・健康増進課調べ]

エ 肺炎

年齢調整死亡率は男性は平成7年をピークに、女性は平成2年をピークに減少傾向にあります。特に、女性は昭和35年と比較して平成27年には半減しています。

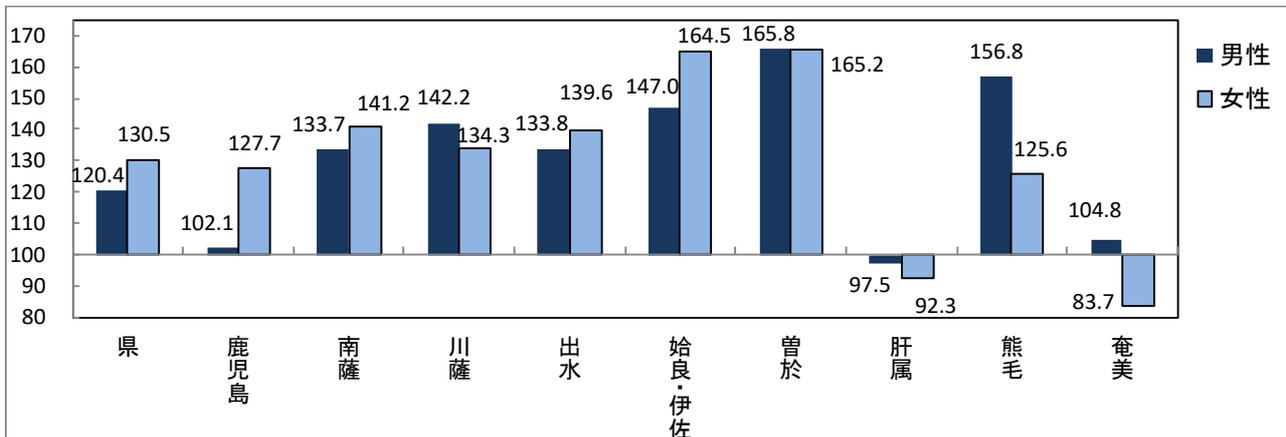
圏域ごとのSMRは、肝属の男女、奄美の女性を除く圏域で全国より高くなっており、特に曾於が高くなっています。

【図表 1-3-38】年齢調整死亡率(人口10万対)の推移(肺炎)



[人口動態統計特殊報告]

【図表 1-3-39】圏域ごとのSMR(平成28~令和2年)の状況(肺炎)



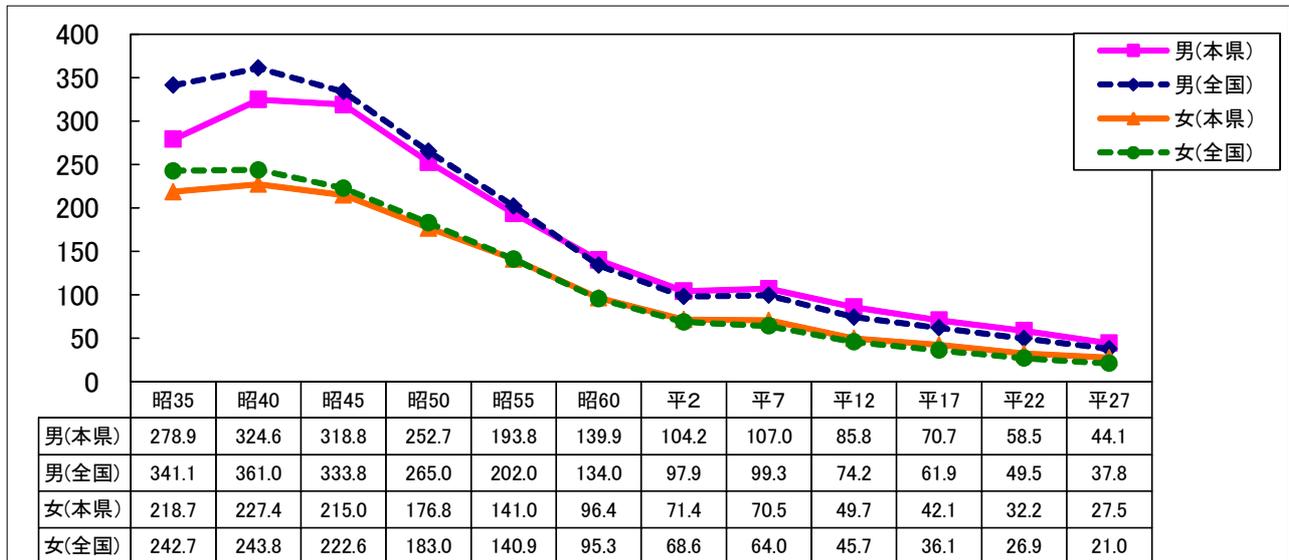
[県保健医療福祉課・健康増進課調べ]

オ 脳血管疾患

年齢調整死亡率は男女とも昭和40年をピークに減少傾向にあります。しかし、全国と比較すると、男性では昭和60年以降、女性では昭和55年以降全国より高くなっています。

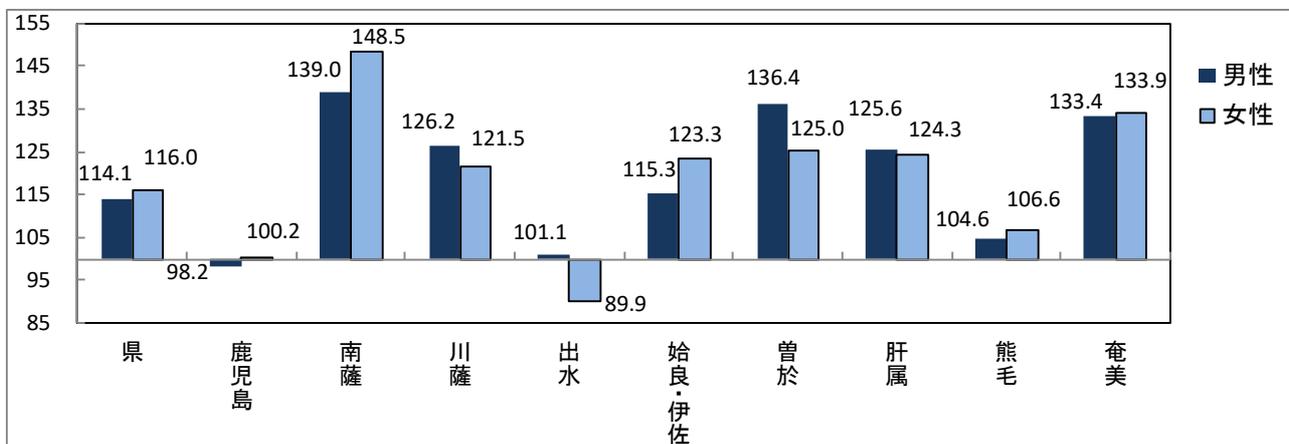
圏域ごとのSMRは、特に南薩、奄美の男女、曾於の男性が高くなっています。

【図表 1-3-40】年齢調整死亡率(人口10万対)の推移(脳血管疾患)



[人口動態統計特殊報告]

【図表 1-3-41】圏域ごとのSMR(平成28~令和2年)の状況(脳血管疾患)



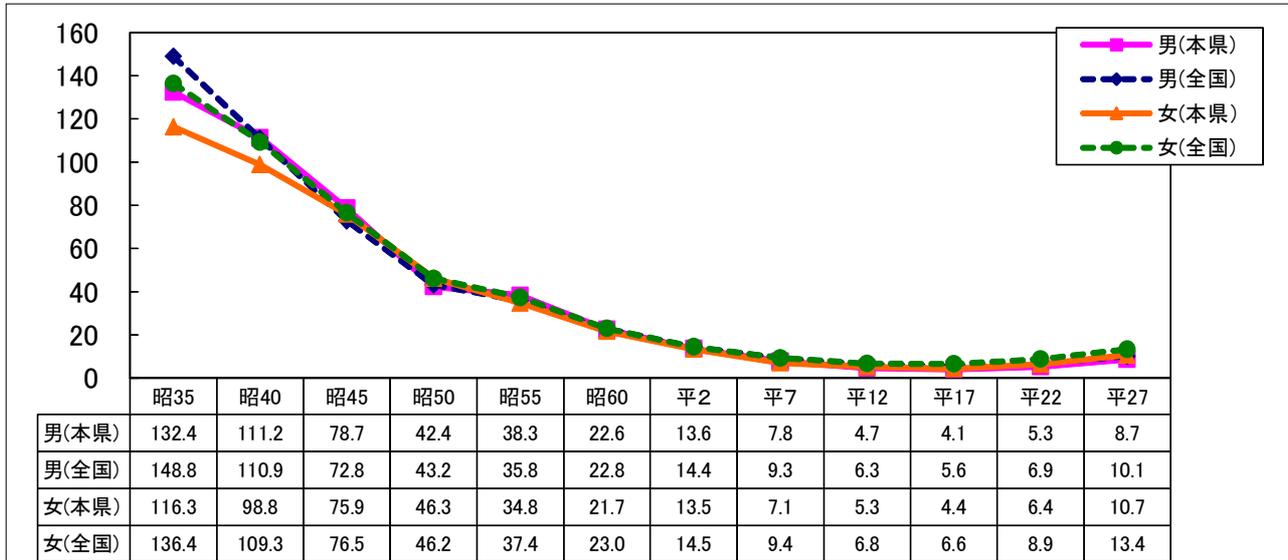
[県保健医療福祉課・健康増進課調べ]

カ 老衰

年齢調整死亡率は男女ともに大幅に減少しており、全国と比較すると、男性では昭和60年、女性では昭和55年以降全国より低くなっています。

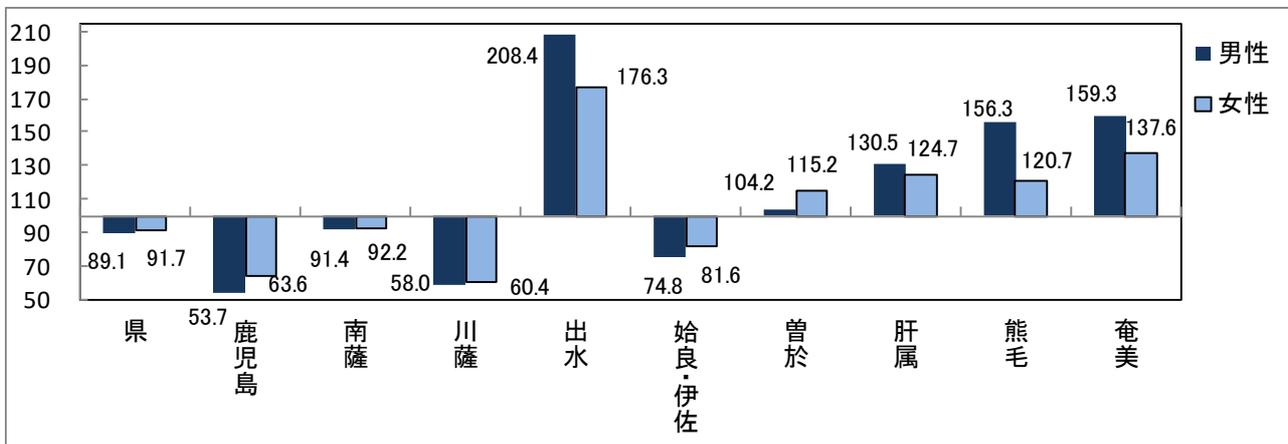
圏域ごとのSMRは、特に出水の男女が全国より高くなっています。

【図表 1-3-42】年齢調整死亡率(人口10万対)の推移(老衰)



[人口動態統計特殊報告]

【図表 1-3-43】圏域ごとのSMR(平成28~令和2年)の状況(老衰)

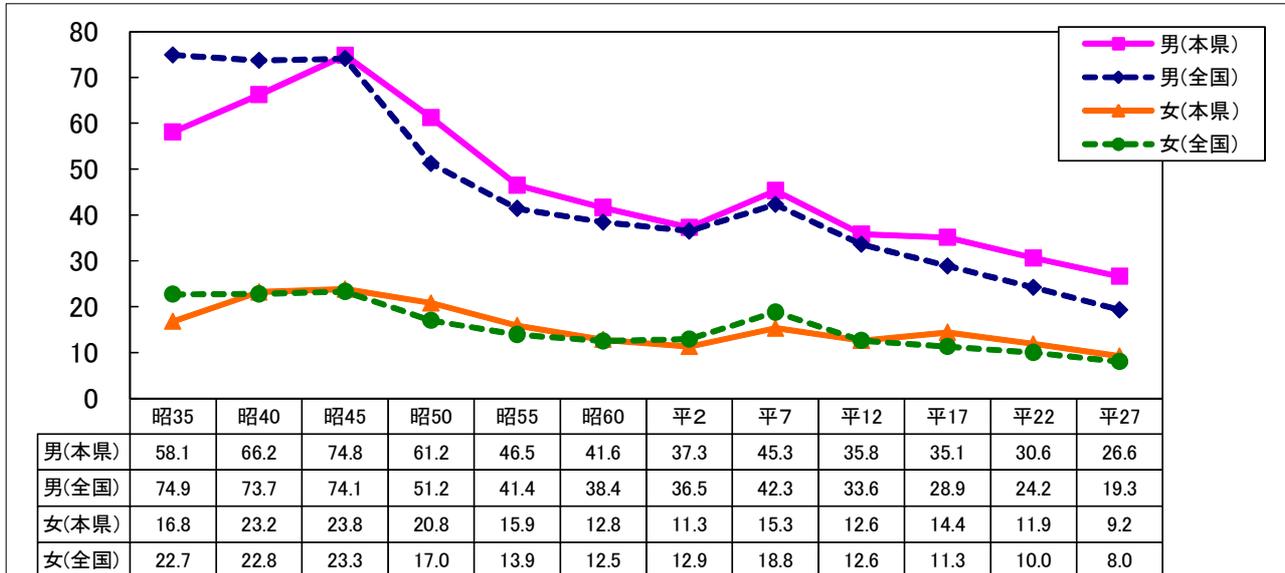


[県保健医療福祉課・健康増進課調べ]

キ 不慮の事故

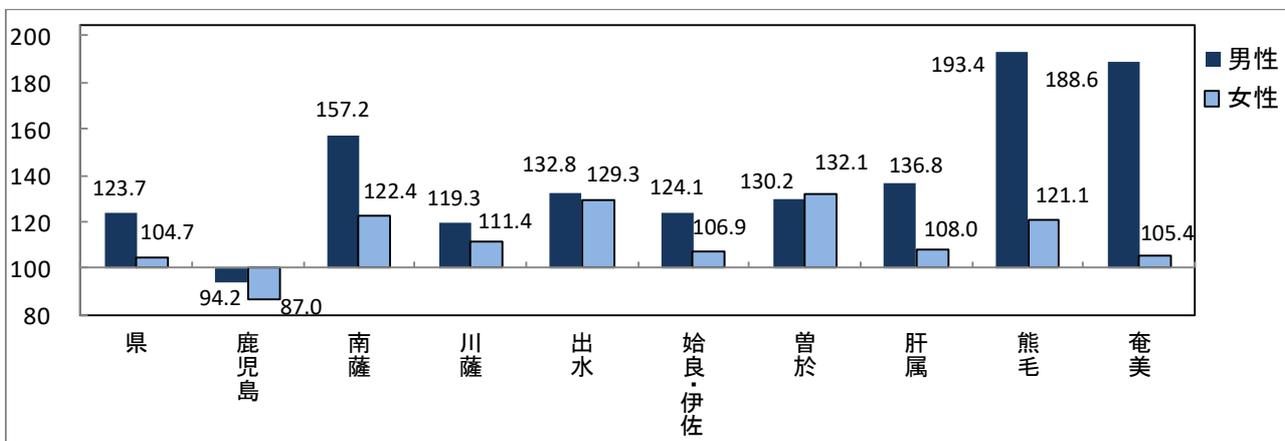
年齢調整死亡率は男性は減少傾向にあります。女性は横ばい状態となっています。圏域ごとのSMRは、特に南薩、熊毛、奄美の男性が高くなっています。

【図表 1-3-44】年齢調整死亡率(人口10万対)の推移(不慮の事故)



[人口動態統計特殊報告]

【図表 1-3-45】圏域ごとのSMR(平成28~令和2年)の状況(不慮の事故)



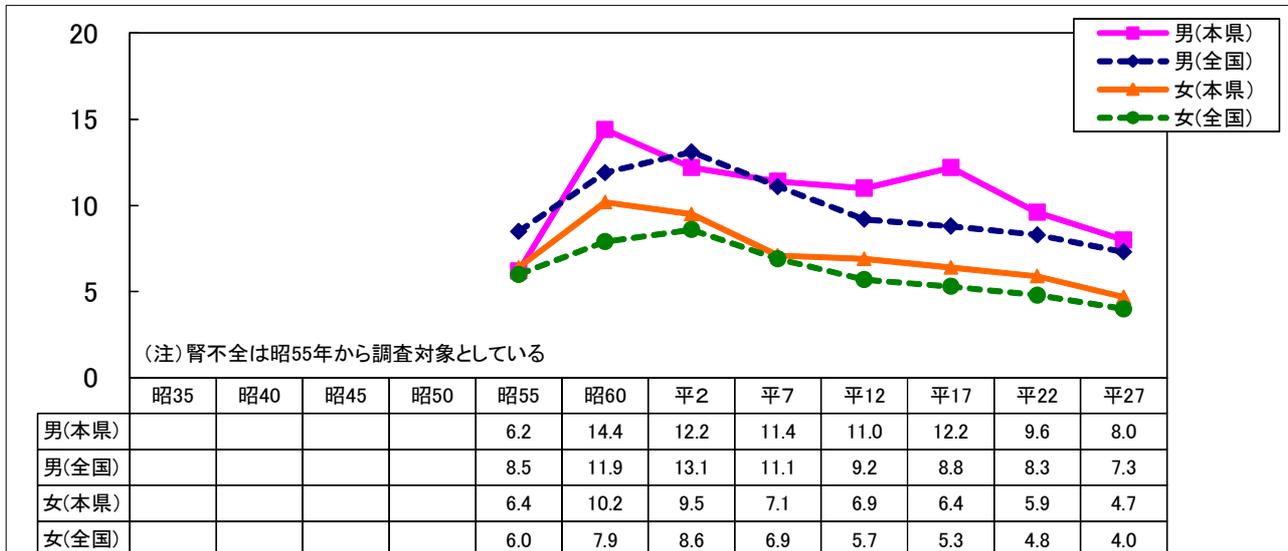
[県保健医療福祉課・健康増進課調べ]

ク 腎不全

年齢調整死亡率は男女ともに減少傾向にあり、全国と比較すると、男性では、平成7年以降、女性では昭和55年以降全国より高くなっています。

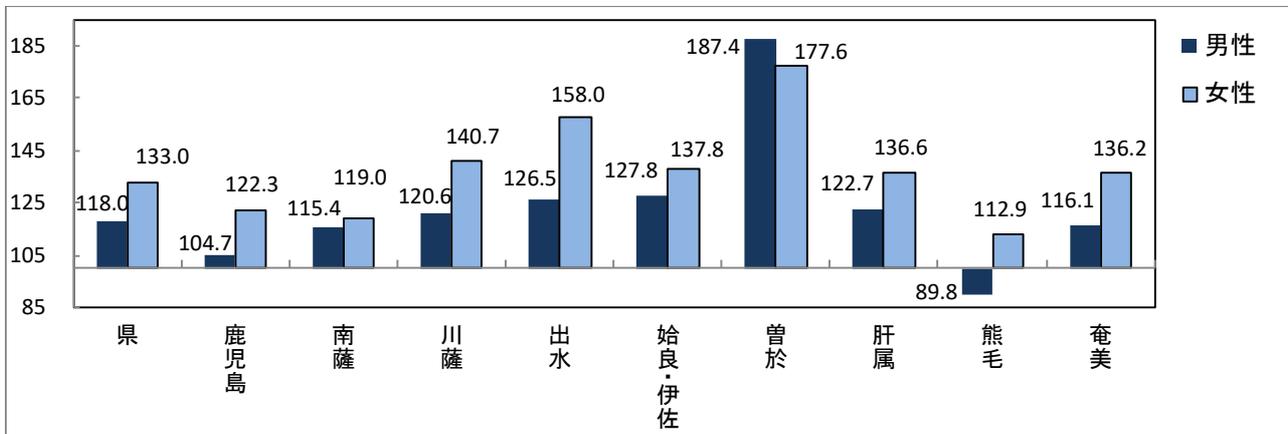
圏域ごとのSMRは、特に曾於の男女が高くなっています。

【図表 1-3-46】年齢調整死亡率(人口10万対)の推移(腎不全)



[人口動態統計特殊報告]

【図表 1-3-47】圏域ごとのSMR(平成28~令和2年)の状況(腎不全)



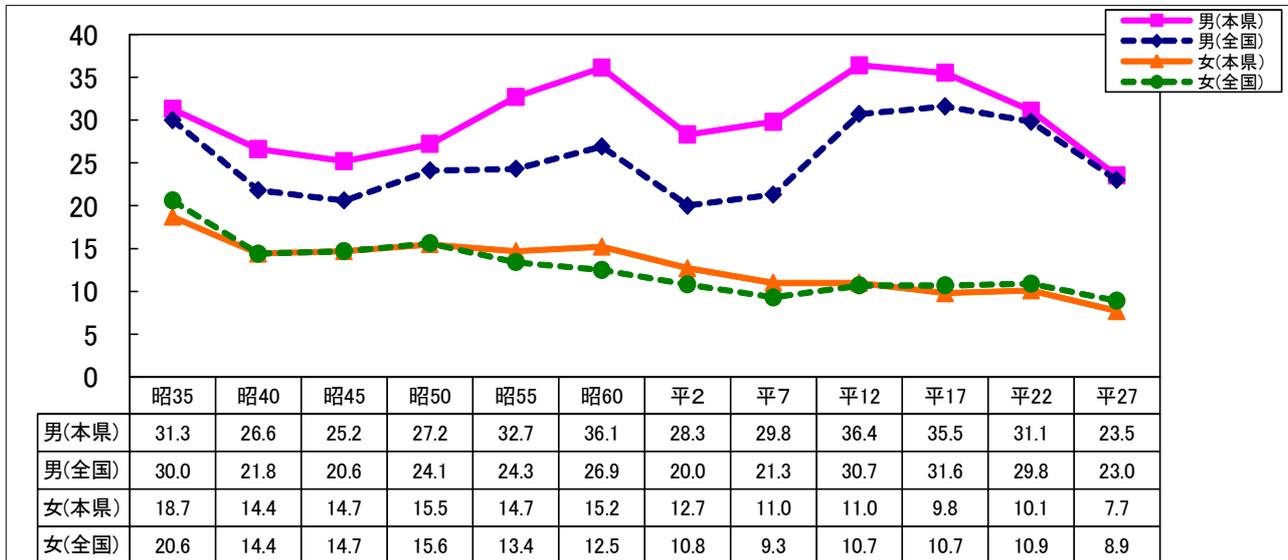
[県保健医療福祉課・健康増進課調べ]

ケ 自殺

年齢調整死亡率は男性では平成12年以降減少傾向であり、女性はゆるやかな減少傾向にあります。男性は全国より高くなっています。

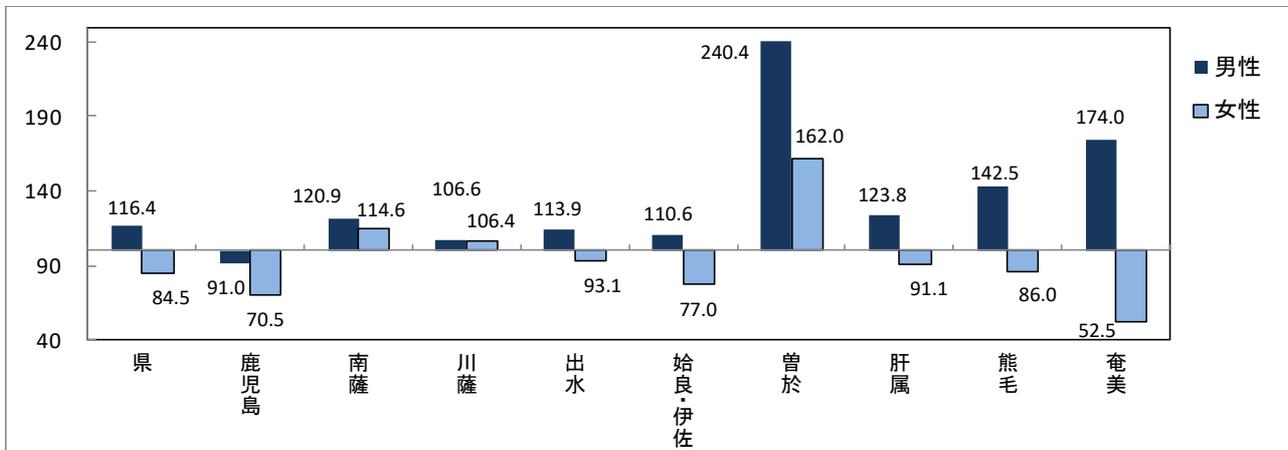
圏域ごとのSMRは、特に曾於の男女、奄美の男性が高くなっています。

【図表 1-3-48】年齢調整死亡率(人口10万対)の推移(自殺)



[人口動態統計特殊報告]

【図表 1-3-49】圏域ごとのSMR(平成28~令和2年)の状況(自殺)

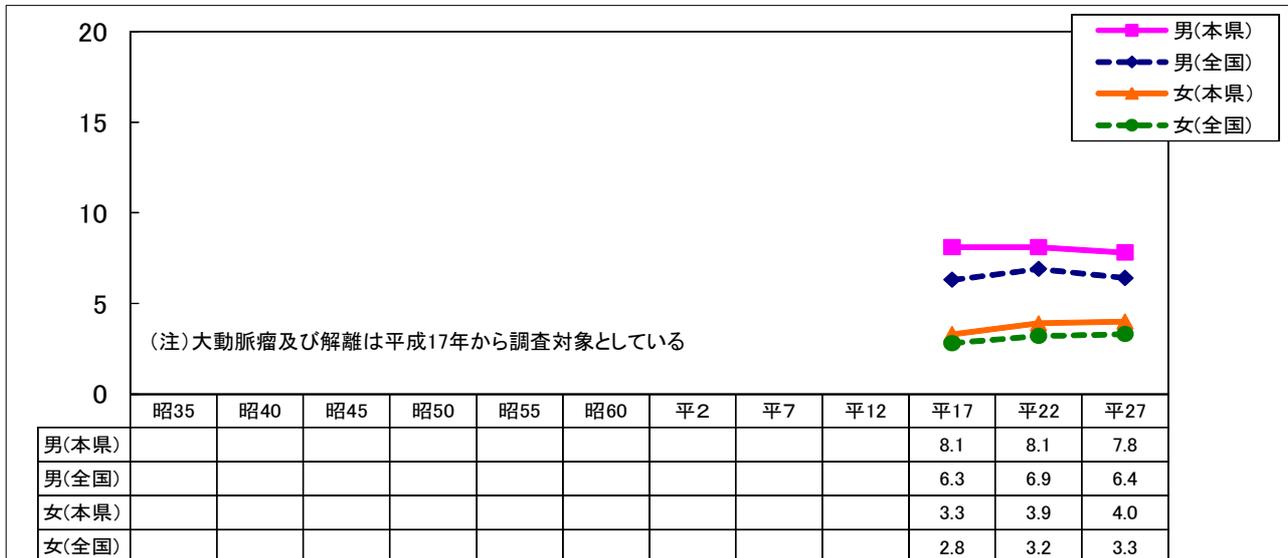


[県保健医療福祉課・健康増進課調べ]

コ 大動脈瘤及び解離

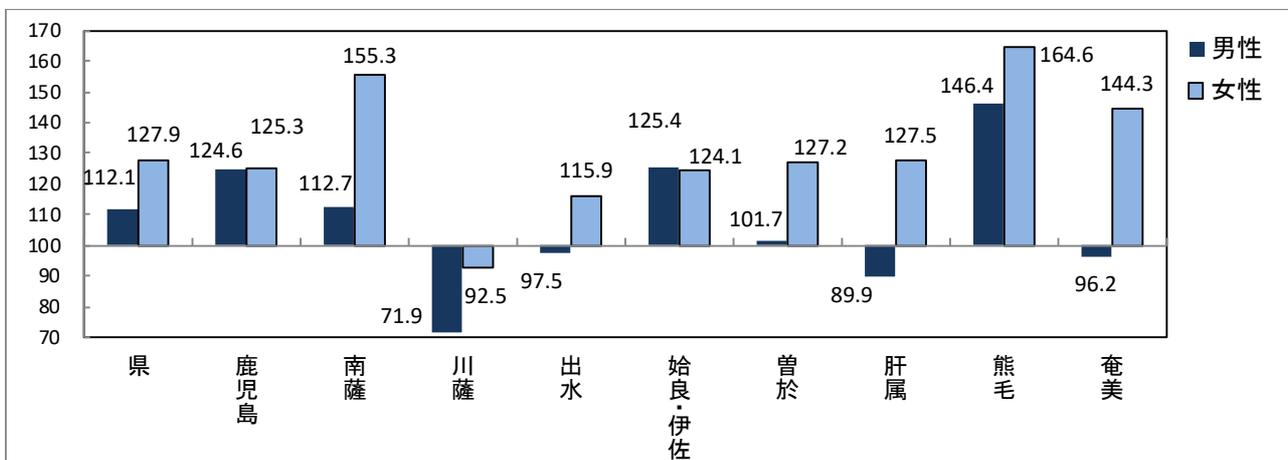
年齢調整死亡率は男女ともにほぼ横ばい状態であり、全国より高くなっています。圏域ごとのSMRは、特に熊毛の男女、南薩、奄美の女性が全国より高くなっています。

【図表 1-3-50】年齢調整死亡率(人口10万対)の推移(大動脈瘤及び解離)



[人口動態統計特殊報告]

【図表 1-3-51】圏域ごとのSMR(平成28~令和2年)の状況(大動脈瘤及び解離)



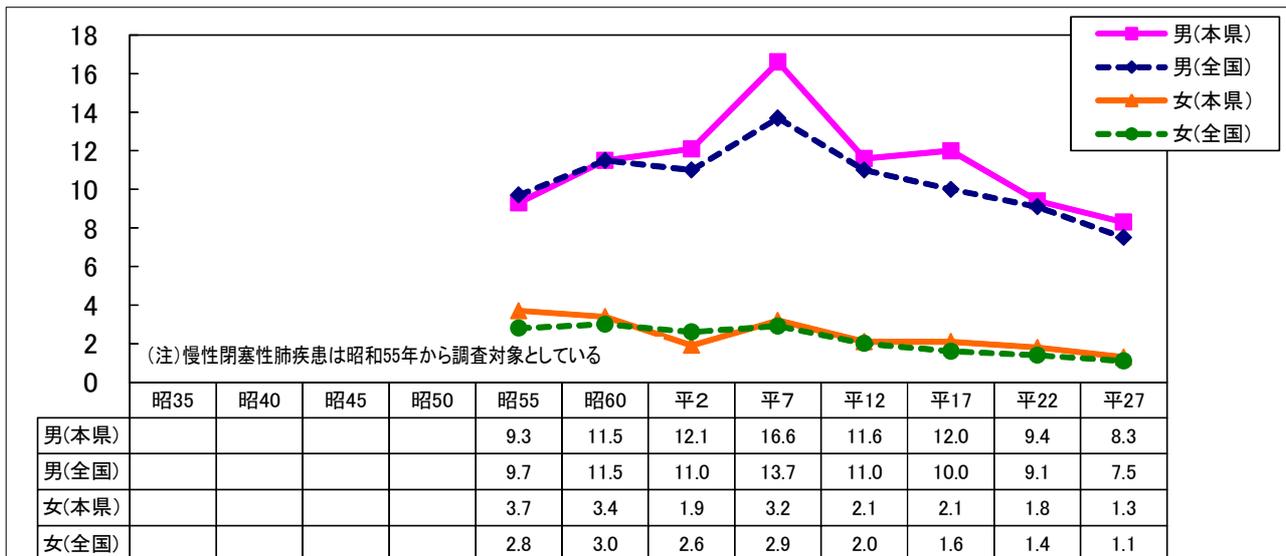
[県保健医療福祉課・健康増進課調べ]

サ 慢性閉塞性肺疾患

年齢調整死亡率は男性は平成7年をピークに減少傾向にあり、女性はほぼ横ばい状態です。全国と比較すると、男性では、平成2年以降、女性では平成2年を除いて昭和55年以降全国より高くなっています。

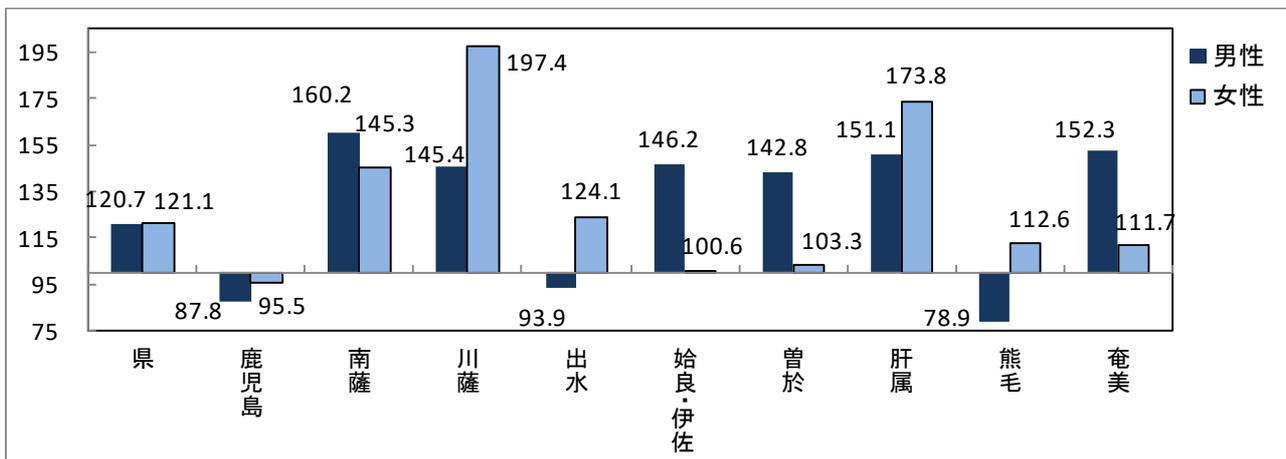
圏域ごとのSMRは、南薩、川薩、肝属、奄美で男女ともに全国より高くなっており、特に川薩の女性が高くなっています。

【図表 1-3-52】 年齢調整死亡率(人口10万対)の推移 (慢性閉塞性肺疾患)



[人口動態統計特殊報告]

【図表 1-3-53】 圏域ごとのSMR(平成28~令和2年)の状況(慢性閉塞性肺疾患)

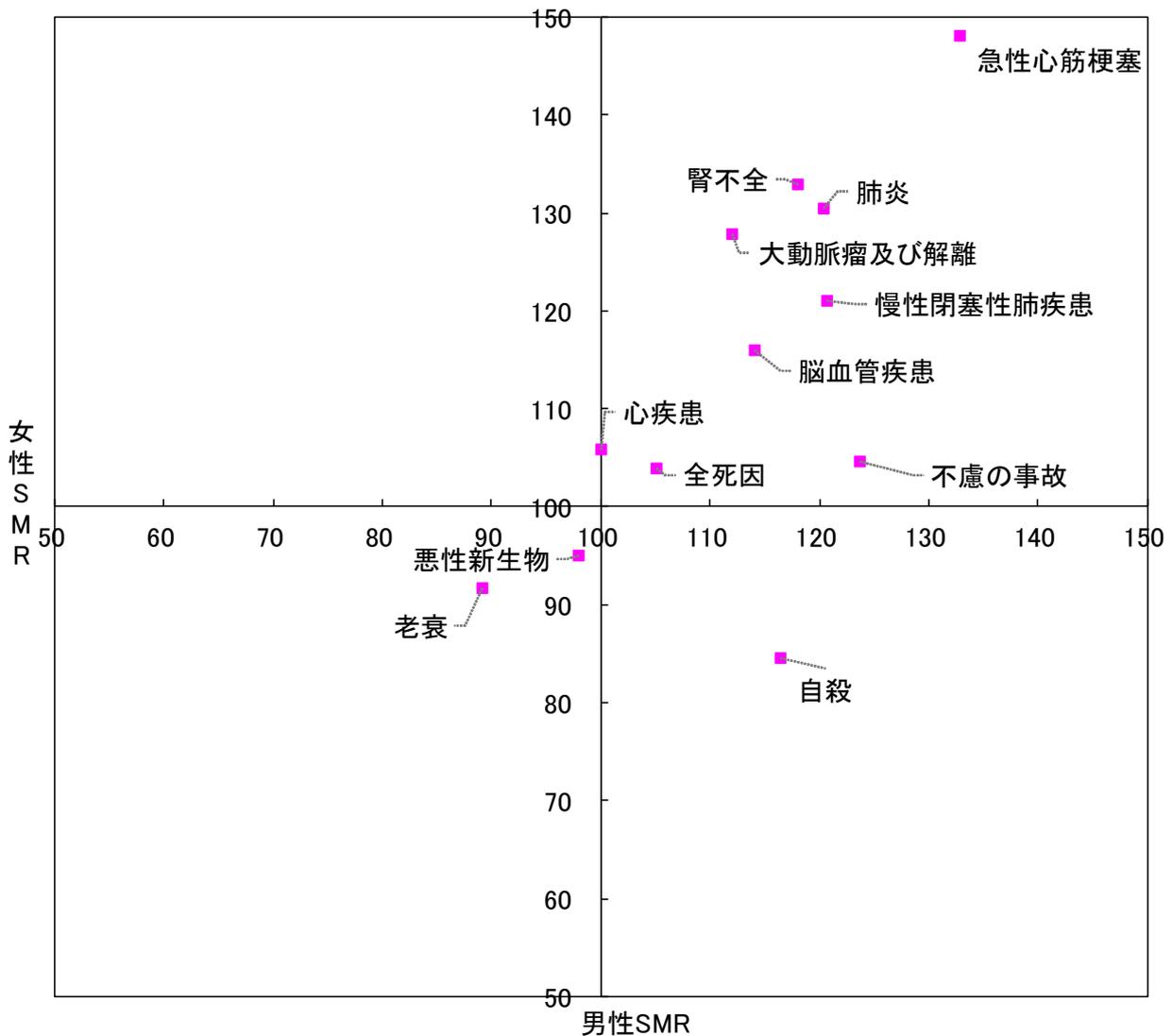


[県保健医療福祉課・健康増進課調べ]

○ 主要死因別死亡（上位10位）のSMRについて、男女別に比較したところ、以下のよ
うに分類されます。

- ・ 全国より男女とも高い疾患
急性心筋梗塞，腎不全，肺炎，大動脈瘤及び解離，慢性閉塞性肺疾患，
脳血管疾患，不慮の事故
- ・ 全国より男性は高いが，女性は低い疾患
自殺
- ・ 全国より女性が高い疾患
心疾患
- ・ 全国より男女とも低い疾患
老衰，悪性新生物

【図表 1-3-54】 男女におけるSMR（平成28～令和2年）の状況



[県保健医療福祉課作成]

4 県民の医療動向

(1) 推計患者数

- 患者調査*1（平成29年）によると、県内の病院及び一般診療所を利用した患者総数は116,300人で、平成26年と比べて6,200人、5.1%減少しています。
- また、入院・外来別患者総数を見ると、入院、外来ともに減少しています。

【図表 1-3-55】本県の病院及び一般診療所の推計患者数（患者住所地）（単位：人）

区分	平成20年			平成23年			平成26年(a)			平成29年(b)			(b)-(a)		
	病院	診療所	計	病院	診療所	計	病院	診療所	計	病院	診療所	計	病院	診療所	計
入院	30,500	3,300	33,800	30,200	3,000	33,200	28,800	2,600	31,400	27,800	2,700	30,600	△1,000	100	△800
外来	24,700	56,700	81,400	26,200	60,800	87,000	25,600	65,500	91,100	25,400	60,300	85,700	△200	△5,200	△5,400
総数	55,200	60,000	115,200	56,400	63,800	120,200	54,400	68,100	122,500	53,200	63,000	116,300	△1,200	△5,100	△6,200

（注）端数処理のため、内訳と計は一致しない。

〔患者調査〕

- 医療施設の施設別の患者数を平成26年と比較すると、総数で病院利用が2.2%減少、一般診療所利用が7.5%減少しています。
- 傷病別に、入院患者数を見ると、「精神及び行動の障害」6,800人（22.2%）、「循環器系の疾患」5,300人（17.3%）で、全体の39.5%を占めています。
- 外来患者数は、「循環器系の疾患」17,500人（20.4%）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」14,700人（17.2%）で、全体の37.6%を占めています。

【図表 1-3-56】本県の病院及び一般診療所の施設別・傷病別患者数の状況（推計値）

区分	平成26年(人)			平成29年(人)			増減率(%)			
	総数	入院	外来	総数	入院	外来	総数	入院	外来	
施設別	総数	122,500	31,400	91,100	116,300	30,600	85,700	△5.1	△2.5	△5.9
病院	一般	54,400	28,800	25,600	53,200	27,800	25,400	△2.2	△3.5	△0.8
	療養	11,900	11,900	-	12,600	12,600	-	5.9	5.9	-
	精神	8,200	8,200	-	7,200	7,200	-	△12.2	△12.2	-
	結核	8,700	8,700	-	8,000	8,000	-	△8.0	△8.0	-
	感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般診療所	68,100	2,600	65,500	63,000	2,700	60,300	△7.5	3.8	△7.9
傷病別	一般	2,500	2,500	-	2,500	2,500	-	0.0	-	-
	療養	100	100	-	200	200	-	100.0	-	-
傷病別	総数	122,500	31,400	91,100	116,300	30,600	85,700	△5.1	△2.5	△5.9
	循環器系の疾患	25,300	5,800	19,500	22,800	5,300	17,500	△9.9	△8.6	△10.3
	筋骨格系及び結合組織の疾患	16,000	1,800	14,200	16,500	1,800	14,700	3.1	0.0	3.5
	呼吸器系の疾患	11,700	1,900	9,800	9,100	1,800	7,300	△22.2	△5.3	△25.5
	精神及び行動の障害	11,500	7,800	3,700	9,800	6,800	3,000	△14.8	△12.8	△18.9
	消化器系の疾患	5,700	1,100	4,600	3,800	1,200	2,600	△33.3	9.1	△43.5
	神経系の疾患	6,300	3,600	2,700	5,900	3,600	2,300	△6.3	0.0	△14.8
	内分泌、栄養及び代謝疾患	7,300	900	6,400	7,000	700	6,300	△4.1	△22.2	△1.6
	新生物	4,600	2,300	2,300	5,100	2,500	2,600	10.9	8.7	13.0
	眼及び付属器の疾患	5,500	200	5,300	4,400	200	4,200	△20.0	0.0	△20.8
その他	28,700	6,200	22,500	31,600	6,700	24,900	10.1	8.1	10.7	

（注）端数処理のため、内訳と総数は一致しない。

〔患者調査〕

*1 患者調査：全国の医療施設（病院、一般診療所、歯科診療所）を利用する患者の疾病などの状況を把握するため、昭和28年から標本調査で実施している。昭和59年からは3年に1度の調査。調査の客体は、病院の入院は二次保健医療圏単位で、病院の外来と診療所は都道府県単位で層化無作為抽出された医療施設を受診した患者すべてである。調査日は10月中旬の3日間のうち医療施設ごとに定めた1日、退院患者は9月中の1か月であり、医療施設の管理者が記入する方式で行っている。

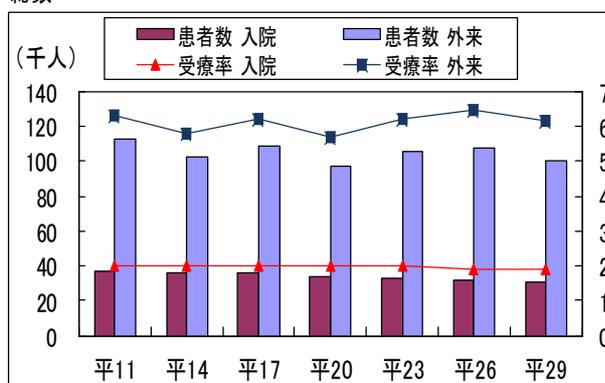
(2) 傷病分類別推計患者数及び受療率の推移

○ 平成11年から29年までの患者調査において、県内の医療施設で受療した傷病別推計患者数（傷病分類の大分類20項目と中分類のうち三大生活習慣病など主なもの）及び受療率(推計患者数を人口10万対で表した数)の推移は、次のような状況です。

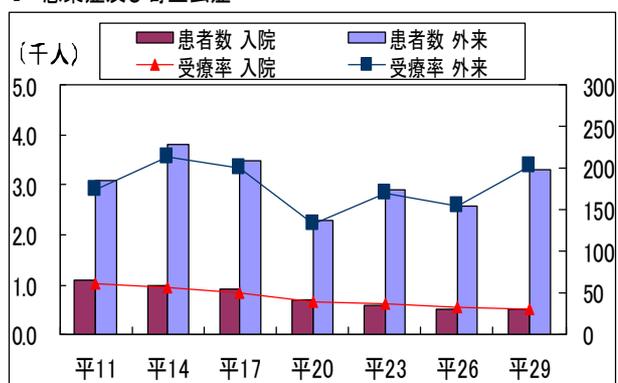
- ・ 平成29年において、総数における患者数（入院30,600人，外来99,800人）は平成26年(入院31,400人，外来107,400人)と比べると、ほぼ横ばいで推移し、受療率をみると入院は横ばい、外来は減少しています。

【図表 1-3-57】 本県の傷病分類別推計患者数及び受療率の推移（その1）

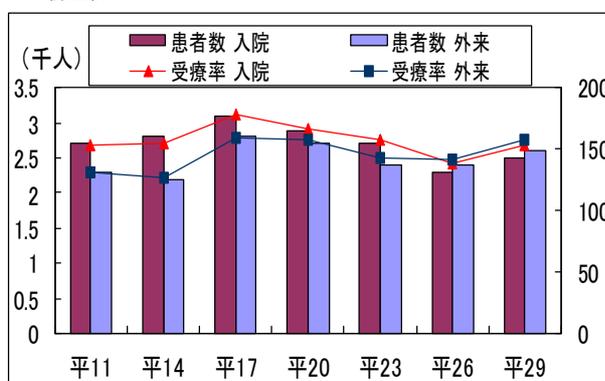
総数



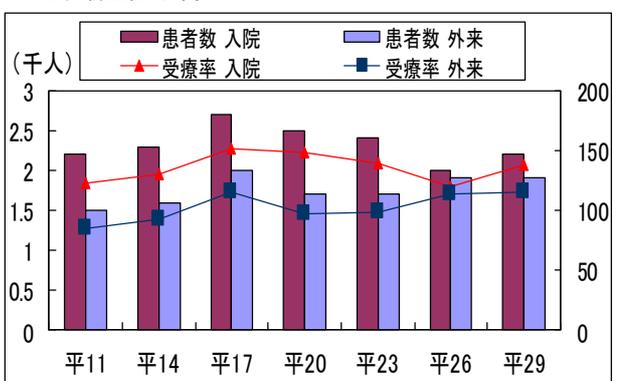
I 感染症及び寄生虫症



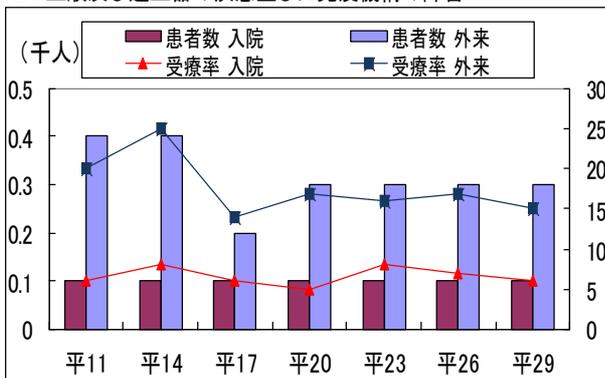
II 新生物



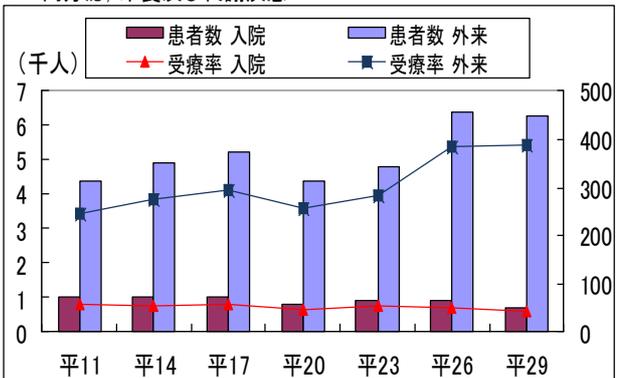
II 悪性新生物(再掲)



III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害



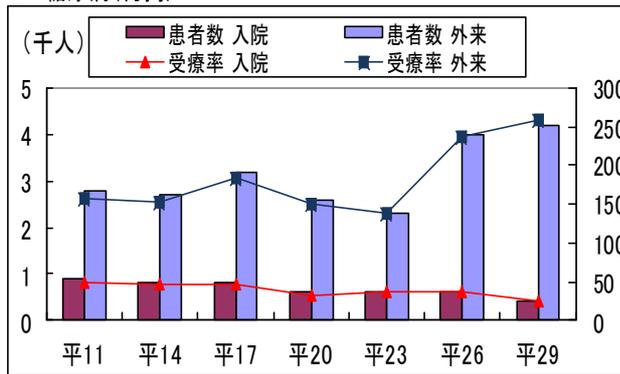
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患



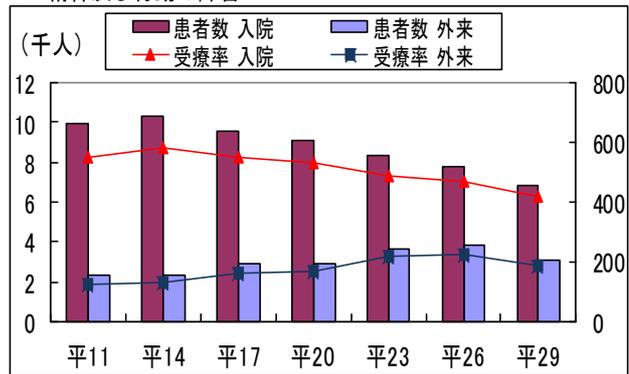
[患者調査]

【図表 1-3-58】 本県の傷病分類別推計患者数及び受療率の推移（その2）

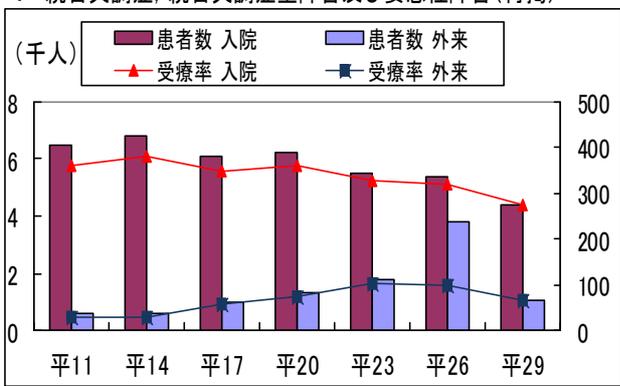
IV 糖尿病(再掲)



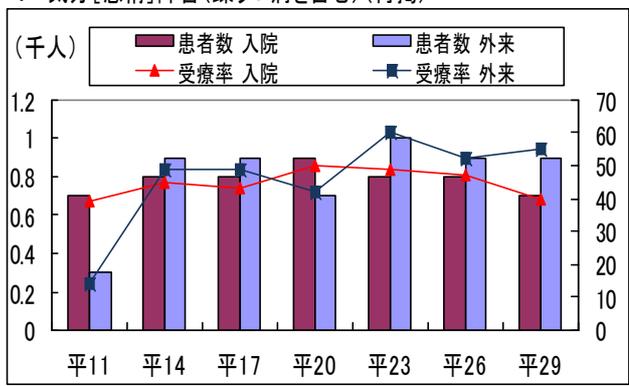
V 精神及び行動の障害



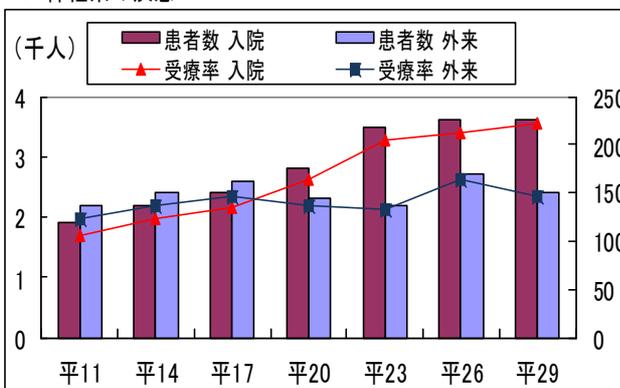
V 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害(再掲)



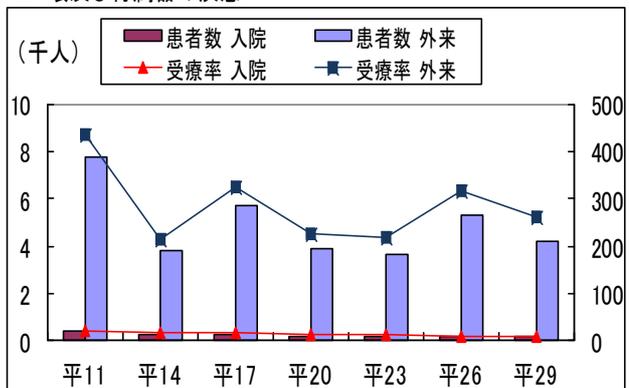
V 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)(再掲)



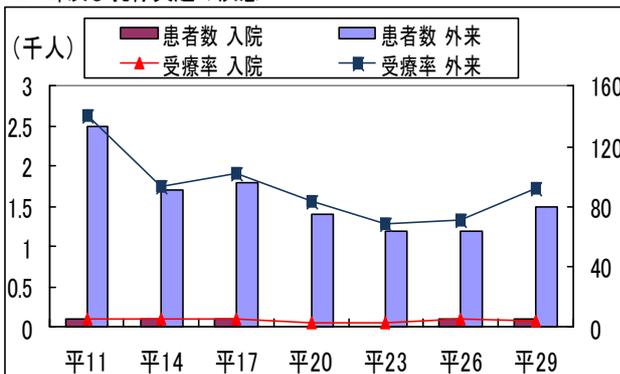
VI 神経系の疾患



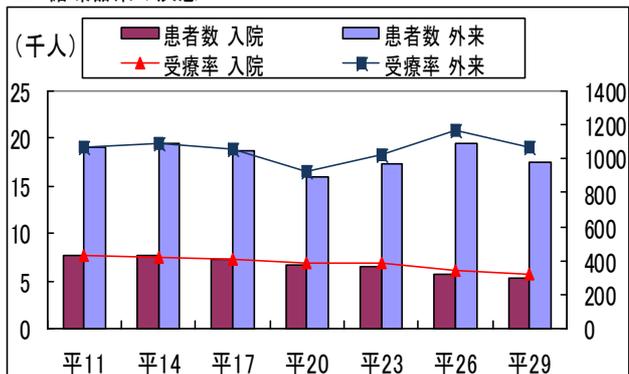
VII 眼及び付属器の疾患



VIII 耳及び乳様突起の疾患



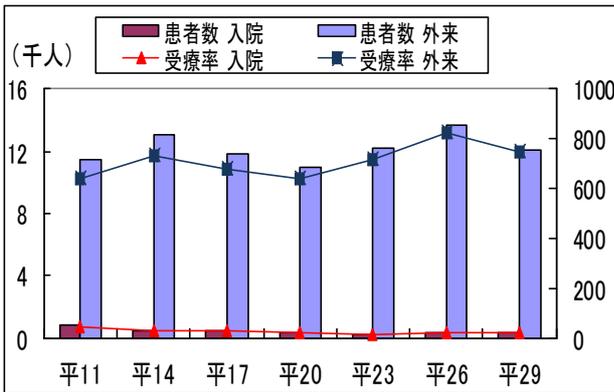
IX 循環器系の疾患



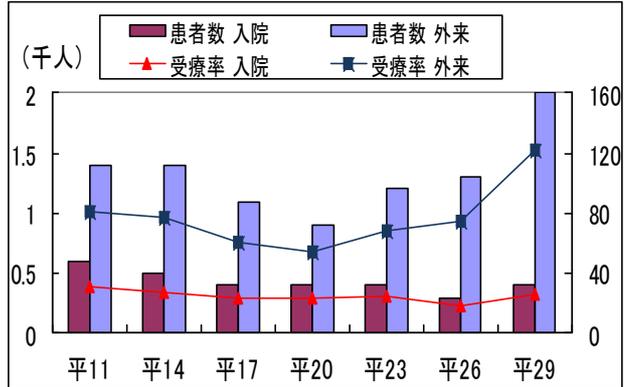
[患者調査]

【図表 1-3-59】 本県の傷病分類別推計患者数及び受療率の推移（その3）

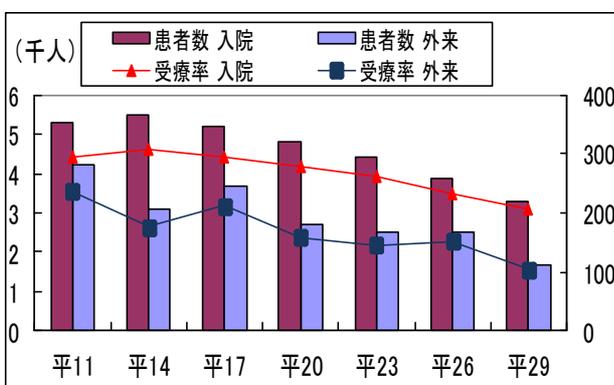
Ⅸ 高血圧性疾患(再掲)



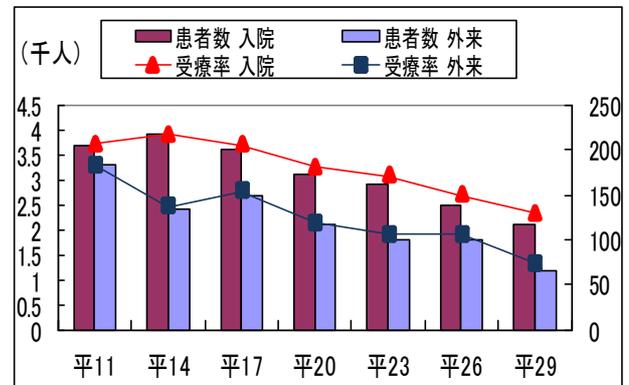
Ⅸ 虚血性心疾患(再掲)



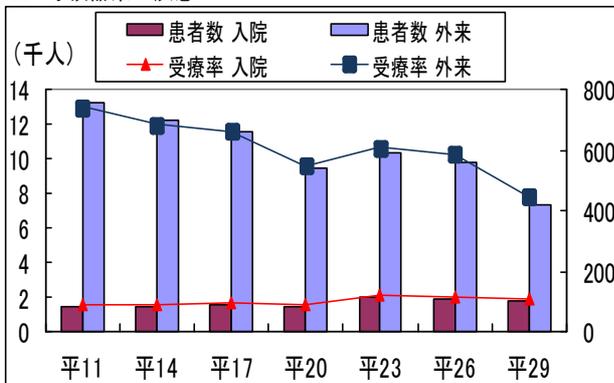
Ⅸ 脳血管疾患(再掲)



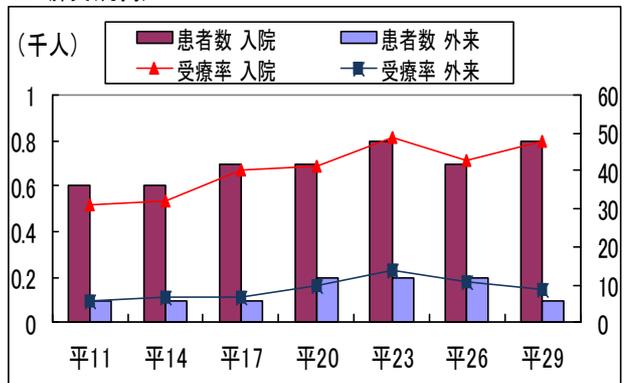
Ⅸ 脳梗塞(再掲)



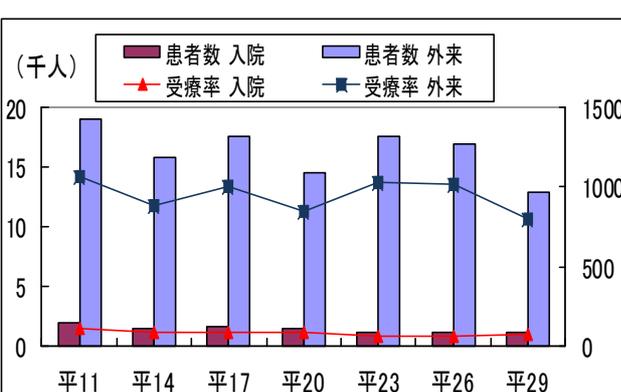
X 呼吸器系の疾患



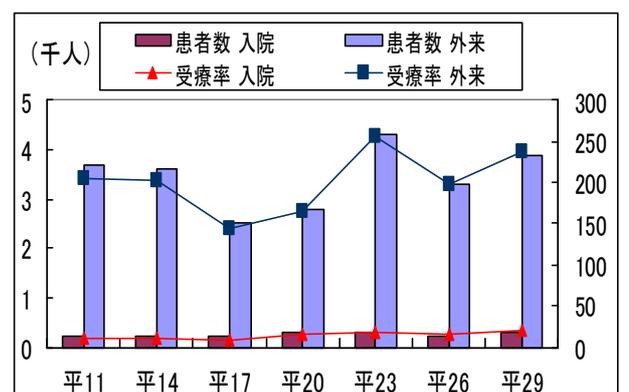
X 肺炎(再掲)



X I 消化器系の疾患



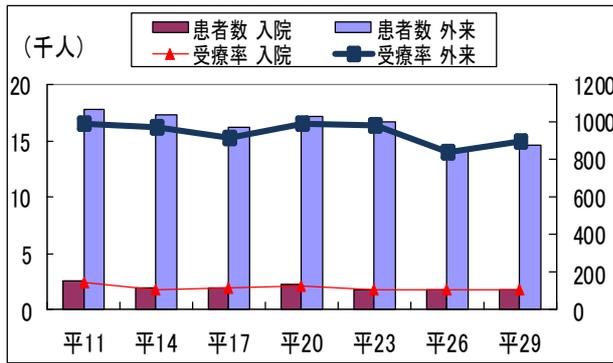
X II 皮膚及び皮下組織の疾患



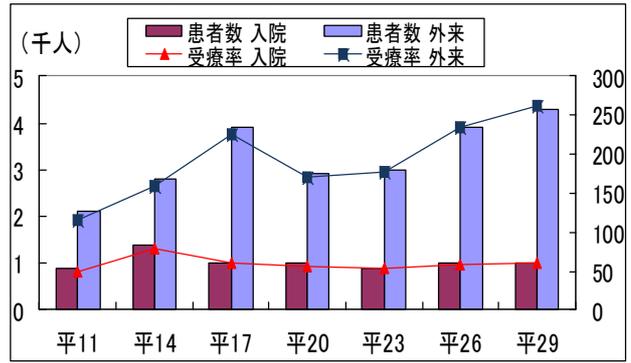
[患者調査]

【図表 1-3-60】本県の傷病分類別推計患者数及び受療率の推移（その4）

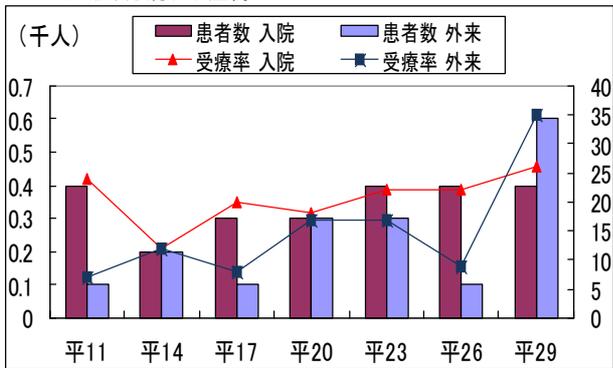
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患



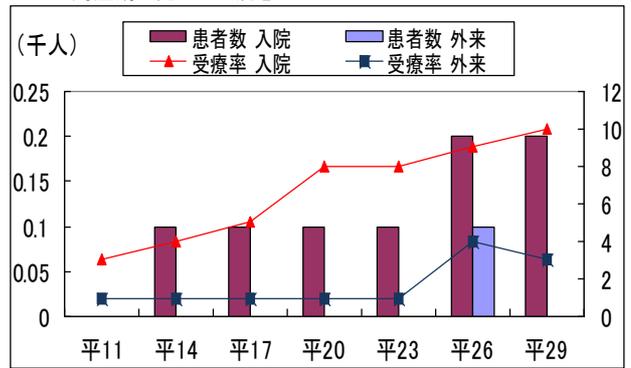
XIV 腎尿路生殖器系の疾患



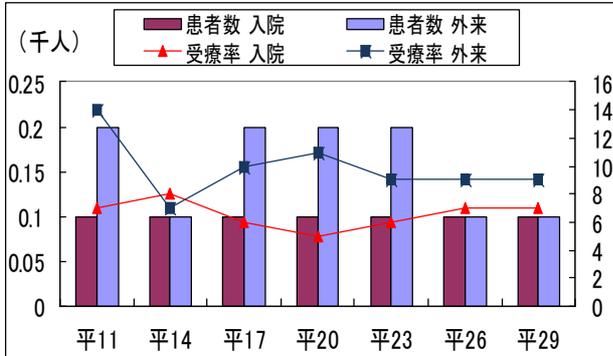
XV 妊娠、分娩及び産褥



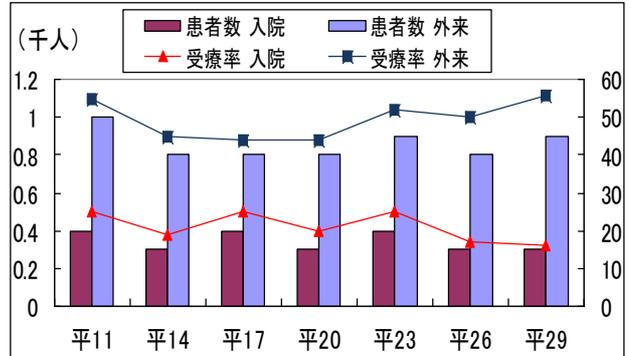
XVI 周産期に発生した病態



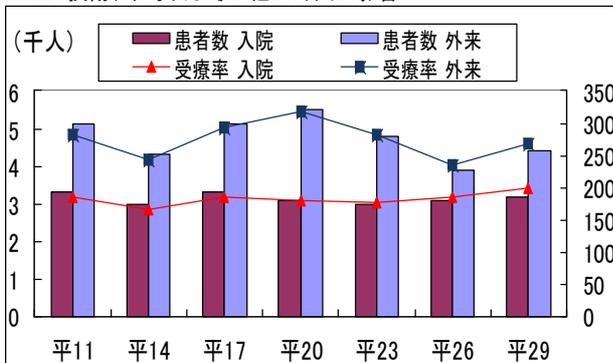
XVII 先天性奇形、変形及び染色体異常



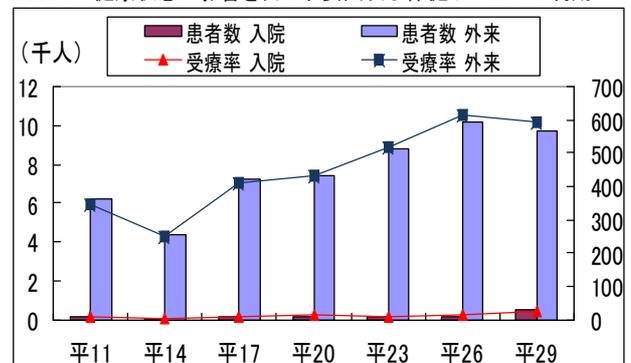
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの



XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響



XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用



[患者調査]

(3) 受療率

ア 全体的な傾向

- 受療率（県外流出患者を除く。）は、入院・一般外来とも引き続き全国より高くなっていますが、歯科外来については、平成23年を除き全国より低くなっています。
- 平成29年の受療率は、平成26年と比較すると、入院・外来ともに減少しています。

【図表 1-3-61】 本県の受療率の推移（人口10万対）

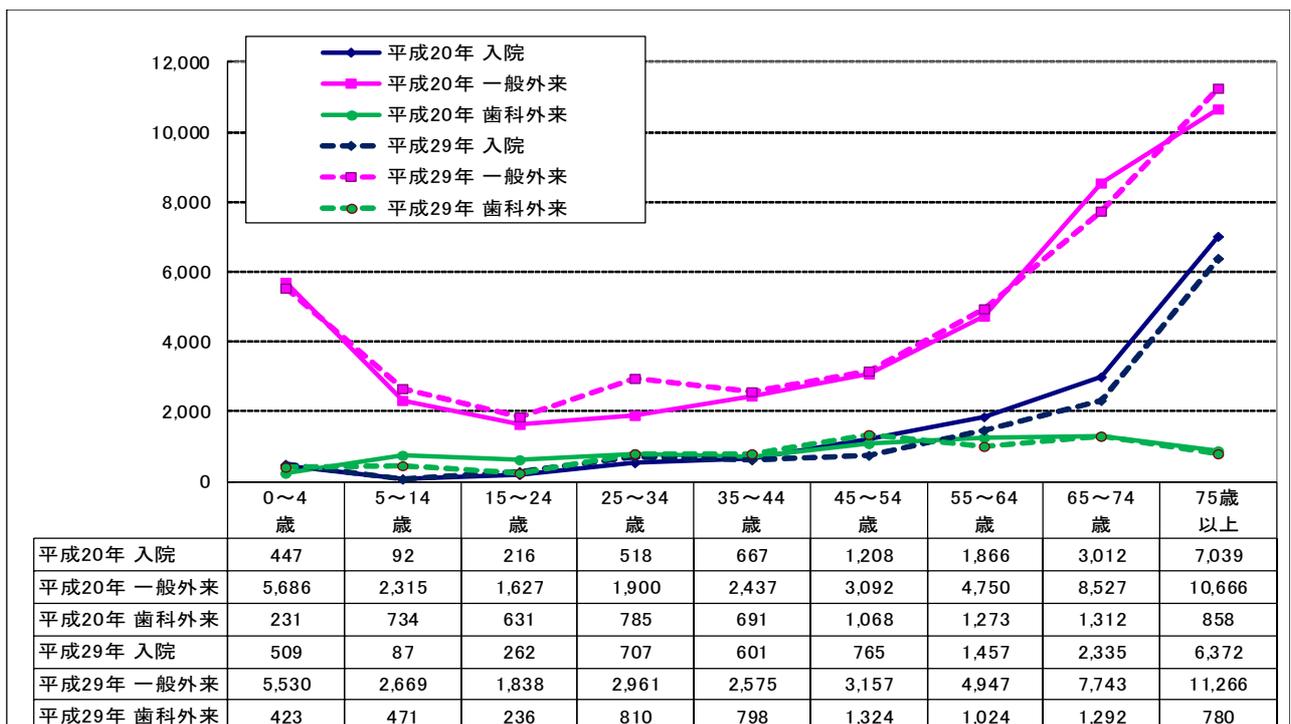
区 分		平成14年	平成17年	平成20年	平成23年	平成26年	平成29年	対26年伸率
本 県	入 院	2,014	2,027	1,964	1,955	1,885	1,880	△ 0.3
	外 来	5,774	6,194	5,655	6,211	6,440	6,138	△ 4.7
	一般	4,997	5,206	4,740	5,124	5,463	5,270	△ 3.5
	歯科	777	988	915	1,087	976	868	△ 11.1
全 国	入 院	1,139	1,145	1,090	1,068	1,038	1,036	△ 0.2
	外 来	5,083	5,551	5,376	5,784	5,696	5,675	△ 0.4
	一般	4,182	4,552	4,351	4,699	4,623	4,611	△ 0.3
	歯科	901	1,000	1,025	1,085	1,073	1,064	△ 0.8

[患者調査]

イ 年齢階級別受療率

- 受療率を年齢階層別に見ると、入院、一般外来ともに55歳以上が高くなっており、特に一般外来では0～4歳も高くなっています。
- 歯科外来では、年齢が上がるにつれて高くなる傾向にありますが、75歳以上では低くなっています。

【図表 1-3-62】 本県の年齢階層別入院・一般外来・歯科外来受療率（人口10万対）



[患者調査]

ウ 性別受療率

- 平成29年の入院・一般外来の受療率は、男女ともに全国より高く、歯科外来の受療率は、男女ともに全国より低くなっています。
- 平成20年と比較すると、一般外来が男女ともに増加しています。

【図表 1-3-63】入院・一般外来・歯科外来受療率の全国比較（人口10万対）

区分		平成20年			平成29年		
		本県(A)	全国(B)	A-B	本県(A)	全国(B)	A-B
入院	総数	1,964	1,090	874	1,880	1,036	844
	男性	1,816	1,028	788	1,711	972	739
	女性	2,093	1,150	943	2,029	1,096	933
一般外来	総数	4,740	4,351	389	5,270	4,611	659
	男性	4,215	3,794	421	4,640	4,046	594
	女性	5,197	4,880	317	5,829	5,147	682
歯科外来	総数	915	1,025	△ 110	868	1,064	△ 196
	男性	852	894	△ 42	804	907	△ 103
	女性	970	1,150	△ 180	924	1,212	△ 288

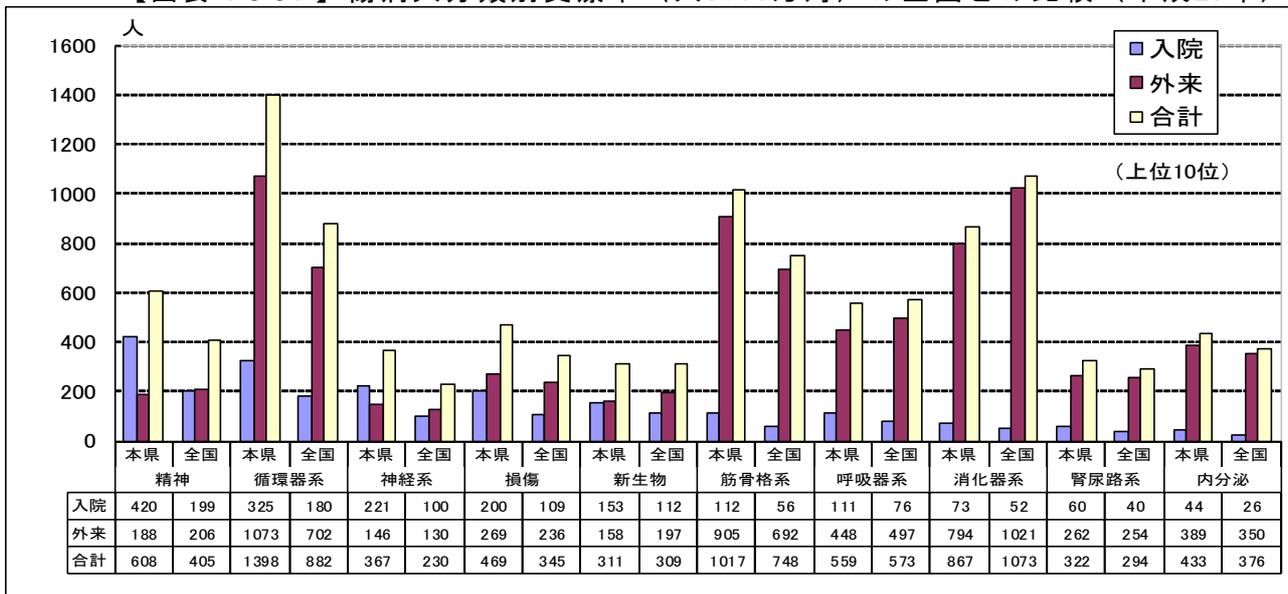
[患者調査]

エ 受療率の状況

(ア) 傷病大分類別受療率（平成29年）

- 入院の状況
本県：1位 精神及び行動の障害，2位 循環器系の疾患，3位 神経系の疾患
全国：1位 精神及び行動の障害，2位 循環器系の疾患，3位 新生物
- 外来の状況
本県：1位 循環器系の疾患，2位 筋骨格系及び結合組織の疾患，3位 消化器系の疾患
全国：1位 消化器系の疾患，2位 循環器系の疾患，3位 筋骨格系及び結合組織の疾患

【図表 1-3-64】傷病大分類別受療率（人口10万対）の全国との比較（平成29年）



[患者調査]

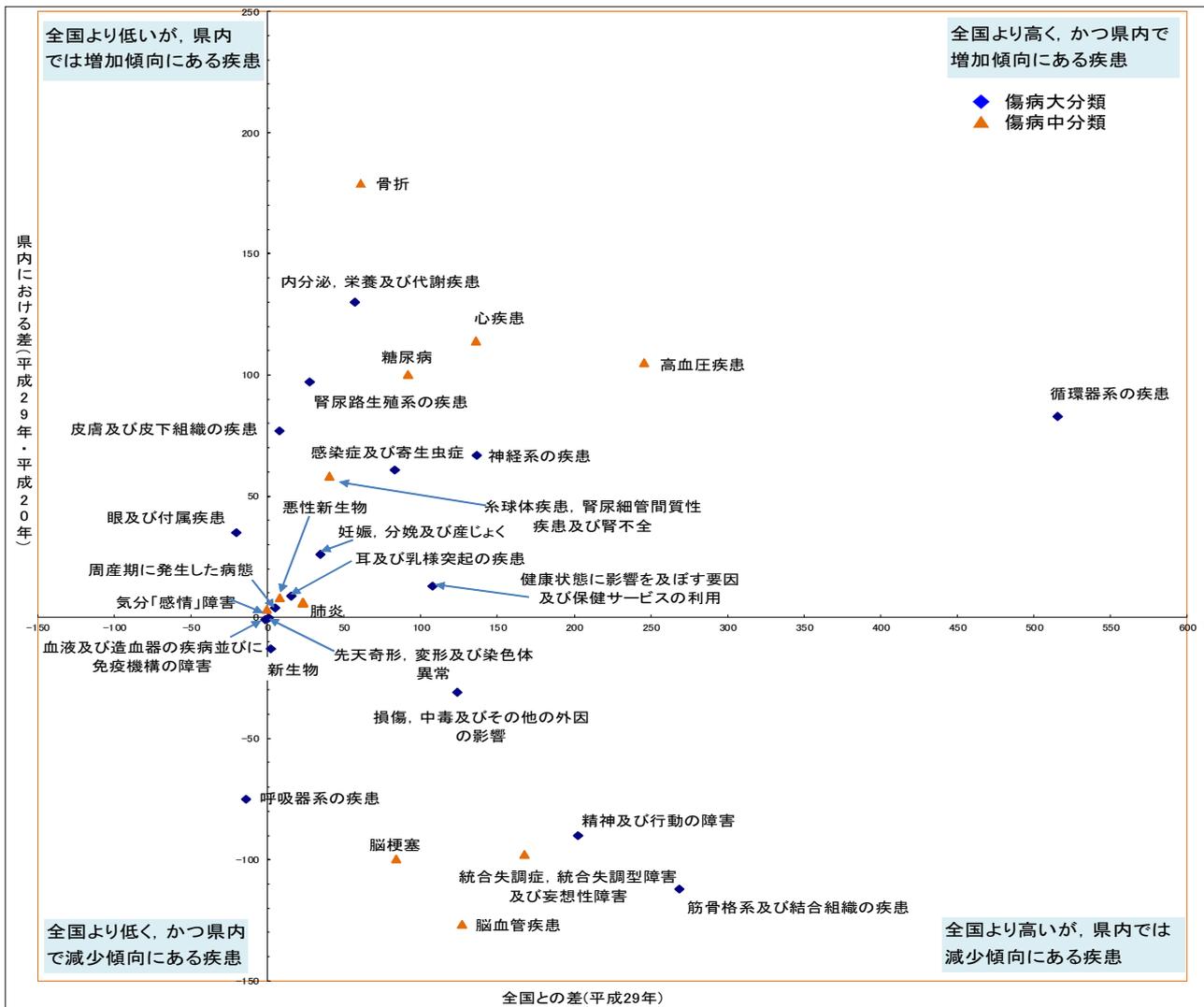
(イ) 傷病分類別受療率の推移

○ 傷病分類別受療率について傷病大分類20項目に加え、傷病中分類の中で脳血管疾患や悪性新生物など主な疾患10項目を再掲しました。

全国とは平成29年の受療率を比較し、県内で平成20年と平成29年の受療率を比較すると、以下のように分類されます。

- ・ 全国より高く、かつ県内で増加傾向にある疾患
「循環器系の疾患」、「高血圧疾患」、「心疾患」、「神経系の疾患」 等
- ・ 全国より高いが、県内では減少傾向にある疾患
「脳血管疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」 等
- ・ 全国より低いが、県内では増加傾向にある疾患
「眼及び付属疾患」
- ・ 全国より低く、かつ県内で減少傾向にある疾患
「呼吸器系の疾患」 等

【図表 1-3-65】 傷病分類別受療率の全国及び県内の平成20年と平成29年との比較



[患者調査]

(ウ) 傷病分類別の受療率(人口10万対)及び標準化受療比(平成29年)

- 傷病分類別の受療率を標準化受療比^{*1}で見ると、入院については、総数が全国より高く、傷病分類別では、「耳及び乳様突起の疾患」、「周産期に発生した病態」、「妊娠、分娩及び産じょく」、「精神及び行動の障害」が特に全国より高くなっています。
- 外来については、総数が全国より高く、傷病分類別では、「妊娠、分娩及び産じょく」、「感染症及び寄生虫症」、「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が特に全国より高くなっています。

【図表 1-3-66】傷病分類別の受療率(人口10万対)及び標準化受療比(平成29年)

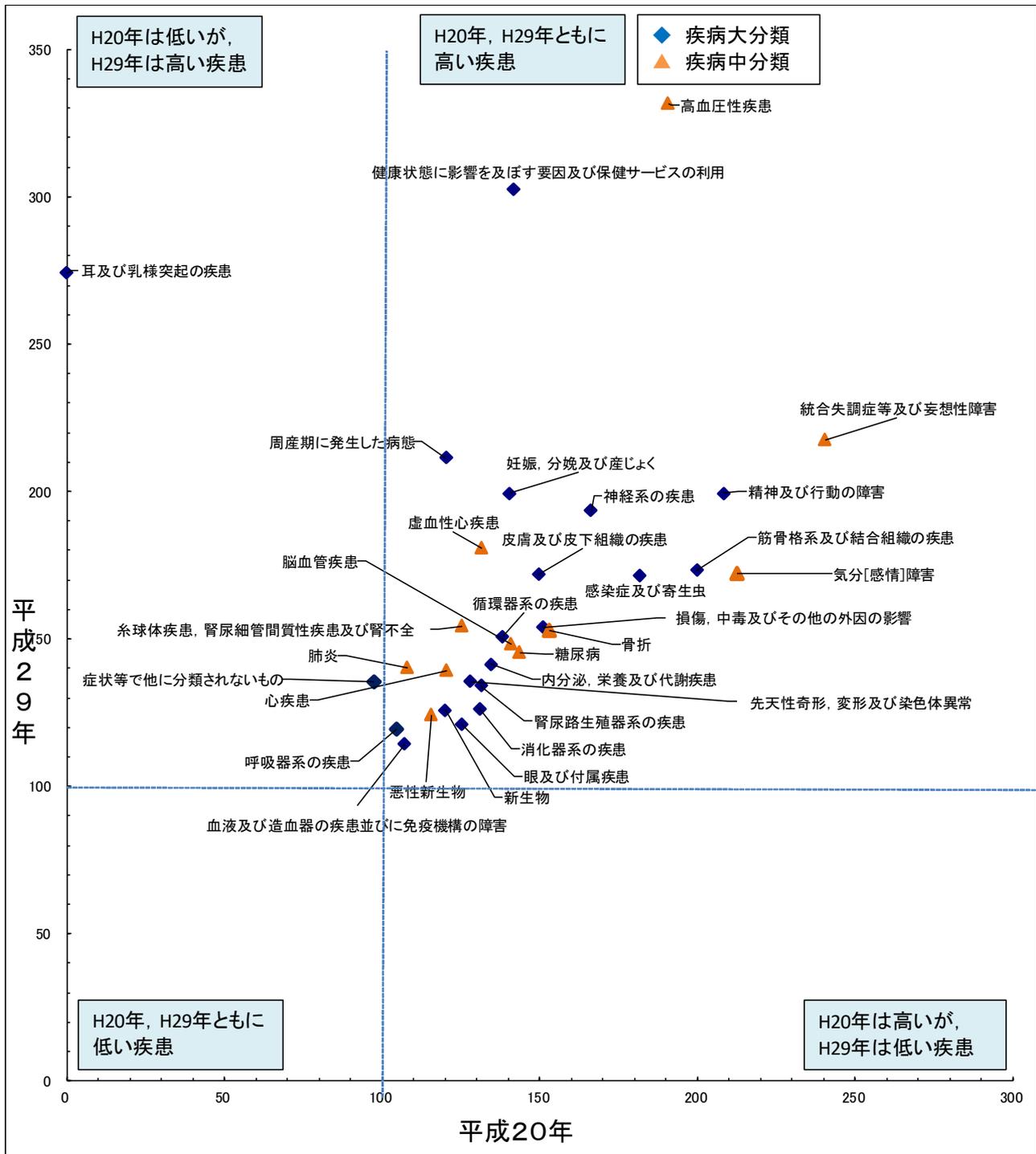
傷病分類	本県						全国						標準化受療比	
	入院			外来			入院			外来			入院	外来
	総数	病院	一般診療所											
総数	1,880	1,711	169	6,138	1,561	3,709	1,036	1,004	32	5,675	1,286	3,325	160.2	103.9
I 感染症及び寄生虫症	31	31	1	202	32	170	16	15	0	134	28	106	171.7	148.5
II 新生物	153	139	14	158	120	38	112	111	1	197	158	39	126.0	77.9
悪性新生物(再掲)	138	125	13	115	87	23	100	99	1	145	124	21	124.1	75.7
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6	6	-	15	9	6	5	5	0	17	9	8	114.3	113.1
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	44	39	4	389	112	277	26	25	1	350	95	254	141.5	105.1
糖尿病(再掲)	26	25	1	258	72	185	15	14	1	177	60	117	145.3	136.7
V 精神及び行動の障害	420	416	4	188	150	38	199	198	1	206	85	121	199.3	94.7
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害(再掲)	273	273	-	65	63	2	121	121	0	49	31	18	217.5	141.0
気分[感情]障害(躁うつ病を含む)(再掲)	40	40	1	55	35	20	24	23	1	71	21	49	172.4	81.6
VI 神経系の疾患	221	216	6	146	81	64	100	98	1	130	53	77	193.5	103.8
VII 眼及び付属器の疾患	11	10	1	261	26	235	9	8	1	283	49	234	120.9	86.8
VIII 耳及び乳様突起の疾患	4	4	1	92	10	82	2	2	0	78	11	67	274.1	112.2
IX 循環器系の疾患	325	294	31	1,073	293	781	180	175	5	702	175	527	151.0	137.7
高血圧性疾患(再掲)	17	12	5	744	185	560	4	4	1	511	78	432	331.6	131.3
心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲)	89	79	10	203	41	163	50	49	1	106	53	53	139.4	169.5
虚血性心疾患(再掲)	26	24	1	122	17	106	12	12	0	44	22	22	180.6	252.5
脳血管疾患(再掲)	205	189	16	105	57	48	115	112	3	68	33	35	148.3	136.9
X 呼吸器系の疾患	111	102	9	448	75	373	76	74	2	497	64	433	119.4	88.3
肺炎(再掲)	48	42	6	9	3	5	28	27	1	6	3	3	140.4	93.8
X I 消化器系の疾患	73	67	6	794	88	72	52	51	2	1,021	103	119	126.4	77.0
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	20	17	2	237	32	205	9	9	0	240	35	204	171.8	100.7
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	112	84	27	905	173	732	56	53	3	692	145	548	173.3	121.8
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	60	57	3	262	103	159	40	37	2	254	91	162	134.2	102.5
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患及び腎不全(再掲)	47	45	2	143	72	71	28	26	2	121	46	75	154.3	109.8
X V 妊娠、分娩及び産じょく	26	9	16	35	8	27	14	10	4	12	6	6	199.4	358.3
X VI 周産期に発生した病態	10	8	2	3	2	1	6	5	0	2	2	0	211.4	0.0
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	7	7	-	9	8	1	4	4	0	11	8	3	135.6	54.0
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16	13	4	56	19	37	11	11	1	62	29	33	135.7	86.2
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	200	179	20	269	86	178	109	103	5	236	73	160	153.8	113.1
骨折(再掲)	144	130	13	119	39	80	77	73	4	78	31	47	153.0	141.2
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	28	11	17	596	133	233	10	9	1	553	67	223	302.6	105.0

[患者調査]

*1 標準化受療比：全国の年齢構成ごとの受療率を本県の人口構成に当てはめて算出した期待受療者数と実際の受療者数を比較するもの。全国を100とし、100を超えれば受療率が高い、小さければ低いと判断される。

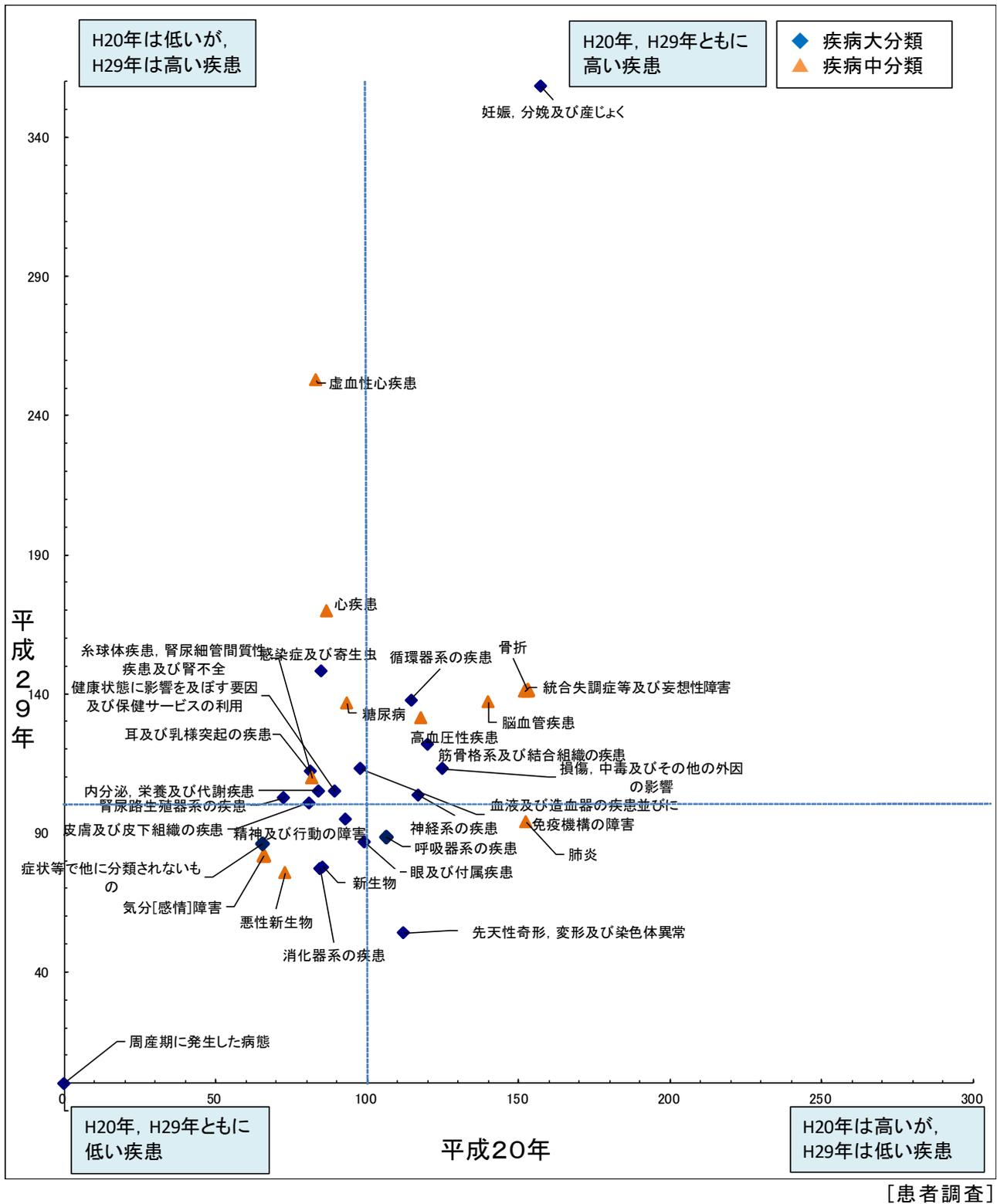
○ 平成20年と平成29年の傷病分類別標準化受療比を、入院・外来別に比較したところ、以下のように分類されます。

【図表 1-3-67】 傷病分類別標準化受療比の平成20年と平成29年との比較(入院)



[患者調査]

【図表 1-3-68】傷病分類別標準化受療比の平成20年と平成29年との比較(外来)



(4) 有病状況

令和元年・令和2年の5月分国保レセプトデータをもとにこの2年間の平均受診率（被保険者10万対）を算出しました。また、この受診率を用いて標準化受診比（SCR）^{*1}を算出し、受診率及び標準化受診比それぞれにおいて、圏域別・性別・傷病分類別に入院・外来の受診状況を比較しました。

ア 入院の状況（受診率）

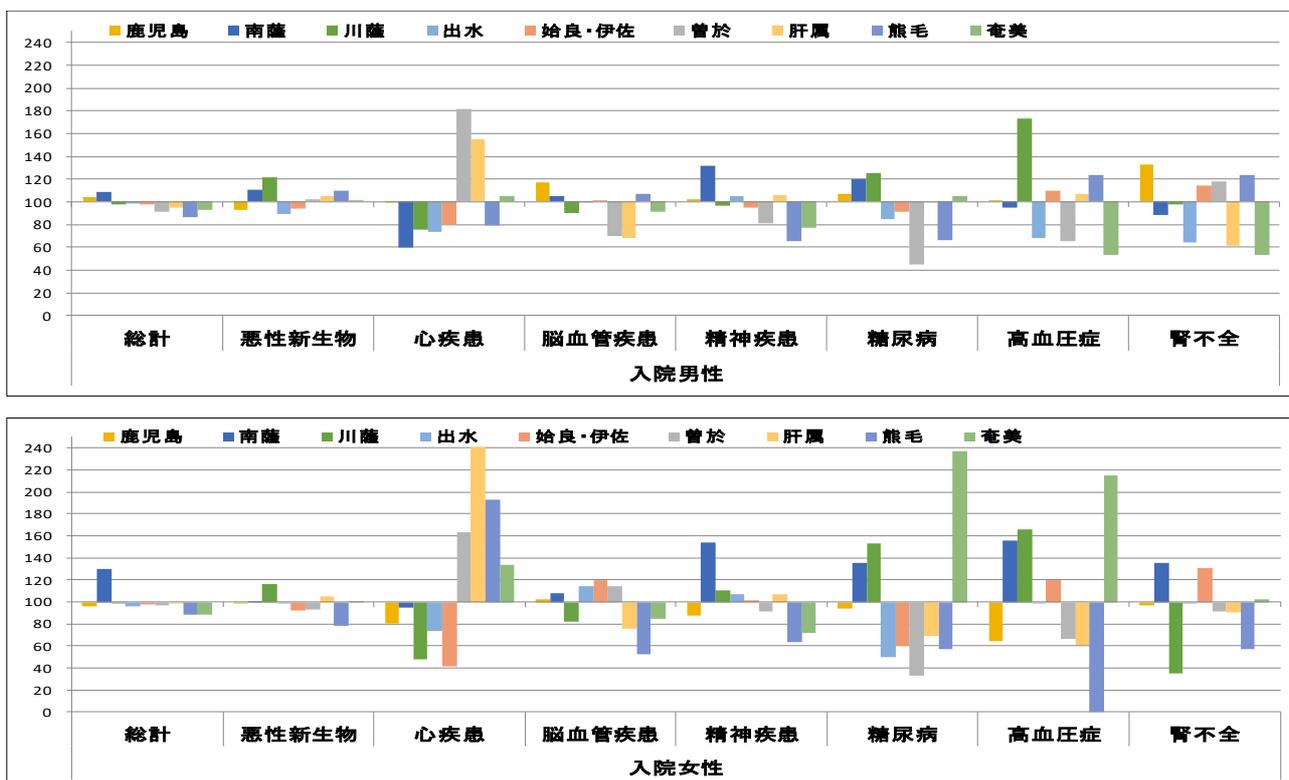
- 傷病別：男女とも精神疾患，悪性新生物，脳血管疾患の順となっています。
- 圏域別：心疾患は曾於，肝属，精神疾患は南薩，出水，肝属，糖尿病は南薩，川薩，奄美，高血圧は川薩，始良・伊佐，肝属，腎不全は始良・伊佐が，男女とも県平均より高くなっています。

【図表 1-3-69】 圏域別・性別・傷病分類別受診率（被保険者10万対）及び標準化受診比（入院：令和元年，令和2年の平均）

（受診率）

	鹿児島	南薩	川薩	出水	始良・伊佐	曾於	肝属	熊毛	奄美	県平均	
入院（男性）	総数	3601.7	3969.3	3720.5	3574.9	3558.8	3348.6	3406.9	3112.6	3258.2	3552.9
	悪性新生物	351.9	453.4	535.0	358.4	388.3	414.7	404.9	418.0	361.4	391.8
	心疾患	75.3	48.9	65.8	58.2	66.1	145.6	118.6	59.7	74.6	78.0
	脳血管疾患	193.4	187.3	172.9	174.7	180.1	123.5	116.1	179.1	146.3	171.3
	精神疾患	817.9	1124.0	823.1	882.5	784.6	697.1	905.2	574.8	688.3	828.8
	糖尿病	58.3	70.6	78.2	49.3	54.0	26.5	56.7	37.3	57.4	56.7
	高血圧症	18.6	19.0	37.0	13.4	22.0	13.2	20.6	7.5	17.2	19.4
	腎不全	169.3	124.9	144.0	89.6	158.1	167.7	67.1	67.2	86.0	134.7
入院（女性）	総数	2392.4	3290.1	2552.2	2411.3	2480.0	2405.9	2407.4	2313.0	2398.2	2500.1
	悪性新生物	278.8	291.7	346.4	287.2	265.5	265.3	286.2	231.3	301.0	283.2
	心疾患	23.8	29.7	15.9	22.8	12.9	49.5	66.4	55.8	38.4	30.2
	脳血管疾患	63.6	70.2	55.7	72.9	77.4	72.0	43.4	31.9	51.2	62.6
	精神疾患	507.4	907.6	645.0	624.5	584.5	526.2	628.7	414.7	486.7	579.3
	糖尿病	25.2	37.8	43.8	13.7	16.6	9.0	17.9	16.0	67.2	27.1
	高血圧症	8.6	21.6	23.9	13.7	16.6	9.0	7.7	0.0	28.8	13.4
	腎不全	51.0	75.6	19.9	54.7	71.9	49.5	46.0	31.9	57.6	53.7

（標準化受診比）



[県国民健康保険課作成]

イ 外来の状況（受診率）

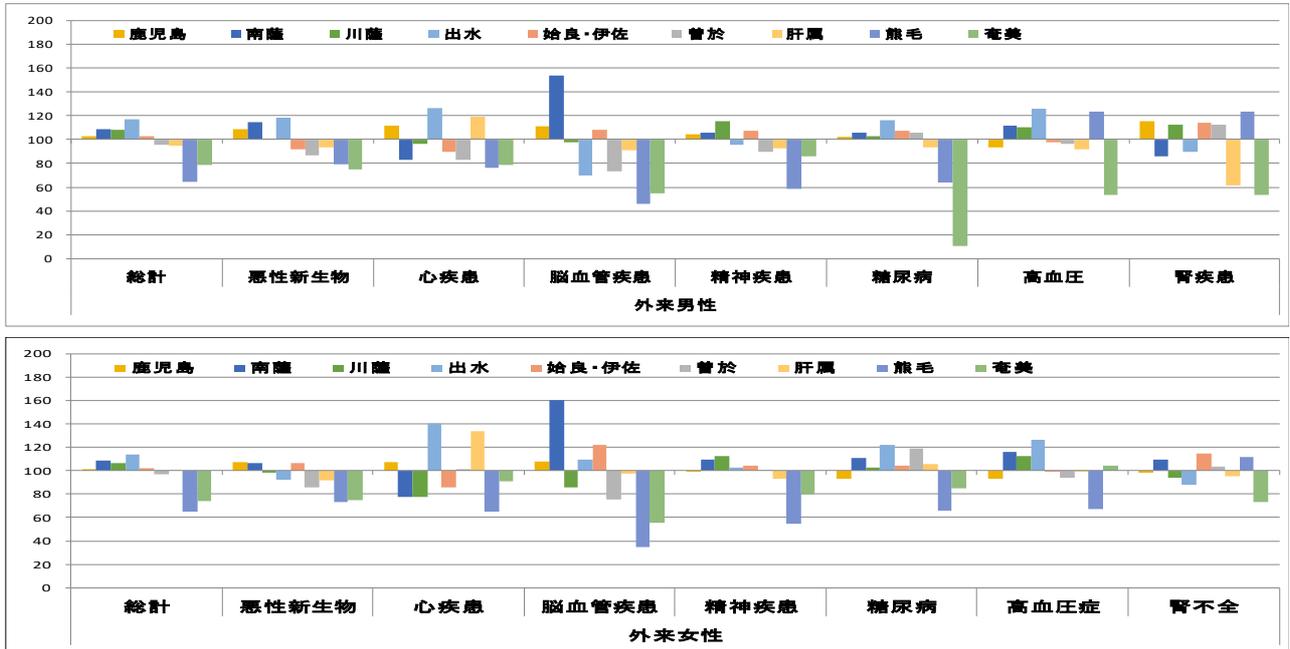
- 傷病別：男女とも高血圧症，糖尿病，精神疾患の順となっています。
- 圏域別：悪性新生物は鹿児島，南薩，川薩，心疾患は鹿児島，出水，肝属，脳血管疾患は鹿児島，南薩，始良・伊佐，精神疾患は鹿児島，南薩，川薩，始良・伊佐，糖尿病は南薩，川薩，出水，始良・伊佐，曾於，高血圧症は南薩，川薩，出水，始良・伊佐，奄美，腎不全は始良・伊佐，曾於が，男女とも県平均より高くなっています。

【図表 1-3-70】圏域別・性別・傷病分類別受診率(被保険者10万対)及び標準化受診比
(外来：令和元年，令和2年の平均)

(受診率)

	鹿児島	南薩	川薩	出水	始良・伊佐	曾於	肝属	熊毛	奄美	県平均
外来(男性)										
総数	65698.9	72014.2	75224.3	76821.1	68741.0	63165.1	61430.3	41136.1	48376.6	64914.6
悪性新生物	2052.1	2280.6	2185.4	2311.6	1869.5	1703.0	1746.0	1425.7	1262.0	1924.6
心疾患	997.3	792.8	1000.1	1182.7	866.7	780.9	1065.1	664.3	642.5	919.4
脳血管疾患	890.9	1303.2	905.4	582.4	940.8	613.3	722.1	350.8	392.9	820.2
精神疾患	3316.6	3279.7	3485.9	2983.6	3266.6	2823.6	2984.0	1925.8	2902.5	3143.6
糖尿病	6639.5	7430.8	7729.0	7996.6	7564.1	7429.6	6251.6	4202.4	4961.9	6757.4
高血圧症	8128.5	10615.5	11219.0	11647.7	9349.5	9088.5	8286.5	6710.5	9309.9	9086.7
腎不全	1029.2	830.8	1135.9	855.7	1084.9	1098.6	773.7	470.3	628.1	933.4
外来(女性)										
総数	74399.3	81439.8	81923.9	85121.7	76931.0	71565.4	71670.6	49090.8	56935.2	73865.9
悪性新生物	2505.0	2541.9	2400.9	2188.0	2526.1	1992.2	2065.0	1778.6	1853.9	2339.9
心疾患	525.9	397.1	422.0	711.1	442.5	503.7	598.0	303.1	416.2	496.2
脳血管疾患	566.3	875.2	497.7	300.8	673.0	400.2	467.7	175.5	185.7	529.1
精神疾患	3509.7	3725.0	3738.7	3505.3	3531.1	3386.2	3363.2	2153.5	3345.9	3469.6
糖尿病	4229.0	5267.4	5116.3	5752.6	4967.5	5508.8	4533.7	3006.9	3855.0	4603.2
高血圧症	7671.9	10059.4	10216.6	10839.6	8590.7	7892.3	7636.3	5487.3	8465.7	8362.8
腎不全	448.4	521.3	457.9	414.8	538.4	481.2	424.2	542.4	361.8	461.9

(標準化受診比)



[県国民健康保険課作成]

*1 標準化受診比(SCR)：本県の市町村国保被保険者の年齢構成ごとの受診率により算出した期待受診者数(圏域ごとの人口構成に当てはめて算出)と実際の受診者数を比較するもの。県100とし、100を越えれば受診率が高い，下回れば低いと判断される。

- ・ 標準化受診比 = 5月分の受診者数 / 期待受診者数
- ・ 期待受診者数 = \sum (5歳階級別圏域別被保険者数 × 県の5歳階級別の受診率)

(5) 平均在院日数^{*1}

- 本県の令和元年における全病床の平均在院日数は40.0日で、全国より12.7日長く、全国3位となっています。
 - 病床別に見ると、令和元年の一般病床における平均在院日数は19.5日で、平成17年と比較すると3.0日短くなっていますが、全国より3.5日長く、全国3位となっています。
- また、令和元年の精神病床は349.0日で、平成17年と比較すると195.6日短くなっていますが、全国より83.2日長く、全国4位となっています。

【図表 1-3-71】 平均在院日数の年次推移 (単位:日)

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和元年	
	本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国
精神病床	544.6	327.2	423.4	301.0	381.0	274.7	349.0	265.8
感染症病床	19.2	9.8	14.8	10.1	8.3	8.2	9.7	8.5
結核病床	92.4	71.9	88.4	71.5	101.0	67.3	160.9	64.6
療養病床	142.1	172.8	138.6	176.4	130.0	158.2	108.7	135.9
一般病床	22.5	19.8	21.5	18.2	19.7	16.5	19.5	16.0
介護療養病床			281.3	300.2	290.5	315.8	362.5	301.4
総数	52.4	35.7	47.8	32.5	43.2	29.1	40.0	27.3

[病院報告]

(6) 病床利用率

- 本県の令和元年における全病床の病床利用率は82.8%で全国より2.3ポイント高くなっています。
- 病床別に見ると、介護療養病床が90.4%と最も高く、次いで、精神病床が89.5%、療養病床が86.2%となっています。また、精神病床、一般病床、感染症病床においては全国を上回っています。

【図表 1-3-72】 病床利用率の年次推移 (単位:%)

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和元年	
	本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国
精神病床	95.2	91.7	92.1	89.6	89.7	86.5	89.5	85.9
感染症病床	10.0	2.7	6.6	2.8	5.4	3.1	5.1	3.8
結核病床	32.8	45.3	26.2	36.5	30.9	35.4	32.2	33.2
療養病床	93.6	93.4	90.7	91.7	87.1	88.8	86.2	87.3
一般病床	81.2	79.4	78.1	76.6	75.5	75.0	77.6	76.5
介護療養病床			94.4	94.9	90.5	92.1	90.4	90.7
総数	88.4	84.8	85.0	82.3	82.3	80.1	82.8	80.5

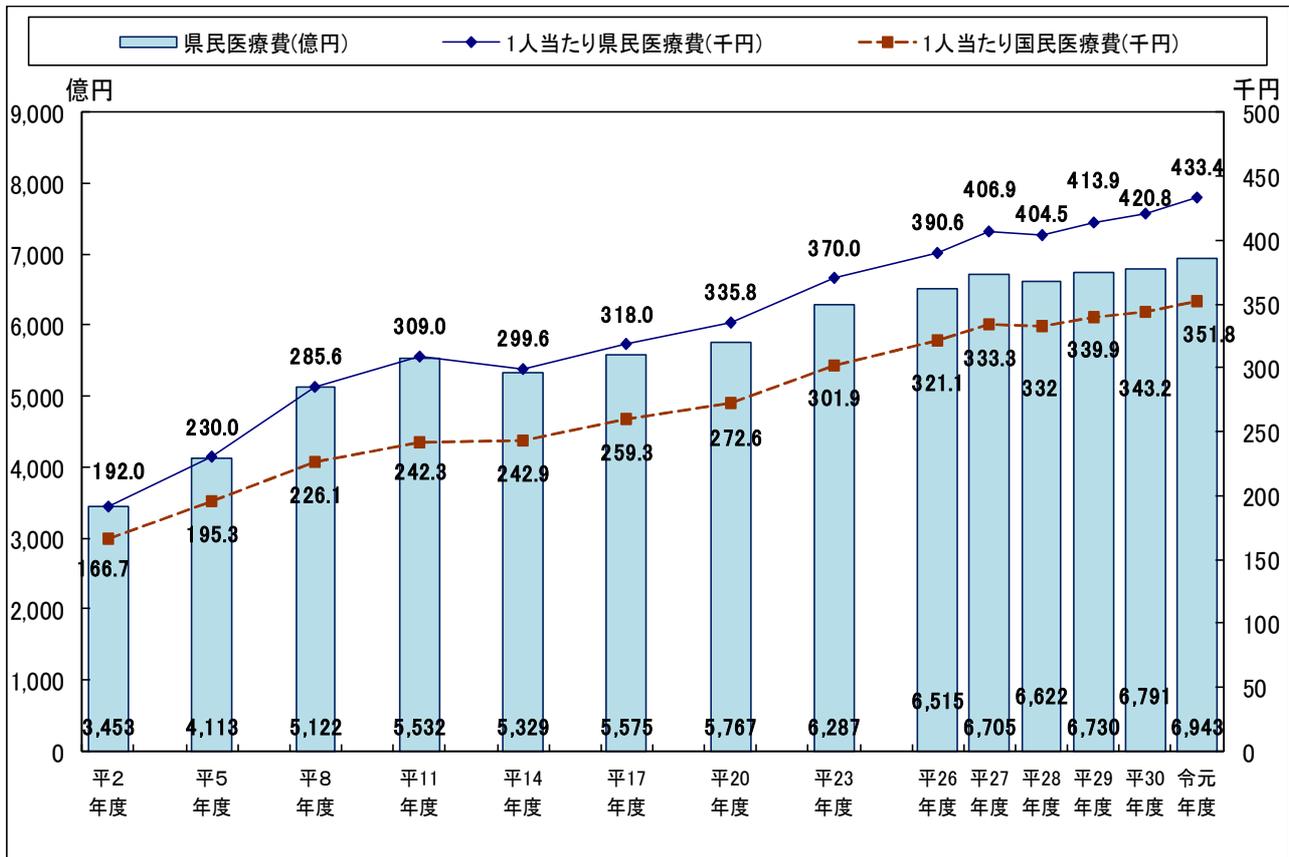
[病院報告]

*1 順位は、第1章第3節「8 本県の主要指標（全国との比較）」P66参照

(7) 県民医療費

- 本県の県民医療費^{*1}の推移を見ると、平成14年度は減少に転じたものの平成17年度以降再び増加傾向となり、令和元年度は6,943億円となっています。
- 令和元年度の1人当たりの県民医療費は433.4千円で、国民医療費351.8千円の約1.2倍となっています。

【図表 1-3-73】 県民医療費及び1人当たり医療費の動向



[国民医療費]

*1 県民医療費の出典元である国民医療費については、平成26年度までは3年に1回公表されていたが、平成27年度からは毎年公表。

(8) 入院患者の動向

- 本県の病院等におけるすべての病床種別を合計した入院患者の動向（患者住所地と入院先の医療機関所在地との関係）を二次保健医療圏別に見ると、患者の住所地の二次保健医療圏の病院等に入院している患者の割合は、鹿児島が95.9%と最も高く、次いで奄美87.3%、肝属84.7%となっています。
- 患者の住所地の二次保健医療圏の病院等に入院している患者の率が最も低いのは、曾於46.1%で、半数以上が住所地以外の二次保健医療圏の病院等に入院している状況です。

【図表 1-3-74】 病院等入院患者の移動の状況^{*1}

(単位:人)

		医療機関所在地												
		鹿児島	南薩	川薩	出水	始良・伊佐	曾於	肝属	熊毛	奄美	熊本県	宮崎県	沖縄県	総計
患者 住 所 地	鹿児島	1,282,288	19,062	10,801	532	19,216	409	2,075	58	184	598	2,415	—	1,337,638
		95.9%	1.4%	0.8%	0.0%	1.4%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	—	100%
	南薩	94,468	392,395	45	—	2,818	—	—	—	—	203	448	—	490,377
		19.3%	80.0%	0.0%	—	0.6%	—	—	—	—	0.0%	0.1%	—	100%
	川薩	50,093	676	219,787	1,797	7,085	—	52	—	—	267	167	—	279,924
		17.9%	0.2%	78.5%	0.6%	2.5%	—	0.0%	—	—	0.1%	0.1%	—	100%
	出水	15,875	109	7,618	161,509	2,054	—	10	—	—	19,217	39	—	206,431
		7.7%	0.1%	3.7%	78.2%	1.0%	—	0.0%	—	—	9.3%	0.0%	—	100%
	始良・伊佐	80,231	673	1,606	221	449,677	432	880	—	—	7,076	6,365	—	547,161
		14.7%	0.1%	0.3%	0.0%	82.2%	0.1%	0.2%	—	—	1.3%	1.2%	—	100%
	曾於	12,104	306	70	—	10,403	102,930	40,167	—	—	276	56,783	—	223,039
		5.4%	0.1%	0.0%	—	4.7%	46.1%	18.0%	—	—	0.1%	25.5%	—	100%
	肝属	35,297	669	36	36	13,495	3,369	317,632	—	—	172	4,286	—	374,992
		9.4%	0.2%	0.0%	0.0%	3.6%	0.9%	84.7%	—	—	0.0%	1.1%	—	100%
	熊毛	33,850	99	—	—	1,313	—	—	80,790	—	—	137	—	116,189
		29.1%	0.1%	—	—	1.1%	—	—	69.5%	—	—	0.1%	—	100%
奄美	25,193	244	—	—	2,005	—	33	—	259,363	10	246	9,917	297,011	
	8.5%	0.1%	—	—	0.7%	—	0.0%	—	87.3%	0.0%	0.1%	3.3%	100%	
総計	1,629,399	414,233	239,963	164,095	508,066	107,140	360,849	80,848	259,547	27,819	70,886	9,917	3,872,762	
	42.1%	10.7%	6.2%	4.2%	13.1%	2.8%	9.3%	2.1%	6.7%	0.7%	1.8%	0.3%	100%	

(注) 端数処理のため、割合の計と内訳は一致しない。

[平成28年度版医療計画作成支援データブック(受療動向可視化ツール)]^{**3}

*1 県外への流出先は、県内いずれかの二次保健医療圏から1%以上流出のある3県のみ表示している。

*2 NDBの利用ルールにより、10件未満の集計データは表示されない。

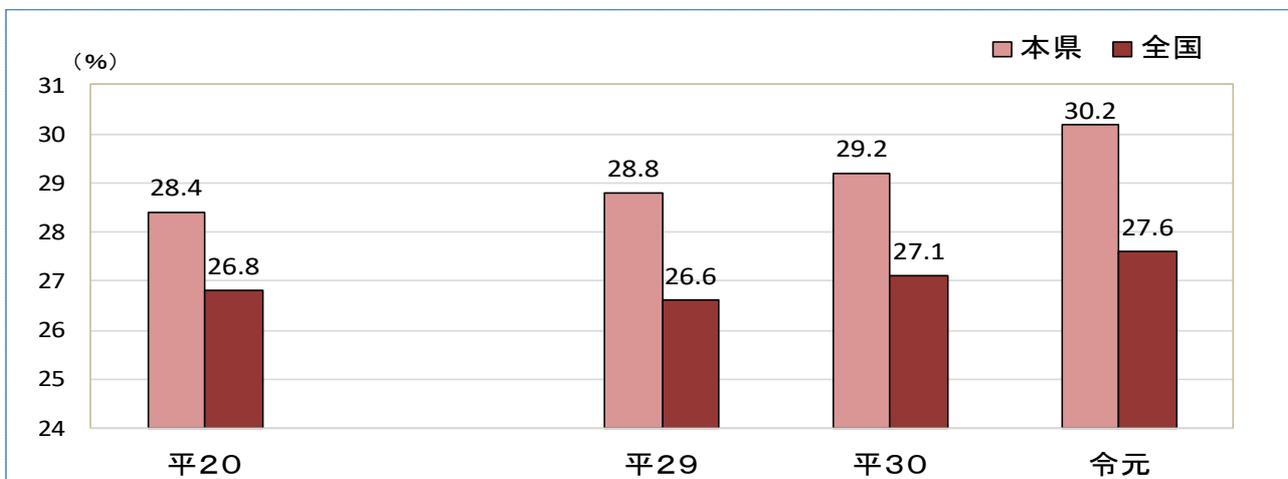
*3 「0.0%」表示は10件以上のデータはあるものの、件数が少なく、計算上「0.0%」と表示される。

5 県民の健康状況

(1) メタボリックシンドロームの状況

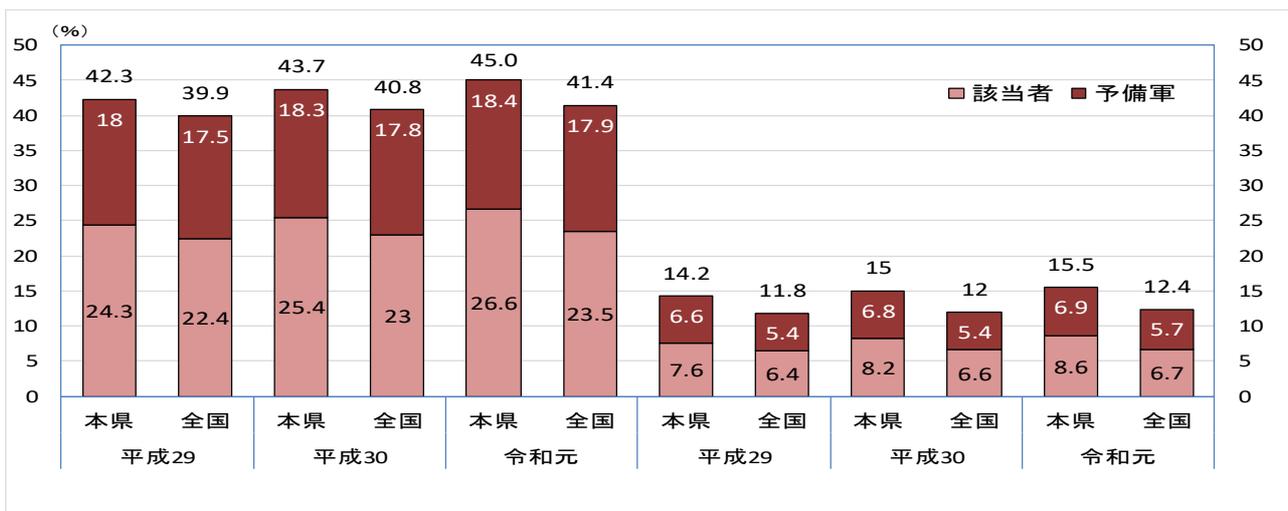
- 特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当者・予備群^{*1}の割合は、特定健康診査がスタートした平成20年度より本県・全国ともに微増していますが、本県は全国に比べて割合が高く、令和元年度で30.2%となっています。
- メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合を男女別にみると、本県の令和元年度の状況は男性45.0%、女性15.5%といずれも全国より高く、男性は女性の約3倍となっています。

【図表 1-3-75】メタボリックシンドローム該当者・予備群の推移



[厚生労働省提供データ]

【図表 1-3-76】メタボリックシンドローム該当者・予備群の推移（男女別）



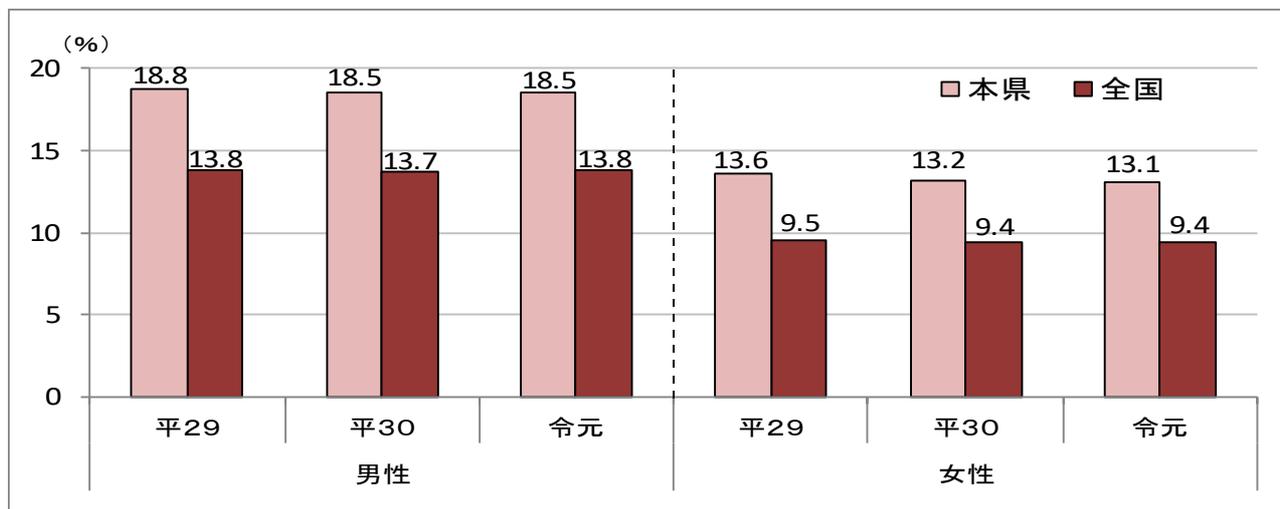
[厚生労働省提供データ]

*1 メタボリックシンドローム該当者・予備群：内臓のまわりに脂肪がつく内臓脂肪型肥満の人が、脂質代謝異常や高血圧、高血糖のいずれか二つ以上を併せ持っている状態が「該当者」。一つ持っている状態が「予備群」。

(2) 高血圧・糖尿病の状況

- 特定健康診査受診者の高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の割合は、概ね横ばいで経過しており、令和元年度は男性18.5%、女性13.1%と男女ともに、全国より高い割合となっています。

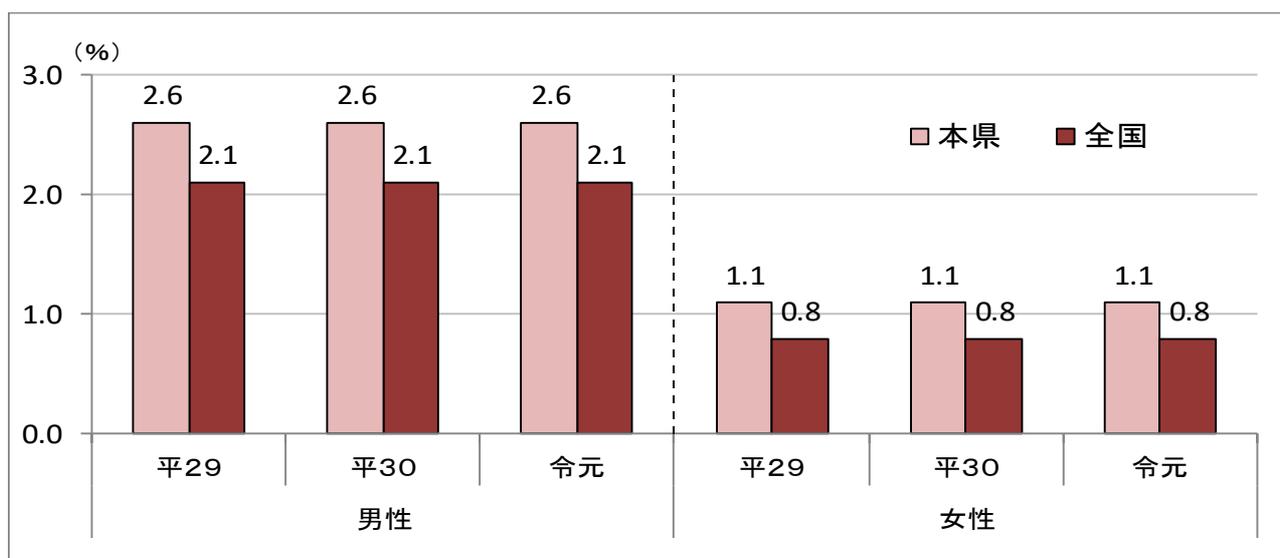
【図表 1-3-77】高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の割合の推移



[厚生労働省提供データ]

- 糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合は、概ね横ばいで経過しており、令和元年度は男性2.6%、女性1.1%と男女ともに、全国より高い割合となっています。

【図表 1-3-78】糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合の推移



[厚生労働省提供データ]

7 保健医療サービス

(1) 医療従事者

- 本県の医師・歯科医師・薬剤師数の推移を見ると、増加傾向にあります。
- 人口10万人当たりの人数は、医師数は全国を上回っていますが、歯科医師・薬剤師は全国を下回っています。
- 医師・歯科医師・薬剤師ともに、鹿児島市に偏在している状況にあります。

【図表 1-3-79】 医師・歯科医師・薬剤師数の推移

区分	平成26年			平成28年			平成30年				
	人数		人口10万対	人数		人口10万対	人数		人口10万対		
	本県	本県	全国	本県	本県	全国	本県	鹿児島市	本県	鹿児島市	全国
医師	4,300	257.8	244.9	4,461	272.5	251.7	4,545	2,593	281.6	434.3	258.8
歯科医師	1,294	77.6	81.8	1,340	81.9	82.4	1,323	744	82.0	124.6	83.0
薬剤師	3,043	182.4	226.7	3,098	189.2	237.4	3,181	1,596	197.1	267.3	246.2

(注) 鹿児島市は再掲

[医師・歯科医師・薬剤師調査]

(2) 医療提供施設

- 医療機関数の推移を見ると、薬局は増加傾向、一般病院、一般診療所、歯科診療所は減少傾向にあります。
- 一般診療所では、有床診療所の減少に対して、無床診療所は増加傾向にあります。
- 人口10万対の施設数を見ると、一般病院や一般診療所、薬局は全国を上回っていますが、歯科診療所は下回っています。
- 鹿児島市は、無床診療所を除く全ての種別の医療機関が全国を上回っています。

【図表 1-3-80】 医療機関数の推移

区分	平成21年			平成26年			令和元年				
	施設数		人口10万対	施設数		人口10万対	施設数		人口10万対		
	本県	本県	全国	本県	本県	全国	本県	鹿児島市	本県	鹿児島市	全国
一般病院*1	234	13.7	6.0	217	13.0	5.8	204	77	12.7	12.9	5.7
一般診療所*1	1,433	83.9	78.1	1,406	84.3	79.1	1,374	536	85.8	90.1	81.3
有床	436	25.5	8.7	377	22.6	6.6	307	103	19.2	17.3	5.3
無床	997	58.4	69.5	1,029	61.7	72.5	1,067	433	66.6	72.8	76.1
歯科診療所*1	812	47.5	53.4	820	49.2	54.0	801	375	50.0	63.0	54.3
薬局*2	825	48.3	42.1	891	53.4	45.5	894	355	55.8	59.6	47.7

[*1：医療施設調査，*2：衛生行政報告例]

- 令和元年における県内の病床数は、病院が33,022床、一般診療所が4,862床となっており、平成26年と比較すると、いずれも減少しています。

【図表 1-3-81】 病床数の状況

区分	病院	精神科病床			感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	一般診療所	療養病床(再掲)	歯科診療所
		精神科病床	精神科病院(再掲)	一般病院(再掲)							
平成21年	35,306	9,982	7,661	2,321	44	230	9,654	15,396	6,839	1,222	2
平成26年 (a)	34,275	9,792	7,722	2,070	44	181	8,887	15,371	5,973	979	2
令和元年 (b)	33,022	9,455	7,180	2,275	45	111	7,968	15,443	4,862	660	1
(b) - (a)	△ 1,253	△ 337	△ 542	205	±0	△ 70	△ 919	72	△ 1,111	△ 319	±0

[医療施設調査]

8 本県の主要指標（全国との比較）

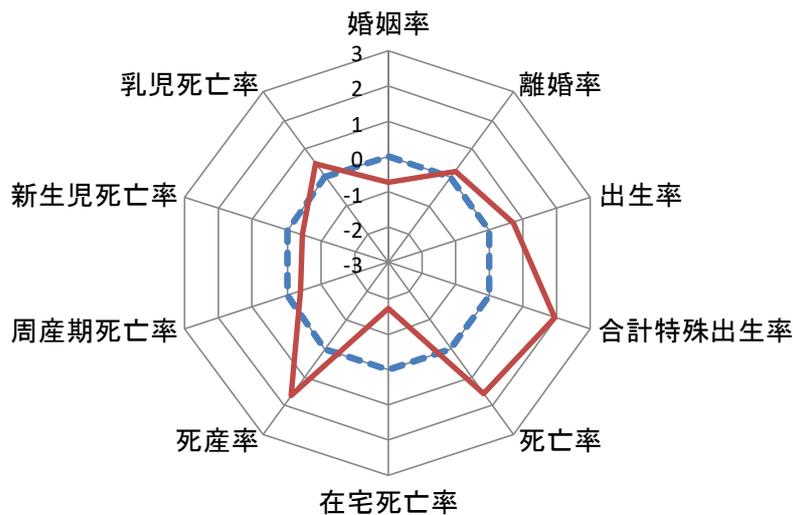
（1）本県の健康関連指標（全国との比較）

本県の人口・出生・死亡等の健康関連データを標準化^{*1}した各指標の数値について平均値を出し、「人口動態」「高齢化・平均寿命等」「年齢調整死亡率」「医療施設・病床数」「医療従事者数・平均在院日数・医療費」別にレーダーチャート化したものです。

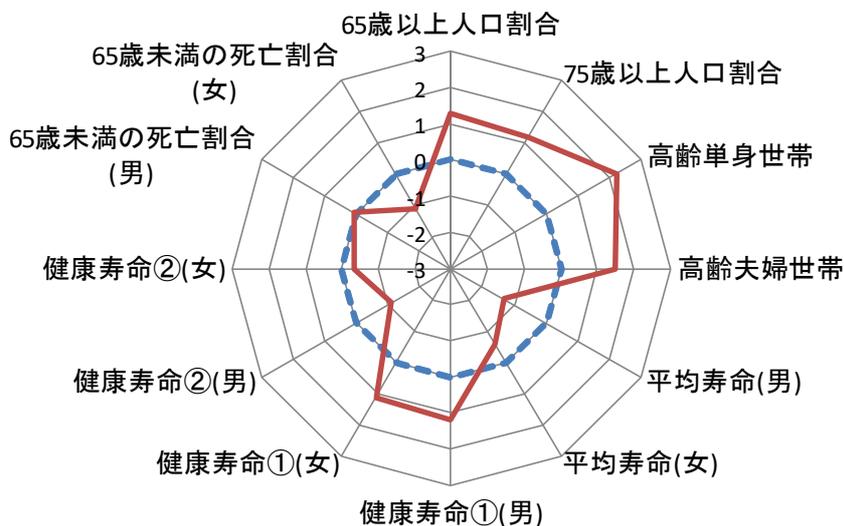
【図表 1-3-82】本県の健康関連指標（全国との比較）（その1）

《人口動態》

※全国は0



《高齢化・平均寿命等》



健康寿命①：日常生活に制限のない期間の平均

健康寿命②：日常生活動作が自立している期間の平均

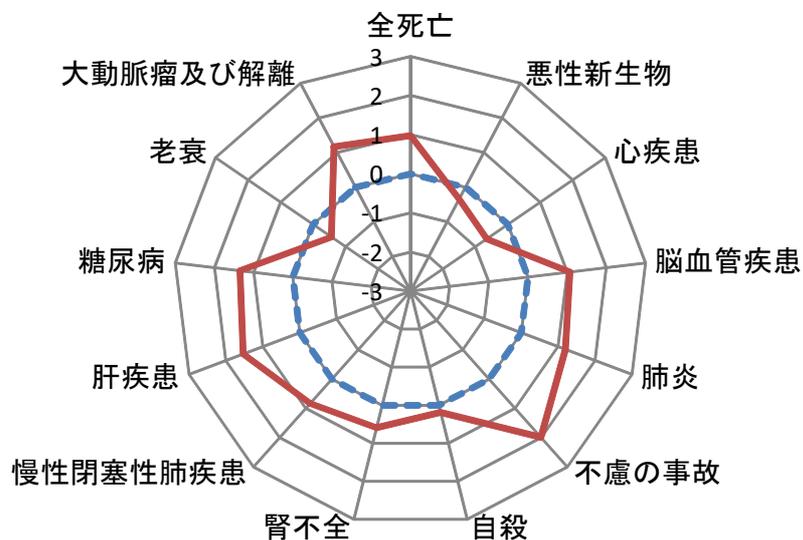
[各種統計をもとに県保健医療福祉課作成]

*1 標準化：単位，平均，ばらつきが異なる諸指標におけるデータを，互いに比較できるように変換する方法をいう。各データ（ここでは本県の値）と平均値（全国平均の値）との差を，標準偏差で除す。平均値より高ければプラス，低ければマイナスとなるように変換されている。

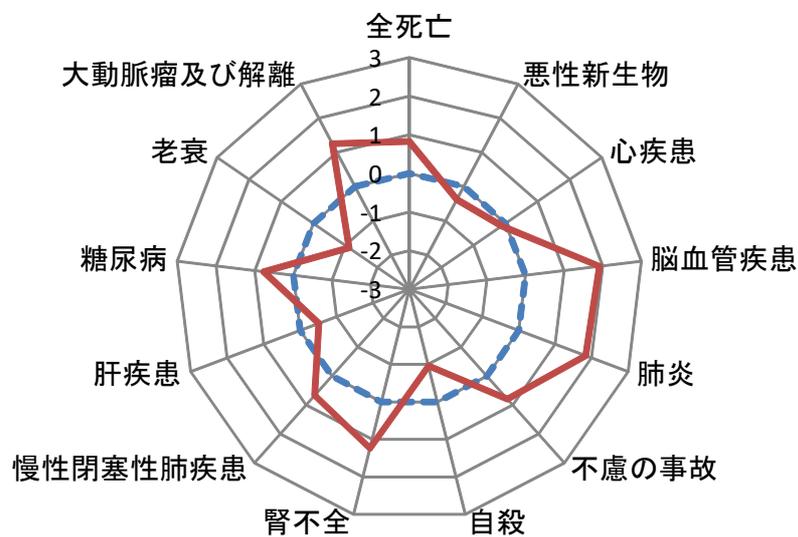
【図表 1-3-83】 本県の健康関連指標（全国との比較）（その2）

《年齢調整死亡率（男性）》

※全国は0



《年齢調整死亡率（女性）》

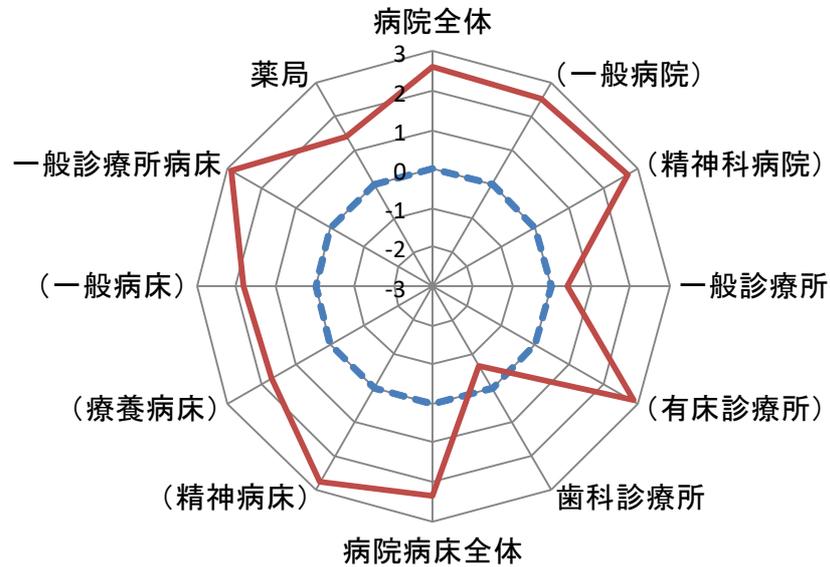


[国の各種統計をもとに県保健医療福祉課・健康増進課作成]

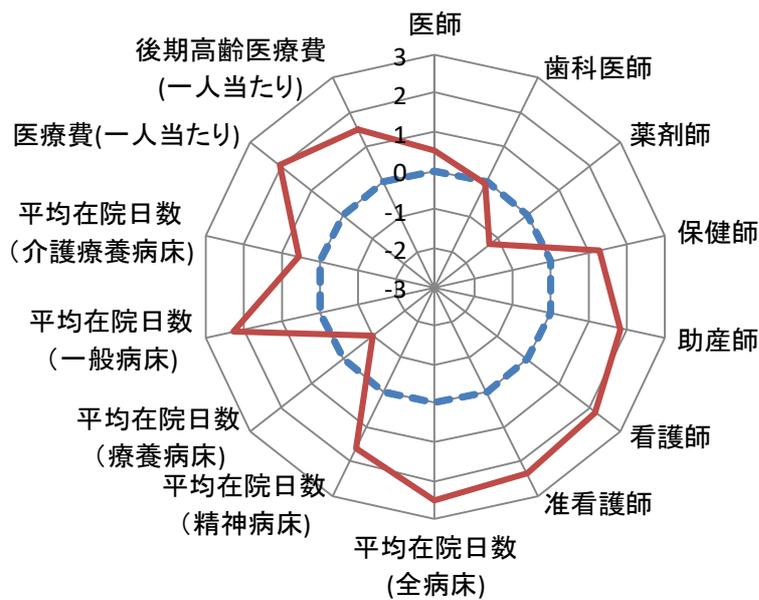
【図表 1-3-84】本県の健康関連指標（全国との比較）（その3）

《医療施設数・病床数》

※全国は0



《医療従事者数・平均在院日数・医療費》



[国の各種統計をもとに県保健医療福祉課作成]

【図表 1-3-85】主要指標

	項目	全国	本県	全国	年	出典	
				順位			
人口動態	婚姻率(人口千対)	4.3	4.0	22	令和2年	人口動態統計	
	離婚率(人口千対)	1.6	1.6	14			
	出生(人口千対)	6.9	7.5	8			
	合計特殊出生率	1.36	1.63	6	令和元年		
	死亡率(人口千対)	11.3	13.9	9	令和2年		
	在宅死亡割合	15.7	10.6	42			
	死産率(出産千対)	20.1	23.3	3			
	周産期死亡率(出生千対)	3.2	2.9	35			
	新生児死亡率(出生千対)	0.8	0.6	38			
乳児死亡率(出生千対)	1.8	2.1	16				
世帯	65歳以上人口割合	28.7	32.8	14	令和2年	国勢調査	
	75歳以上人口割合	14.8	17.0	15			
	高齢単身世帯割合	12.1	16.4	—			
	高齢夫婦世帯割合	11.7	14.9	—			
平均余命	平均寿命	男	80.77	80.02	43	平成27年	都道府県別生命表
		女	87.01	86.78	36		
	65歳平均余命	男	19.46	19.33	30		
		女	24.30	24.27	29		
早世	65歳未満死亡割合	男	11.7	11.9	12	令和2年	人口動態統計
		女	6.4	5.1	31		
年齢調整死亡率(人口10万対)	全死亡	男	486.0	512.4	9	平成27年	人口動態統計特殊報告
		女	255.0	264.7	9		
	悪性新生物	男	165.3	161.4	27		
		女	87.7	85.6	25		
	心疾患	男	65.4	60.0	38		
		女	34.2	33.7	23		
	脳血管疾患	男	37.8	44.1	9		
		女	21.0	27.5	4		
	肺炎	男	38.3	44.1	6		
		女	15.8	20.3	1		
	不慮の事故	男	19.3	26.6	3		
		女	8.0	9.2	17		
	自殺	男	23.0	23.5	25		
		女	8.9	7.7	38		
	腎不全	男	7.3	8.0	17		
		女	4.0	4.7	8		
	慢性閉塞性肺疾患	男	7.5	8.3	14		
女		1.1	1.3	4			
肝疾患	男	9.8	13.0	3			
	女	3.5	3.1	31			
糖尿病	男	5.5	7.2	3			
	女	2.5	2.9	9			
老衰	男	10.1	8.7	34			
	女	13.4	10.7	18			
大動脈瘤及びび解離	男	6.4	7.8	6			
	女	3.3	4.0	5			
医療施設数(人口10万対)	病院	6.6	15.0	2	令和元年	医療施設調査	
	一般病院(再掲)	5.7	12.7	2			
	精神科病院(再掲)	0.8	2.3	1			
	一般診療所	81.3	85.8	18			
	有床診療所(再掲)	5.3	19.2	2			
	歯科診療所	54.3	50.0	21			
	薬局	47.7	55.8	8			
病床数(人口10万対)	病院	1,212.1	2,061.3	2	令和元年	医療施設調査	
	精神病床(再掲)	258.9	590.2	2			
	感染症病床(再掲)	1.5	2.8	12			
	結核病床(再掲)	3.5	6.9	8			
	療養病床(再掲)	244.5	497.4	4			
	一般病床(再掲)	703.7	964.0	4			
	一般診療所	72.0	303.5	2			
医療従事者数(人口10万対)	医師数	258.8	281.6	17	平成30年	医師・歯科医師・薬剤師統計	
	歯科医師数	83.0	82.0	12			
	薬剤師数	246.2	197.1	38			
	保健師数	41.9	58.3	15		衛生行政報告例	
	助産師数	29.2	38.8	5			
	看護師数	963.8	1,394.3	2			
准看護師数	240.8	550.2	4				
平均在院日数	全病床	27.3	40.0	3	令和元年	病院報告	
	精神病床	265.8	349.0	4			
	療養病床	135.9	108.7	39			
	一般病床	16.0	19.5	3			
	介護療養病床	301.4	362.5	16			
医療費(千円)	1人当たり医療費	351.8	433.4	3	令和元年度	国民医療費	
	1人当たり後期高齢者医療費	954.4	1,118.2	3		後期高齢者医療事業年報	

県全体の現状分析のまとめ

- 本県総人口は、昭和60年から減少傾向にあり、令和7年には約151万人と推計される。
- 高齢者のいる世帯は、約32万世帯であり、このうち、高齢単身世帯が約12万世帯（16.4%）、高齢夫婦世帯が約11万世帯（14.9%）を占めている。
- 平均寿命は、男女とも年々延びているが、全国を下回っている。
本県男性：80.02年（全国：80.77年）
本県女性：86.78年（全国：87.01年）
- 健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均）は、男女とも全国を上回っている。
本県男性：73.40年（全国：72.68年）
本県女性：76.23年（全国：75.38年）
- 本県の死因は、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の三大生活習慣病が全死亡の48.3%を占めている。
- 主要死因別死亡のSMRをみると、男女ともに全国より高い死因は、心疾患のうち急性心筋梗塞、腎不全、肺炎、大動脈瘤及び解離、脳血管疾患、慢性閉塞性肺疾患、不慮の事故となっている。
- 標準化受療比（入院）をみると、全国より総じて高い状態であるが、特に高い傷病は、「高血圧性疾患」「耳及び乳様突起の疾患」「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」等である。
- 標準化受療比（外来）でみると、全国より高い傷病は「虚血性心疾患」、「妊娠分娩及び産じょく」等である。
- メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合を男女別にみると、男性は女性に比べて高く、男女ともに全国を上回っている。
- 高血圧症や糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合は、男女ともに、全国より高くなっている。

用語等の解説（第3節地域診断）

$$(1) \text{ 出生率, 死亡率} = \frac{\text{件数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

$$(2) \text{ 合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別の女子人口}} \right\} \text{の15歳から49歳までの合計}$$

$$(3) \text{ 年齢調整死亡率} = \frac{\left\{ \text{観察集団の年齢階級別死亡率} \times \text{年齢階級別基準人口} \right\} \text{の各年齢階級の合計}}{\text{基準人口の総和 (モデル人口)}} \times 1,000$$

(又は100,000)

$$(4) \text{ SMR (標準化死亡比)} = \frac{\text{観察集団の死亡数}}{\left\{ \text{基準集団の年齢階級別死亡率} \times \text{観察集団の年齢階級別人口} \right\} \text{の各年齢階級の合計}} \times 100$$

年齢構成の差異を基準死亡率で調整した値(期待死亡数)に対する現実死亡数の比

$$(5) \text{ 受療率} = \frac{\text{調査日(3日間のうち医療施設ごとに指定した1日間)に受療した推計患者数}}{\text{人口}} \times 100,000$$

- (6) **健康寿命** = 心身ともに自立した活動的な状態で生存できる期間
 現在, 国の研究班が行った健康寿命の算出には3種類の指標が用いられている
 ① 「日常生活に制限のない期間の平均」(国民生活基礎調査のデータを活用)
 ② 「自分が健康であると自覚している期間の平均」(国民生活基礎調査データを活用)
 ③ 「日常生活動作が自立している期間の平均」(介護保険の要介護度のデータを活用)

<全国と比較した数値の算出方法(①にて算出)>

国民生活基礎調査と生命表を基礎情報として算出。**健康の判断基準は「国民生活基礎調査」を活用**し, 同調査の質問中「あなたは現在, 健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか」に対する「ない」の回答を日常生活に制限なしと定め, 性別・年齢階級別の割合を算出した。

<圏域毎に比較した数値の算出方法(③にて算出)>

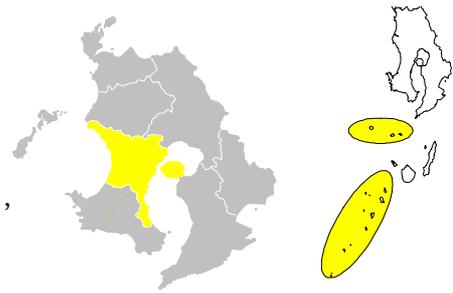
令和元年度の要介護2から要介護5までの要介護認定者数, 年齢階級別人口(令和元年「鹿児島県人口移動調査」(推計人口))及び年齢階級別死亡数(令和元年の死亡数)を基礎情報として算出。**健康の判断基準は「要介護認定者数」を活用**し, 算出法は, 厚生労働科学研究健康寿命のページ「健康寿命の算定プログラム2010~2019」を活用した。

9 圏域ごとの現状分析

鹿児島保健医療圏の地域診断

基本指標

- 人口：668,916人 ○面積：1,045.4km²
- 出生数：5,281人 ○死亡数：7,241人
- 構成市町村：鹿児島市，日置市，いちき串木野市，三島村，十島村



(注)県全体を基準として、左方向が県平均より「低い」、右方向が県平均より「高い」ことを表しており、幅が大きいほど県平均との差が大きい。

県全体の値との比較

		指標値	県全体	←低い		高い→
上位指標	健康寿命 (男)	79.6	79.2			
	(女)	78.7	84.0			
	65歳未満死亡割合 (男)	13.0	11.9			
	(女)	6.2	5.1			
	QOL (男)	36.1	35.9			
	(女)	36.2	35.8			
基本指標	出生率	8.3	7.5			
	死亡率	11.3	13.9			
	合計特殊出生率 (H28～R2)	1.59	1.69			
	高齢化率	29.5	32.8			
	高齢単身世帯割合	13.3	16.4			
	高齢夫婦世帯割合	13.0	14.9			
	アウトカム指標 (SMR標準化死亡比)	全死因 (男)	92.0	105.0		
(女)		94.6	103.8			
悪性新生物 (男)		90.7	98.0			
(女)		94.9	94.9			
心疾患 (男)		84.6	100.1			
(女)		94.2	105.8			
急性心筋梗塞 (男)		113.3	132.9			
(女)		128.7	148.2			
脳血管疾患 (男)		98.2	114.1			
(女)		100.2	116.0			
糖尿病 (男)		118.3	112.7			
(女)		101.2	105.1			
肺炎 (男)		102.1	120.4			
(女)		127.7	130.5			
肝疾患 (男)		80.5	104.0			
(女)		89.1	98.3			
腎不全 (男)		104.7	118.0			
(女)		122.3	133.0			
不慮の事故 (男)		94.2	123.7			
(女)		87.0	104.7			
自殺 (男)	91.0	116.4				
(女)	70.5	84.5				
1人当たり老人医療費	1,188.0	1,118.2				
1人当たり国保医療費	469.4	458.4				
ニーズ・デマンド指標	入院計 (男)	104.5	100.0			
	(女)	95.9	100.0			
	悪性新生物 (男)	93.3	100.0			
	(女)	99.6	100.0			
	心疾患 (男)	99.7	100.0			
	(女)	79.8	100.0			
	脳血管疾患 (男)	117.2	100.0			
	(女)	102.7	100.0			
	精神疾患 (男)	102.0	100.0			
	(女)	87.6	100.0			
	糖尿病 (男)	107.0	100.0			
	(女)	93.9	100.0			
	腎疾患 (男)	132.4	100.0			
	(女)	96.4	100.0			
	外来計 (男)	103.1	100.0			
	(女)	101.2	100.0			
	悪性新生物 (男)	109.0	100.0			
	(女)	107.4	100.0			
	心疾患 (男)	111.6	100.0			
	(女)	107.0	100.0			
脳血管疾患 (男)	111.2	100.0				
(女)	107.9	100.0				
精神疾患 (男)	104.1	100.0				
(女)	99.1	100.0				
糖尿病 (男)	102.0	100.0				
(女)	93.2	100.0				
腎疾患 (男)	115.4	100.0				
(女)	98.5	100.0				

県全体の値との比較

		※人口10万対	指標値	県全体	←低い		高い→		
県民意識・行動	県民意識・行動	健康診断受診率	64.5	67.6					
		医療機関受診を勧められたが行かなかった	5.7	6.8					
		保健指導を受けて実行	21.8	22.7					
		かかりつけ医を決めている	62.1	65.5					
		かかりつけ歯科医を決めている	60.8	61.7					
		かかりつけ薬局を決めている	38.4	42.8					
		不自由を感じる診療科目がない	43.4	33.7					
		定期的に通院する医療機関あり	52.2	54.3					
		自宅で最期を迎えたい	38.6	42.2					
	QOL	健康状態	38.3	37.0					
		睡眠	48.8	48.2					
		日常生活動作	48.0	46.0					
		仕事能力	45.8	44.9					
		自己評価	43.0	41.7					
		人間関係	52.5	51.2					
		友人との交流	57.7	57.2					
		金銭関係	42.3	41.0					
		医療・福祉サービスの利用しやすさ	31.7	30.3					
交通アクセス	43.4	33.2							
サプライ指標（県医療施設機能等調査）	施設設備	ICU	14.7	7.0					
		HCU	6.3	3.6					
		緩和ケア専用病床数	15.7	11.4					
		人工腎臓（透析）装置	4.9	5.5					
		患者搬送車	7.9	8.9					
		自家発電装置	18.7	19.5					
		リハビリ	20	19					
		脳血管リハⅠ	3.4	3.7					
	検診・手術の実施状況	運動器リハⅠ	10.3	8.8					
		肺がん検診	8.8	11.2					
		胃がん検診	15.3	17.1					
		大腸がん検診	11.6	12.9					
		呼吸器がん手術	1.2	1.0					
		上部がん手術（食道・胃）	3.7	3.4					
		下部がん手術（大腸・直腸）	3.5	3.5					
		乳がん手術	2.9	2.3					
		子宮がん手術	1.3	0.7					
		胸腔鏡下手術	1.5	1.3					
	その他	内視鏡下手術	7.7	7.5					
		t-P A（血栓溶解療法）	2.1	2.2					
		PTCA（経皮経管的冠動脈形成術）	1.3	1.3					
		認知症（BPSDを含む）	23.1	24.6					
		PTSD（心的外傷後ストレス障害）	6.6	5.5					
		精神科急患の身体合併症患者発生時連携医療施設	5.7	6.5					
		糖尿病教育入院	9.0	8.9					
		禁煙外来	11.2	10.4					
		在宅医療・訪問看護	24.4	28.6					
		在宅看取り	9.1	12.6					
		地域連携診療計画管理の届出	4.3	3.9					
		退院時カンファレンス	18.0	18.3					
		施設	病院数（医療施設調査）	15.5	15.0				
			有床診療所数（ " ）	18.2	19.2				
無床診療所数（ " ）	73.1		66.6						
歯科診療所（ " ）	61.1		50.0						
病床数（ " ）	2,356.0		2,365.2						
医療従事者	医師数（衛生統計年報）	408.0	281.6						
	歯科医師数（ " ）	116.4	82.0						
	薬剤師数（ " ）	255.4	197.1						
	保健師数（看護関係者の現状）	54.3	58.3						
	助産師数（ " ）	56.8	38.8						
	看護師数（ " ）	1,660.4	1,394.3						
	准看護師数（ " ）	434.4	550.2						

- 健康寿命は女性が低い
- 全体にSMRは低く、男性の標準化受診比は高い。
- 医療施設数や医療従事者数は多い。

南薩保健医療圏の地域診断

基本指標

- 人口：125,011人 ○面積：865.1km²
- 出生数：685人 ○死亡数：2,200人
- 構成市町村：枕崎市，指宿市，南さつま市，南九州市

(注)県全体を基準として、左方向が県平均より「低い」、
右方向が県平均より「高い」ことを表しており、幅が
大きいほど県平均との差が大きい。



県全体の値との比較

		指標値	県全体	←低い	高い→
上位指標	健康寿命(男)	78.0	79.2		
	(女)	83.2	84.0		
	65歳未満死亡割合(男)	10.3	11.9		
	(女)	4.4	5.1		
	QOL(男)	36.4	35.9		
基本指標	(女)	36.6	35.8		
	出生率	5.5	7.5		
	死亡率	17.8	13.9		
	合計特殊出生率(H28~R2)	1.62	1.69		
	高齢化率	40.1	32.8		
	高齢単身世帯割合	21.1	16.4		
	高齢夫婦世帯割合	19.2	14.9		
アウトカム指標 (SMR(標準化死亡比))	全死因(男)	113.4	105.0		
	(女)	109.6	103.8		
	悪性新生物(男)	106.2	98.0		
	(女)	93.9	94.9		
	心疾患(男)	107.4	100.1		
	(女)	111.9	105.8		
	急性心筋梗塞(男)	144.5	132.9		
	(女)	159.0	148.2		
	脳血管疾患(男)	139.0	114.1		
	(女)	148.5	116.0		
	糖尿病(男)	112.4	112.7		
	(女)	99.5	105.1		
	肺炎(男)	133.7	120.4		
	(女)	141.2	130.5		
	肝疾患(男)	102.8	104.0		
	(女)	91.0	98.3		
	腎不全(男)	115.4	118.0		
	(女)	119.0	133.0		
	不慮の事故(男)	157.2	123.7		
	(女)	122.4	104.7		
自殺(男)	120.9	116.4			
(女)	114.6	84.5			
1人当たり老人医療費	1,198.3	1,118.2			
1人当たり国保医療費	491.0	458.4			
ニーズ・デマンド指標 (標準化受診比)	入院計(男)	108.5	100.0		
	(女)	129.6	100.0		
	悪性新生物(男)	110.9	100.0		
	(女)	100.2	100.0		
	心疾患(男)	60.2	100.0		
	(女)	95.1	100.0		
	脳血管疾患(男)	105.1	100.0		
	(女)	108.2	100.0		
	精神疾患(男)	132.1	100.0		
	(女)	154.5	100.0		
	糖尿病(男)	119.4	100.0		
	(女)	135.1	100.0		
	腎疾患(男)	88.7	100.0		
	(女)	135.5	100.0		
	外来計(男)	108.6	100.0		
	(女)	108.7	100.0		
	悪性新生物(男)	114.6	100.0		
	(女)	106.6	100.0		
	心疾患(男)	83.1	100.0		
	(女)	77.5	100.0		
脳血管疾患(男)	153.6	100.0			
(女)	160.3	100.0			
精神疾患(男)	105.9	100.0			
(女)	109.2	100.0			
糖尿病(男)	105.6	100.0			
(女)	110.5	100.0			
腎疾患(男)	85.6	100.0			
(女)	109.1	100.0			

県全体の値との比較

		※人口10万対	指標値	県全体	←低い		高い→
県民意識・行動	健康診断受診率		69.5	67.6			
	医療機関受診を勧められたが行かなかった		4.8	6.8			
	保健指導を受けて実行		22.3	22.7			
	かかりつけ医を決めている		76.2	65.5			
	かかりつけ歯科医を決めている		64.4	61.7			
	かかりつけ薬局を決めている		51.9	42.8			
	不自由を感じる診療科目がない		32.2	33.7			
	定期的に通院する医療機関あり		66.5	54.3			
	自宅で最期を迎えたい		41.4	42.2			
	健康状態		37.2	37.0			
	睡眠		50.2	48.2			
	日常生活動作		49.8	46.0			
	仕事能力		49.8	44.9			
	自己評価		41.8	41.7			
	人間関係		57.3	51.2			
友人との交流		58.6	57.2				
金銭関係		42.3	41.0				
医療・福祉サービスの利用しやすさ		38.1	30.3				
交通アクセス		31.0	33.2				
施設設備	ICU		0.0	7.0			
	HCU		2.9	3.6			
	緩和ケア専用病床数		8.1	11.4			
	人工腎臓(透析)装置		8.1	5.5			
	患者搬送車		14.0	8.9			
	自家発電装置		31.0	19.5			
	リハビリ		24	19			
	脳血管リハI		5.9	3.7			
	運動器リハI		11.1	8.8			
	肺がん検診		12.5	11.2			
	胃がん検診		20.6	17.1			
	大腸がん検診		17.0	12.9			
	呼吸器がん手術		1.5	1.0			
	上部がん手術(食道・胃)		5.2	3.4			
	下部がん手術(大腸・直腸)		5.2	3.5			
乳がん手術		2.9	2.3				
子宮がん手術		1.5	0.7				
胸腔鏡下手術		1.5	1.3				
内視鏡下手術		13.3	7.5				
t-P A(血栓溶解療法)		2.2	2.2				
PTCA(経皮経管的冠動脈形成術)		1.5	1.3				
その他	認知症(BPSDを含む)		35.4	24.6			
	PTSD(心的外傷後ストレス障害)		6.6	5.5			
	精神科急患の身体合併症患者発生時連携医療施設		11.8	6.5			
	糖尿病教育入院		13.3	8.9			
	禁煙外来		12.5	10.4			
	在宅医療・訪問看護		39.8	28.6			
	在宅看取り		11.1	12.6			
	地域連携診療計画管理の届出		2.9	3.9			
	退院時カンファレンス		29.5	18.3			
	施設	病院数(医療施設調査)		24.4	15.0		
有床診療所数(")			23.6	19.2			
無床診療所数(")			66.2	66.6			
歯科診療所(")			48.1	50.0			
病床数(")			3,246.5	2,365.2			
医療従事者	医師数(衛生統計年報)		223.8	281.6			
	歯科医師数(")		62.0	82.0			
	薬剤師数(")		168.1	197.1			
	保健師数(看護関係者の現状)		60.4	58.3			
	助産師数(")		25.6	38.8			
	看護師数(")		1,352.2	1,394.3			
	准看護師数(")		943.3	550.2			

- 健康寿命は男女とも低い。
- 出生率は低く、高齢化率が高い。
- SMRは男女とも、脳血管疾患、不慮の事故が高い。標準化受診比は、男女とも入院は精神疾患、外来は脳血管疾患が高い。
- 病院数と病床数は多いが、医療従事者数は少ない。

川薩保健医療圏の地域診断

基本指標

- 人口：112,646人 ○面積：986.8km²
- 出生数：803人 ○死亡数：1,680人
- 構成市町村：薩摩川内市，さつま町



(注)県全体を基準として、左方向が県平均より「低い」、右方向が県平均より「高い」ことを表しており、幅が大きいほど県平均との差が大きい。

県全体の値との比較

		指標値	県全体	←低い		高い→	
上位指標	健康寿命(男)	81.0	79.2				
	(女)	85.4	84.0				
	65歳未満死亡割合(男)	8.7	11.9				
	(女)	4.3	5.1				
	QOL(男)	33.9	35.9				
基本指標	(女)	36.0	35.8				
	出生率	7.2	7.5				
	死亡率	15.1	13.9				
	合計特殊出生率(H28~R2)	1.81	1.69				
	高齢化率	34.1	32.8				
	高齢単身世帯割合	17.8	16.4				
	高齢夫婦世帯割合	15.6	14.9				
アウトカム指標	S M R (標準化死亡比)	全死因(男)	112.0	105.0			
		(女)	103.2	103.8			
		悪性新生物(男)	102.5	98.0			
		(女)	94.2	94.9			
		心疾患(男)	125.8	100.1			
		(女)	113.0	105.8			
		急性心筋梗塞(男)	173.5	132.9			
		(女)	157.1	148.2			
		脳血管疾患(男)	126.2	114.1			
		(女)	121.5	116.0			
		糖尿病(男)	112.5	112.7			
		(女)	113.8	105.1			
		肺炎(男)	142.2	120.4			
		(女)	134.3	130.5			
		肝疾患(男)	100.2	104.0			
		(女)	66.8	98.3			
		腎不全(男)	120.6	118.0			
		(女)	140.7	133.0			
		不慮の事故(男)	119.3	123.7			
		(女)	111.4	104.7			
自殺(男)	106.6	116.4					
(女)	106.4	84.5					
1人当たり老人医療費	1,100.8	1,118.2					
1人当たり国保医療費	496.8	458.4					
ニーズ・デマンド指標	標準化受診比	入院計(男)	97.8	100.0			
		(女)	98.8	100.0			
		悪性新生物(男)	121.3	100.0			
		(女)	115.7	100.0			
		心疾患(男)	75.2	100.0			
		(女)	48.3	100.0			
		脳血管疾患(男)	90.6	100.0			
		(女)	82.0	100.0			
		精神疾患(男)	96.5	100.0			
		(女)	110.9	100.0			
		糖尿病(男)	124.9	100.0			
		(女)	152.7	100.0			
		腎疾患(男)	98.1	100.0			
		(女)	35.0	100.0			
		外来計(男)	107.9	100.0			
		(女)	106.3	100.0			
		悪性新生物(男)	100.5	100.0			
		(女)	98.2	100.0			
		心疾患(男)	96.4	100.0			
		(女)	77.3	100.0			
		脳血管疾患(男)	97.6	100.0			
		(女)	85.5	100.0			
		精神疾患(男)	115.6	100.0			
(女)	112.1	100.0					
糖尿病(男)	102.7	100.0					
(女)	102.6	100.0					
腎疾患(男)	112.5	100.0					
(女)	94.1	100.0					

県全体の値との比較

		※人口10万対	指標値	県全体	←低い		高い→	
県民意識・行動	県民意識・行動	健康診断受診率	78.6	67.6				
		医療機関受診を勧められたが行かなかった	9.9	6.8				
		保健指導を受けて実行	25.2	22.7				
		かかりつけ医を決めている	63.0	65.5				
		かかりつけ歯科医を決めている	60.4	61.7				
		かかりつけ薬局を決めている	38.0	42.8				
		不自由を感じる診療科目がない	30.7	33.7				
		定期的に通院する医療機関あり	49.0	54.3				
		自宅で最期を迎えたい	43.8	42.2				
	満足度	健康状態	38.5	37.0				
		睡眠	46.4	48.2				
		日常生活動作	40.6	46.0				
		仕事能力	40.6	44.9				
		自己評価	35.9	41.7				
		人間関係	44.3	51.2				
		友人との交流	53.6	57.2				
		金銭関係	38.0	41.0				
		医療・福祉サービスの利用しやすさ	28.1	30.3				
交通アクセス	26.6	33.2						
サブライ指標（県医療施設機能等調査）	施設設備	ICU	0.0	7.0				
		HCU	0.0	3.6				
		緩和ケア専用病床数	0.0	11.4				
		人工腎臓（透析）装置	5.9	5.5				
		患者搬送車	17.7	8.9				
		自家発電装置	17.7	19.5				
		リハビリ	23	19				
		脳血管リハⅠ	2.5	3.7				
	検診・手術の実施状況	運動器リハⅠ	9.3	8.8				
		肺がん検診	19.4	11.2				
		胃がん検診	23.6	17.1				
		大腸がん検診	15.2	12.9				
		呼吸器がん手術	0.0	1.0				
		上部がん手術（食道・胃）	5.1	3.4				
		下部がん手術（大腸・直腸）	5.1	3.5				
		乳がん手術	1.7	2.3				
		子宮がん手術	0.0	0.7				
		胸腔鏡下手術	1.7	1.3				
	その他	内視鏡下手術	6.8	7.5				
		t-P A（血栓溶解療法）	2.5	2.2				
		PTCA（経皮経管的冠動脈形成術）	0.0	1.3				
		認知症（BPSDを含む）	35.5	24.6				
		PTSD（心的外傷後ストレス障害）	5.1	5.5				
		精神科急患の身体合併症患者発生時連携医療施設	7.6	6.5				
施設	糖尿病教育入院	10.1	8.9					
	禁煙外来	7.6	10.4					
	在宅医療・訪問看護	43.9	28.6					
	在宅看取り	21.1	12.6					
	地域連携診療計画管理の届出	9.3	3.9					
	退院時カンファレンス	19.4	18.3					
医療従事者	病院数（医療施設調査）	13.2	15.0					
	有床診療所数（ " ）	22.9	19.2					
	無床診療所数（ " ）	81.8	66.6					
	歯科診療所（ " ）	40.5	50.0					
	病床数（ " ）	2,019.8	2,365.2					
	医師数（衛生統計年報）	227.0	281.6					
医療従事者	歯科医師数（ " ）	67.0	82.0					
	薬剤師数（ " ）	173.1	197.1					
	保健師数（看護関係者の現状）	64.4	58.3					
	助産師数（ " ）	24.8	38.8					
	看護師数（ " ）	1,154.5	1,394.3					
	准看護師数（ " ）	627.9	550.2					

- 健康寿命は男女とも高い。
- SMRは男性の急性心筋梗塞が高く、標準化受診比は、入院は男女とも悪性新生物が高く、女性の腎疾患が低い。

出水保健医療圏の地域診断

基本指標

- 人口：80,969人 ○面積：580.5km²
- 出生数：536人 ○死亡数：1,229人
- 構成市町村：阿久根市，出水市，長島町



(注)県全体を基準として、左方向が県平均より「低い」、
右方向が県平均より「高い」ことを表しており、幅が
大きいほど県平均との差が大きい。

県全体の値との比較

		指標値	県全体	←低い		高い→		
上位指標	健康寿命(男)	79.0	79.2					
	(女)	83.9	84.0					
	65歳未満死亡割合(男)	10.5	11.9					
	(女)	5.3	5.1					
基本指標	QOL(男)	36.3	35.9					
	(女)	34.9	35.8					
	出生率	6.7	7.5					
	死亡率	15.4	13.9					
	合計特殊出生率(H28~R2)	1.85	1.69					
	高齢化率	36.1	32.8					
	高齢単身世帯割合	18.5	16.4					
	高齢夫婦世帯割合	17.2	14.9					
	アウトカム指標	SMR(標準化死亡比)						
		全死因(男)	109.6	105.0				
(女)		110.1	103.8					
悪性新生物(男)		100.0	98.0					
(女)		94.5	94.9					
心疾患(男)		101.3	100.1					
(女)		90.3	105.8					
急性心筋梗塞(男)		145.8	132.9					
(女)		118.8	148.2					
脳血管疾患(男)		101.1	114.1					
(女)		89.9	116.0					
糖尿病(男)		62.4	112.7					
(女)		85.8	105.1					
肺炎(男)		133.8	120.4					
(女)		139.6	130.5					
肝疾患(男)		146.9	104.0					
(女)		104.7	98.3					
腎不全(男)		126.5	118.0					
(女)		158.0	133.0					
不慮の事故(男)		132.8	123.7					
(女)	129.3	104.7						
自殺(男)	113.9	116.4						
(女)	93.1	84.5						
1人当たり老人医療費	1,048.5	1,118.2						
1人当たり国保医療費	493.6	458.4						
ニーズ・デマンド指標	標準化受診比							
	入院計(男)	99.0	100.0					
	(女)	95.6	100.0					
	悪性新生物(男)	89.8	100.0					
	(女)	99.6	100.0					
	心疾患(男)	73.4	100.0					
	(女)	73.7	100.0					
	脳血管疾患(男)	99.8	100.0					
	(女)	114.0	100.0					
	精神疾患(男)	104.8	100.0					
	(女)	107.2	100.0					
	糖尿病(男)	85.2	100.0					
	(女)	49.6	100.0					
	腎疾患(男)	64.8	100.0					
	(女)	99.6	100.0					
	外来計(男)	117.0	100.0					
	(女)	114.0	100.0					
	悪性新生物(男)	118.5	100.0					
	(女)	92.6	100.0					
	心疾患(男)	126.5	100.0					
(女)	140.3	100.0						
脳血管疾患(男)	70.0	100.0						
(女)	109.6	100.0						
精神疾患(男)	95.3	100.0						
(女)	102.8	100.0						
糖尿病(男)	116.1	100.0						
(女)	122.2	100.0						
腎疾患(男)	89.5	100.0						
(女)	88.0	100.0						

県全体の値との比較

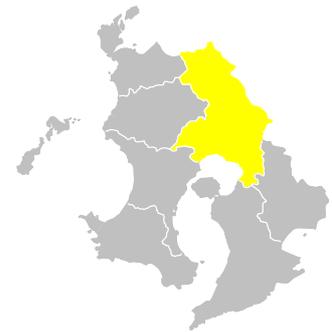
		※人口10万対	指標値	県全体	←低い		高い→
県民意識・行動	県民意識・行動	健康診断受診率	59.9	67.6			
		医療機関受診を勧められたが行かなかった	10.0	6.8			
		保健指導を受けて実行	16.0	22.7			
		かかりつけ医を決めている	70.1	65.5			
		かかりつけ歯科医を決めている	60.5	61.7			
		かかりつけ薬局を決めている	49.1	42.8			
		不自由を感じる診療科目がない	24.6	33.7			
		定期的に通院する医療機関あり	56.9	54.3			
	満足度	自宅で最期を迎えたい	48.5	42.2			
		健康状態	35.3	37.0			
		睡眠	46.1	48.2			
		日常生活動作	44.9	46.0			
		仕事能力	44.3	44.9			
		自己評価	42.5	41.7			
サブライ指標(県医療施設機能等調査)	施設設備	人間関係	49.1	51.2			
		友人との交流	57.5	57.2			
		金銭関係	40.7	41.0			
		医療・福祉サービスの利用しやすさ	28.1	30.3			
		交通アクセス	25.7	33.2			
		ICU	0.0	7.0			
		HCU	7.0	3.6			
		緩和ケア専用病床数	11.7	11.4			
	検診・手術の実施状況	人工腎臓(透析)装置	4.7	5.5			
		患者搬送車	4.7	8.9			
		自家発電装置	11.7	19.5			
		リハビリ	6	19			
		脳血管リハI	4.7	3.7			
		運動器リハI	5.9	8.8			
肺がん検診		9.4	11.2				
胃がん検診		15.2	17.1				
大腸がん検診		12.9	12.9				
呼吸器がん手術		2.3	1.0				
その他	上部がん手術(食道・胃)	2.3	3.4				
	下部がん手術(大腸・直腸)	3.5	3.5				
	乳がん手術	2.3	2.3				
	子宮がん手術	0.0	0.7				
	胸腔鏡下手術	2.3	1.3				
	内視鏡下手術	4.7	7.5				
	t-P A(血栓溶解療法)	2.3	2.2				
	PTCA(経皮経管的冠動脈形成術)	2.3	1.3				
	認知症(BPSDを含む)	19.9	24.6				
	PTSD(心的外傷後ストレス障害)	5.9	5.5				
施設	精神科急患の身体合併症患者発生時連携医療施設	5.9	6.5				
	糖尿病教育入院	5.9	8.9				
	禁煙外来	9.4	10.4				
	在宅医療・訪問看護	23.4	28.6				
	在宅看取り	11.7	12.6				
	地域連携診療計画管理の届出	5.9	3.9				
	退院時カンファレンス	11.7	18.3				
	病院数(医療施設調査)	9.8	15.0				
	有床診療所数(")	19.6	19.2				
	無床診療所数(")	61.3	66.6				
	歯科診療所(")	39.2	50.0				
	病床数(")	2,055.2	2,365.2				
	医療従事者	医師数(衛生統計年報)	173.6	281.6			
		歯科医師数(")	54.6	82.0			
薬剤師数(")		151.8	197.1				
保健師数(看護関係者の現状)		59.5	58.3				
助産師数(")		21.9	38.8				
看護師数(")		1,130.5	1,394.3				
准看護師数(")		588.9	550.2				

- 高齢化率が高い。
- SMRは女性の不慮の事故が高い。標準化受診比は、男女ともに外来で心疾患，糖尿病が高い。
- 医療施設数や医療従事者数が少ない。

始良・伊佐保健医療圏の地域診断

基本指標

- 人口：233,055人 ○面積：1,371.3km²
- 出生数：1,773人 ○死亡数：3,120人
- 構成市町村：霧島市，伊佐市，始良市，湧水町



(注)県全体を基準として、左方向が県平均より「低い」、
右方向が県平均より「高い」ことを表しており、幅が
大きいほど県平均との差が大きい。

県全体の値との比較

		指標値	県全体	←低い	高い→
上位指標	健康寿命(男)	79.9	79.2		
	(女)	84.8	84.0		
	65歳未満死亡割合(男)	11.3	11.9		
	(女)	4.8	5.1		
	QOL(男)	36.5	35.9		
	(女)	35.7	35.8		
基本指標	出生率	7.7	7.5		
	死亡率	13.6	13.9		
	合計特殊出生率(H28~R2)	1.71	1.69		
	高齢化率	31.3	32.8		
	高齢単身世帯割合	16.0	16.4		
	高齢夫婦世帯割合	15.4	14.9		
アウトカム指標 (SMR標準化死亡比)	全死因(男)	106.0	105.0		
	(女)	104.6	103.8		
	悪性新生物(男)	96.1	98.0		
	(女)	96.3	94.9		
	心疾患(男)	103.8	100.1		
	(女)	109.9	105.8		
	急性心筋梗塞(男)	142.0	132.9		
	(女)	159.2	148.2		
	脳血管疾患(男)	115.3	114.1		
	(女)	123.3	116.0		
	糖尿病(男)	113.3	112.7		
	(女)	96.7	105.1		
	肺炎(男)	147.0	120.4		
	(女)	164.5	130.5		
	肝疾患(男)	84.5	104.0		
	(女)	92.6	98.3		
	腎不全(男)	127.8	118.0		
	(女)	137.8	133.0		
	不慮の事故(男)	124.1	123.7		
	(女)	106.9	104.7		
自殺(男)	110.6	116.4			
(女)	77.0	84.5			
	1人当たり老人医療費	1,161.1	1,118.2		
	1人当たり国保医療費	480.6	458.4		
ニーズ・デマンド指標 (標準化受診比)	入院計(男)	97.9	100.0		
	(女)	98.0	100.0		
	悪性新生物(男)	94.0	100.0		
	(女)	92.0	100.0		
	心疾患(男)	80.5	100.0		
	(女)	41.3	100.0		
	脳血管疾患(男)	100.8	100.0		
	(女)	119.5	100.0		
	精神疾患(男)	95.3	100.0		
	(女)	101.7	100.0		
	糖尿病(男)	91.4	100.0		
	(女)	59.8	100.0		
	腎疾患(男)	114.5	100.0		
	(女)	131.2	100.0		
	外来計(男)	102.4	100.0		
	(女)	102.2	100.0		
	悪性新生物(男)	91.4	100.0		
	(女)	106.2	100.0		
	心疾患(男)	89.2	100.0		
	(女)	85.5	100.0		
脳血管疾患(男)	108.1	100.0			
(女)	122.1	100.0			
精神疾患(男)	107.0	100.0			
(女)	104.0	100.0			
糖尿病(男)	107.0	100.0			
(女)	104.4	100.0			
腎疾患(男)	113.9	100.0			
(女)	114.8	100.0			

県全体の値との比較

		※人口10万対	指標値	県全体	←低い		高い→	
県民意識・行動	県民意識・行動	健康診断受診率	74.4	67.6				
		医療機関受診を勧められたが行かなかった	5.3	6.8				
		保健指導を受けて実行	22.1	22.7				
		かかりつけ医を決めている	69.8	65.5				
		かかりつけ歯科医を決めている	66.2	61.7				
		かかりつけ薬局を決めている	45.7	42.8				
		不自由を感じる診療科目がない	34.8	33.7				
		定期的に通院する医療機関あり	56.4	54.3				
	満足度	自宅で最期を迎えたい	45.7	42.2				
		健康状態	38.4	37.0				
		睡眠	45.4	48.2				
		日常生活動作	46.0	46.0				
		仕事能力	45.7	44.9				
		自己評価	45.7	41.7				
サブライ指標（県医療施設機能等調査）	施設設備	人間関係	53.0	51.2				
		友人との交流	60.4	57.2				
		金銭関係	42.7	41.0				
		医療・福祉サービスの利用しやすさ	29.3	30.3				
		交通アクセス	29.3	33.2				
		ICU	1.3	7.0				
		HCU	0.0	3.6				
		緩和ケア専用病床数	25.2	11.4				
	検診・手術の実施状況	人工腎臓（透析）装置	5.5	5.5				
		患者搬送車	8.8	8.9				
		自家発電装置	18.5	19.5				
		リハビリ	22	19				
		脳血管リハⅠ	5.5	3.7				
		運動器リハⅠ	10.1	8.8				
肺がん検診		10.9	11.2					
胃がん検診		18.5	17.1					
大腸がん検診		12.2	12.9					
呼吸器がん手術		0.4	1.0					
その他	上部がん手術（食道・胃）	2.1	3.4					
	下部がん手術（大腸・直腸）	2.9	3.5					
	乳がん手術	0.4	2.3					
	子宮がん手術	0.0	0.7					
	胸腔鏡下手術	0.4	1.3					
	内視鏡下手術	6.7	7.5					
	t-P A（血栓溶解療法）	2.5	2.2					
	PTCA（経皮経管的冠動脈形成術）	0.8	1.3					
	認知症（BPSDを含む）	23.5	24.6					
	PTSD（心的外傷後ストレス障害）	3.4	5.5					
施設	精神科急患の身体合併症患者発生時連携医療施設	5.9	6.5					
	糖尿病教育入院	8.8	8.9					
	禁煙外来	10.9	10.4					
	在宅医療・訪問看護	34.8	28.6					
	在宅看取り	18.1	12.6					
	地域連携診療計画管理の届出	1.7	3.9					
	退院時カンファレンス	20.2	18.3					
	病院数（医療施設調査）	14.5	15.0					
	有床診療所数（ " ）	21.3	19.2					
	無床診療所数（ " ）	59.6	66.6					
医療従事者	歯科診療所（ " ）	44.7	50.0					
	病床数（ " ）	2,507.4	2,365.2					
	医師数（衛生統計年報）	191.9	281.6					
	歯科医師数（ " ）	60.1	82.0					
	薬剤師数（ " ）	164.8	197.1					
	保健師数（看護関係者の現状）	47.9	58.3					
	助産師数（ " ）	27.1	38.8					
看護師数（ " ）	1,336.6	1,394.3						
准看護師数（ " ）	562.0	550.2						

- 健康寿命は男女とも高い。
- SMRは全体的に県平均並であるが、肺炎が男女ともに高い。標準化受診比は入院・外来ともに男女の腎不全が多い。
- 医療従事者数が少ない。

曾於保健医療圏の地域診断

基本指標

- 人口：75,024人 ○面積：781.1km²
- 出生数：418人 ○死亡数：1,346人
- 構成市町村：曾於市，志布志市，大崎町



(注)県全体を基準として、左方向が県平均より「低い」、
右方向が県平均より「高い」ことを表しており、幅が
大きいほど県平均との差が大きい。

県全体の値との比較

		指標値	県全体	←低い		高い→	
上位指標	健康寿命(男)	78.7	79.2				
	(女)	82.7	84.0				
	65歳未満死亡割合(男)	10.5	11.9				
	(女)	3.8	5.1				
	QOL(男)	36.0	35.9				
	(女)	35.6	35.8				
基本指標	出生率	5.7	7.5				
	死亡率	18.2	13.9				
	合計特殊出生率(H28~R2)	1.75	1.69				
	高齢化率	39.0	32.8				
	高齢単身世帯割合	21.4	16.4				
	高齢夫婦世帯割合	19.0	14.9				
アウトカム指標 (SMR標準化死亡比)	全死因(男)	119.7	105.0				
	(女)	117.5	103.8				
	悪性新生物(男)	105.3	98.0				
	(女)	95.7	94.9				
	心疾患(男)	126.6	100.1				
	(女)	145.9	105.8				
	急性心筋梗塞(男)	141.6	132.9				
	(女)	190.6	148.2				
	脳血管疾患(男)	136.4	114.1				
	(女)	125.0	116.0				
	糖尿病(男)	110.2	112.7				
	(女)	106.2	105.1				
	肺炎(男)	165.8	120.4				
	(女)	165.2	130.5				
	肝疾患(男)	124.2	104.0				
	(女)	155.2	98.3				
	腎不全(男)	187.4	118.0				
	(女)	177.6	133.0				
	不慮の事故(男)	130.2	123.7				
	(女)	132.1	104.7				
自殺(男)	240.4	116.4					
(女)	162.0	84.5					
	1人当たり老人医療費	977.5	1,118.2				
	1人当たり国保医療費	444.6	458.4				
ニーズ・デマンド指標 (標準化受診比)	入院計(男)	91.2	100.0				
	(女)	96.6	100.0				
	悪性新生物(男)	102.1	100.0				
	(女)	93.5	100.0				
	心疾患(男)	181.3	100.0				
	(女)	163.2	100.0				
	脳血管疾患(男)	69.6	100.0				
	(女)	114.5	100.0				
	精神疾患(男)	80.6	100.0				
	(女)	91.7	100.0				
	糖尿病(男)	44.7	100.0				
	(女)	33.0	100.0				
	腎疾患(男)	118.1	100.0				
	(女)	91.2	100.0				
	外来計(男)	95.5	100.0				
	(女)	96.8	100.0				
	悪性新生物(男)	86.9	100.0				
	(女)	85.6	100.0				
	心疾患(男)	82.8	100.0				
	(女)	101.2	100.0				
脳血管疾患(男)	73.4	100.0					
(女)	75.5	100.0					
精神疾患(男)	89.6	100.0					
(女)	100.2	100.0					
糖尿病(男)	106.1	100.0					
(女)	118.9	100.0					
腎疾患(男)	112.3	100.0					
(女)	103.7	100.0					

県全体の値との比較

※人口10万対		指標値	県全体	←低い		高い→		
県民意識・行動	健康診断受診率	66.9	67.6					
	医療機関受診を勧められたが行かなかった	9.7	6.8					
	保健指導を受けて実行	23.3	22.7					
	かかりつけ医を決めている	68.8	65.5					
	かかりつけ歯科医を決めている	60.4	61.7					
	かかりつけ薬局を決めている	46.1	42.8					
	不自由を感じる診療科目がない	17.5	33.7					
	定期的に通院する医療機関あり	58.4	54.3					
	自宅で最期を迎えたい	37.0	42.2					
	満足度	健康状態	35.7	37.0				
		睡眠	51.3	48.2				
		日常生活動作	43.5	46.0				
		仕事能力	38.3	44.9				
		自己評価	41.6	41.7				
		人間関係	48.7	51.2				
友人との交流		55.2	57.2					
金銭関係		39.6	41.0					
医療・福祉サービスの利用しやすさ		26.6	30.3					
交通アクセス		20.1	33.2					
施設設備	ICU	0.0	7.0					
	HCU	0.0	3.6					
	緩和ケア専用病床数	0.0	11.4					
	人工腎臓(透析)装置	2.5	5.5					
	患者搬送車	7.4	8.9					
	自家発電装置	17.2	19.5					
	リハビリ	10	19					
	脳血管リハI	0.0	3.7					
	運動器リハI	4.9	8.8					
	検診・手術の実施状況	肺がん検診	7.4	11.2				
		胃がん検診	12.3	17.1				
		大腸がん検診	8.6	12.9				
		呼吸器がん手術	0.0	1.0				
		上部がん手術(食道・胃)	1.2	3.4				
		下部がん手術(大腸・直腸)	1.2	3.5				
乳がん手術		0.0	2.3					
子宮がん手術		0.0	0.7					
胸腔鏡下手術		0.0	1.3					
内視鏡下手術		2.5	7.5					
t-P A(血栓溶解療法)		1.2	2.2					
PTCA(経皮経管的冠動脈形成術)		0.0	1.3					
その他		認知症(BPSDを含む)	19.7	24.6				
		PTSD(心的外傷後ストレス障害)	4.9	5.5				
		精神科急患の身体合併症患者発生時連携医療施設	4.9	6.5				
	糖尿病教育入院	6.2	8.9					
	禁煙外来	4.9	10.4					
	在宅医療・訪問看護	14.8	28.6					
	在宅看取り	11.1	12.6					
	地域連携診療計画管理の届出	3.7	3.9					
退院時カンファレンス	9.8	18.3						
施設	病院数(医療施設調査)	11.9	15.0					
	有床診療所数(")	11.9	19.2					
	無床診療所数(")	56.7	66.6					
	歯科診療所(")	39.6	50.0					
	病床数(")	1,547.4	2,365.2					
医療従事者	医師数(衛生統計年報)	112.7	281.6					
	歯科医師数(")	50.5	82.0					
	薬剤師数(")	112.7	197.1					
	保健師数(看護関係者の現状)	59.6	58.3					
	助産師数(")	2.6	38.8					
	看護師数(")	804.5	1,394.3					
	准看護師数(")	513.0	550.2					

- 高齢化率が高く、出生率は低い。
- SMRは全体的に高く、標準化受診比は全体に低い。
- 医療施設数、医療従事者数が少ない。

肝属保健医療圏の地域診断

基本指標

- 人口：148,804人 ○面積：1,322.9km²
- 出生数：1,145人 ○死亡数：2,346人
- 構成市町村：鹿屋市，垂水市，東串良町，錦江町，南大隅町，肝付町



(注)県全体を基準として、左方向が県平均より「低い」、右方向が県平均より「高い」ことを表しており、幅が大きいほど県平均との差が大きい。

県全体の値との比較

		指標値	県全体	←低い		高い→		
上位指標	健康寿命(男)	79.0	79.2					
	(女)	83.6	84.0					
	65歳未満死亡割合(男)	10.0	11.9					
	(女)	5.4	5.1					
	QOL(男)	35.6	35.9					
	(女)	35.1	35.8					
基本指標	出生率	7.8	7.5					
	死亡率	16.0	13.9					
	合計特殊出生率(H28~R2)	1.89	1.69					
	高齢化率	34.3	32.8					
	高齢単身世帯割合	18.3	16.4					
	高齢夫婦世帯割合	16.1	14.9					
アウトカム指標	S M R (標準化死亡比)	全死因(男)	110.5	105.0				
		(女)	113.3	103.8				
		悪性新生物(男)	96.2	98.0				
		(女)	96.5	94.9				
		心疾患(男)	109.5	100.1				
		(女)	123.6	105.8				
		急性心筋梗塞(男)	134.2	132.9				
		(女)	167.0	148.2				
		脳血管疾患(男)	125.6	114.1				
		(女)	124.3	116.0				
		糖尿病(男)	132.8	112.7				
		(女)	135.6	105.1				
		肺炎(男)	97.5	120.4				
		(女)	92.3	130.5				
		肝疾患(男)	107.1	104.0				
		(女)	106.4	98.3				
		腎不全(男)	122.7	118.0				
		(女)	136.6	133.0				
		不慮の事故(男)	136.8	123.7				
		(女)	108.0	104.7				
自殺(男)	123.8	116.4						
(女)	91.1	84.5						
	1人当たり老人医療費	1,016.1	1,118.2					
	1人当たり国保医療費	423.4	458.4					
ニーズ・デマンド指標	標準化受診比	入院計(男)	95.0	100.0				
		(女)	98.7	100.0				
		悪性新生物(男)	104.6	100.0				
		(女)	105.0	100.0				
		心疾患(男)	154.8	100.0				
		(女)	240.8	100.0				
		脳血管疾患(男)	68.3	100.0				
		(女)	75.5	100.0				
		精神疾患(男)	105.7	100.0				
		(女)	106.7	100.0				
		糖尿病(男)	99.8	100.0				
		(女)	69.1	100.0				
		腎疾患(男)	61.7	100.0				
		(女)	90.0	100.0				
		外来計(男)	94.7	100.0				
		(女)	100.7	100.0				
		悪性新生物(男)	93.6	100.0				
		(女)	91.3	100.0				
		心疾患(男)	118.7	100.0				
		(女)	133.4	100.0				
脳血管疾患(男)	90.8	100.0						
(女)	97.7	100.0						
精神疾患(男)	92.3	100.0						
(女)	92.8	100.0						
糖尿病(男)	93.2	100.0						
(女)	106.0	100.0						
腎疾患(男)	61.7	100.0						
(女)	95.0	100.0						

県全体の値との比較

		※人口10万対	指標値	県全体	←低い	高い→	
県民意識・行動	県民意識	健康診断受診率	64.3	67.6			
		医療機関受診を勧められたが行かなかった	9.6	6.8			
		保健指導を受けて実行	30.5	22.7			
		かかりつけ医を決めている	67.0	65.5			
		かかりつけ歯科医を決めている	62.9	61.7			
		かかりつけ薬局を決めている	47.8	42.8			
		不自由を感じる診療科目がない	27.1	33.7			
		定期的に通院する医療機関あり	53.6	54.3			
	行動	自宅で最期を迎えたい	41.9	42.2			
		満足度	健康状態	32.6	37.0		
			睡眠	50.5	48.2		
			日常生活動作	40.9	46.0		
			仕事能力	41.2	44.9		
			自己評価	34.0	41.7		
			人間関係	45.0	51.2		
友人との交流	50.5		57.2				
金銭関係	39.5	41.0					
医療・福祉サービスの利用しやすさ	28.5	30.3					
交通アクセス	20.6	33.2					
サプライ指標（県医療施設機能等調査）	施設設備	ICU	5.1	7.0			
		HCU	0.0	3.6			
		緩和ケア専用病床数	0.0	11.4			
		人工腎臓（透析）装置	5.7	5.5			
		患者搬送車	8.9	8.9			
		自家発電装置	20.4	19.5			
		リハビリ	15	19			
		脳血管リハⅠ	4.5	3.7			
	検診・手術の実施状況	運動器リハⅠ	7.0	8.8			
		肺がん検診	12.8	11.2			
		胃がん検診	17.9	17.1			
		大腸がん検診	12.1	12.9			
		呼吸器がん手術	1.3	1.0			
		上部がん手術（食道・胃）	3.8	3.4			
		下部がん手術（大腸・直腸）	3.8	3.5			
		乳がん手術	4.5	2.3			
		子宮がん手術	0.6	0.7			
		胸腔鏡下手術	1.9	1.3			
		内視鏡下手術	8.9	7.5			
		t-P A（血栓溶解療法）	3.2	2.2			
		PTCA（経皮経管的冠動脈形成術）	2.6	1.3			
		その他	認知症（BPSDを含む）	24.9	24.6		
PTSD（心的外傷後ストレス障害）	4.5		5.5				
精神科急患の身体合併症患者発生時連携医療施設	4.5		6.5				
糖尿病教育入院	8.9		8.9				
禁煙外来	10.2		10.4				
在宅医療・訪問看護	30.6		28.6				
在宅看取り	14.0		12.6				
地域連携診療計画管理の届出	3.8		3.9				
退院時カンファレンス	17.9	18.3					
施設	病院数（医療施設調査）	14.0	15.0				
	有床診療所数（ " ）	20.6	19.2				
	無床診療所数（ " ）	53.2	66.6				
	歯科診療所（ " ）	44.6	50.0				
	病床数（ " ）	2,344.7	2,365.2				
医療従事者	医師数（衛生統計年報）	201.2	281.6				
	歯科医師数（ " ）	53.3	82.0				
	薬剤師数（ " ）	169.7	197.1				
	保健師数（看護関係者の現状）	53.3	58.3				
	助産師数（ " ）	23.7	38.8				
	看護師数（ " ）	1,227.1	1,394.3				
	准看護師数（ " ）	649.7	550.2				

- SMRは男女ともに肺炎が低く、女性の糖尿病が高い。標準化受診比は男女とも入院は心疾患が高く、脳血管疾患は低い。
- 医療施設数や医療従事者数が少ない。

熊毛保健医療圏の地域診断

基本指標

- 人口：39,550人 ○面積：993.7km²
- 出生数：246人 ○死亡数：642人
- 構成市町村：西之表市，中種子町，南種子町，屋久島町



(注)県全体を基準として、左方向が県平均より「低い」、
右方向が県平均より「高い」ことを表しており、幅が
大きいほど県平均との差が大きい。

県全体の値との比較

		指標値	県全体	←低い		高い→	
上位指標	健康寿命(男)	78.7	79.2				
	(女)	84.9	84.0				
	65歳未満死亡割合(男)	12.3	11.9				
	(女)	3.1	5.1				
	QOL(男)	35.2	35.9				
	(女)	35.5	35.8				
基本指標	出生率	6.3	7.5				
	死亡率	16.3	13.9				
	合計特殊出生率(H28~R2)	1.98	1.69				
	高齢化率	37.6	32.8				
	高齢単身世帯割合	21.2	16.4				
	高齢夫婦世帯割合	16.9	14.9				
アウトカム指標 (SMR)	全死因(男)	121.6	105.0				
	(女)	110.3	103.8				
	悪性新生物(男)	118.4	98.0				
	(女)	98.5	94.9				
	心疾患(男)	108.6	100.1				
	(女)	115.6	105.8				
	急性心筋梗塞(男)	152.8	132.9				
	(女)	180.5	148.2				
	脳血管疾患(男)	104.6	114.1				
	(女)	106.6	116.0				
	糖尿病(男)	77.8	112.7				
	(女)	125.6	105.1				
	肺炎(男)	156.8	120.4				
	(女)	125.6	130.5				
	肝疾患(男)	91.5	104.0				
	(女)	116.4	98.3				
	腎不全(男)	89.8	118.0				
	(女)	112.9	133.0				
	不慮の事故(男)	193.4	123.7				
	(女)	121.1	104.7				
自殺(男)	142.5	116.4					
(女)	86.0	84.5					
	1人当たり老人医療費	968.4	1,118.2				
	1人当たり国保医療費	381.1	458.4				
ニーズ・デマンド指標	入院計(男)	86.6	100.0				
	(女)	88.3	100.0				
	悪性新生物(男)	110.0	100.0				
	(女)	78.7	100.0				
	心疾患(男)	79.5	100.0				
	(女)	192.4	100.0				
	脳血管疾患(男)	106.6	100.0				
	(女)	52.4	100.0				
	精神疾患(男)	65.0	100.0				
	(女)	63.8	100.0				
	糖尿病(男)	66.0	100.0				
	(女)	57.1	100.0				
	腎疾患(男)	123.2	100.0				
	(女)	57.6	100.0				
	外来計(男)	64.5	100.0				
	(女)	65.1	100.0				
	悪性新生物(男)	79.3	100.0				
	(女)	73.2	100.0				
	心疾患(男)	76.2	100.0				
	(女)	64.8	100.0				
	脳血管疾患(男)	45.7	100.0				
	(女)	35.2	100.0				
	精神疾患(男)	58.6	100.0				
	(女)	54.7	100.0				
糖尿病(男)	63.4	100.0					
(女)	66.0	100.0					
腎疾患(男)	123.2	100.0					
(女)	111.4	100.0					

県全体の値との比較

※人口10万対		指標値	県全体	←低い		高い→	
県民意識・行動指標	健康診断受診率	70.5	67.6				
	医療機関受診を勧められたが行かなかった	9.0	6.8				
	保健指導を受けて実行	23.0	22.7				
	かかりつけ医を決めている	61.3	65.5				
	かかりつけ歯科医を決めている	59.5	61.7				
	かかりつけ薬局を決めている	47.4	42.8				
	不自由を感じる診療科目がない	11.0	33.7				
	定期的に通院する医療機関あり	39.9	54.3				
	自宅で最期を迎えたい	54.3	42.2				
	健康状態	34.1	37.0				
	睡眠	52.6	48.2				
	日常生活動作	42.2	46.0				
	仕事能力	47.4	44.9				
	自己評価	40.5	41.7				
人間関係	52.6	51.2					
友人との交流	59.0	57.2					
金銭関係	34.1	41.0					
医療・福祉サービスの利用しやすさ	19.1	30.3					
交通アクセス	19.7	33.2					
サプライ指標（県医療施設機能等調査）	ICU	0.0	7.0				
	HCU	0.0	3.6				
	緩和ケア専用病床数	0.0	11.4				
	人工腎臓（透析）装置	7.0	5.5				
	患者搬送車	4.7	8.9				
	自家発電装置	16.4	19.5				
	リハビリ	9	19				
	脳血管リハI	2.3	3.7				
	運動器リハI	2.3	8.8				
	検診・手術の実施状況						
肺がん検診	11.7	11.2					
胃がん検診	9.4	17.1					
大腸がん検診	11.7	12.9					
呼吸器がん手術	0.0	1.0					
上部がん手術（食道・胃）	2.3	3.4					
下部がん手術（大腸・直腸）	2.3	3.5					
乳がん手術	2.3	2.3					
子宮がん手術	0.0	0.7					
胸腔鏡下手術	0.0	1.3					
内視鏡下手術	4.7	7.5					
t-P A（血栓溶解療法）	2.3	2.2					
PTCA（経皮経管的冠動脈形成術）	2.3	1.3					
その他							
認知症（BPSDを含む）	7.0	24.6					
PTSD（心的外傷後ストレス障害）	0.0	5.5					
精神科急患の身体合併症患者発生時連携医療施設	4.7	6.5					
糖尿病教育入院	4.7	8.9					
禁煙外来	4.7	10.4					
在宅医療・訪問看護	16.4	28.6					
在宅看取り	4.7	12.6					
地域連携診療計画管理の届出	0.0	3.9					
退院時カンファレンス	9.4	18.3					
施設	病院数（医療施設調査）	9.9	15.0				
	有床診療所数（ " ）	9.9	19.2				
	無床診療所数（ " ）	49.7	66.6				
	歯科診療所（ " ）	27.3	50.0				
	病床数（ " ）	1,502.9	2,365.2				
医療従事者	医師数（衛生統計年報）	134.5	281.6				
	歯科医師数（ " ）	44.0	82.0				
	薬剤師数（ " ）	119.8	197.1				
	保健師数（看護関係者の現状）	90.5	58.3				
	助産師数（ " ）	29.3	38.8				
	看護師数（ " ）	740.7	1,394.3				
	准看護師数（ " ）	581.8	550.2				

- 65歳未満死亡割合は女性が低い。合計特殊出生率が高い。
- SMRは悪性新生物，急性心筋梗塞，肺炎，不慮の事故が男女ともに高い。標準化受診比は全体的に低い。
- 医療施設数や医療従事者数が少ない。

奄美保健医療圏の地域診断

基本指標

- 人口：104,281人 ○面積：1,240.2km²
- 出生数：751人 ○死亡数：1,697人
- 構成市町村：奄美市，大和村，宇検村，瀬戸内町，龍郷町，喜界町，
徳之島町，天城町，伊仙町，和泊町，知名町，与論町



(注)県全体を基準として、左方向が県平均より「低い」、
右方向が県平均より「高い」ことを表しており、幅が
大きいほど県平均との差が大きい。

		指標値	県全体	県全体の値との比較	
				←低い	高い→
上位指標	健康寿命(男)	77.1	79.2	[Bar chart showing 77.1 vs 79.2]	
	(女)	83.6	84.0	[Bar chart showing 83.6 vs 84.0]	
	65歳未満死亡割合(男)	17.3	11.9	[Bar chart showing 17.3 vs 11.9]	
	(女)	4.6	5.1	[Bar chart showing 4.6 vs 5.1]	
	QOL(男)	36.3	35.9	[Bar chart showing 36.3 vs 35.9]	
	(女)	35.3	35.8	[Bar chart showing 35.3 vs 35.8]	
基本指標	出生率	7.3	7.5	[Bar chart showing 7.3 vs 7.5]	
	死亡率	16.4	13.9	[Bar chart showing 16.4 vs 13.9]	
	合計特殊出生率(H28~R2)	2.07	1.69	[Bar chart showing 2.07 vs 1.69]	
	高齢化率	35.1	32.8	[Bar chart showing 35.1 vs 32.8]	
	高齢単身世帯割合	20.4	16.4	[Bar chart showing 20.4 vs 16.4]	
	高齢夫婦世帯割合	14.2	14.9	[Bar chart showing 14.2 vs 14.9]	
アウトカム指標 (標準化死亡比(SMR))	全死因(男)	126.9	105.0	[Bar chart showing 126.9 vs 105.0]	
	(女)	110.2	103.8	[Bar chart showing 110.2 vs 103.8]	
	悪性新生物(男)	112.8	98.0	[Bar chart showing 112.8 vs 98.0]	
	(女)	91.7	94.9	[Bar chart showing 91.7 vs 94.9]	
	心疾患(男)	104.1	100.1	[Bar chart showing 104.1 vs 100.1]	
	(女)	92.1	105.8	[Bar chart showing 92.1 vs 105.8]	
	急性心筋梗塞(男)	137.8	132.9	[Bar chart showing 137.8 vs 132.9]	
	(女)	150.1	148.2	[Bar chart showing 150.1 vs 148.2]	
	脳血管疾患(男)	133.4	114.1	[Bar chart showing 133.4 vs 114.1]	
	(女)	133.9	116.0	[Bar chart showing 133.9 vs 116.0]	
	糖尿病(男)	109.3	112.7	[Bar chart showing 109.3 vs 112.7]	
	(女)	103.8	105.1	[Bar chart showing 103.8 vs 105.1]	
	肺炎(男)	104.8	120.4	[Bar chart showing 104.8 vs 120.4]	
	(女)	83.7	130.5	[Bar chart showing 83.7 vs 130.5]	
	肝疾患(男)	224.2	104.0	[Bar chart showing 224.2 vs 104.0]	
	(女)	132.1	98.3	[Bar chart showing 132.1 vs 98.3]	
	腎不全(男)	116.1	118.0	[Bar chart showing 116.1 vs 118.0]	
	(女)	136.2	133.0	[Bar chart showing 136.2 vs 133.0]	
	不慮の事故(男)	188.6	123.7	[Bar chart showing 188.6 vs 123.7]	
	(女)	105.4	104.7	[Bar chart showing 105.4 vs 104.7]	
自殺(男)	174.0	116.4	[Bar chart showing 174.0 vs 116.4]		
(女)	52.5	84.5	[Bar chart showing 52.5 vs 84.5]		
	1人当たり老人医療費	995.2	1,118.2	[Bar chart showing 995.2 vs 1,118.2]	
	1人当たり国保医療費	369.4	458.4	[Bar chart showing 369.4 vs 458.4]	
ニーズ・デマンド指標 (標準化受診比)	入院計(男)	92.6	100.0	[Bar chart showing 92.6 vs 100.0]	
	(女)	88.9	100.0	[Bar chart showing 88.9 vs 100.0]	
	悪性新生物(男)	100.3	100.0	[Bar chart showing 100.3 vs 100.0]	
	(女)	100.8	100.0	[Bar chart showing 100.8 vs 100.0]	
	心疾患(男)	104.9	100.0	[Bar chart showing 104.9 vs 100.0]	
	(女)	133.9	100.0	[Bar chart showing 133.9 vs 100.0]	
	脳血管疾患(男)	91.2	100.0	[Bar chart showing 91.2 vs 100.0]	
	(女)	84.7	100.0	[Bar chart showing 84.7 vs 100.0]	
	精神疾患(男)	77.8	100.0	[Bar chart showing 77.8 vs 100.0]	
	(女)	71.6	100.0	[Bar chart showing 71.6 vs 100.0]	
	糖尿病(男)	104.9	100.0	[Bar chart showing 104.9 vs 100.0]	
	(女)	237.5	100.0	[Bar chart showing 237.5 vs 100.0]	
	腎疾患(男)	53.5	100.0	[Bar chart showing 53.5 vs 100.0]	
	(女)	101.9	100.0	[Bar chart showing 101.9 vs 100.0]	
	外来計(男)	78.1	100.0	[Bar chart showing 78.1 vs 100.0]	
	(女)	73.9	100.0	[Bar chart showing 73.9 vs 100.0]	
	悪性新生物(男)	74.8	100.0	[Bar chart showing 74.8 vs 100.0]	
	(女)	74.8	100.0	[Bar chart showing 74.8 vs 100.0]	
	心疾患(男)	78.3	100.0	[Bar chart showing 78.3 vs 100.0]	
	(女)	90.9	100.0	[Bar chart showing 90.9 vs 100.0]	
脳血管疾患(男)	54.6	100.0	[Bar chart showing 54.6 vs 100.0]		
(女)	55.2	100.0	[Bar chart showing 55.2 vs 100.0]		
精神疾患(男)	86.0	100.0	[Bar chart showing 86.0 vs 100.0]		
(女)	79.6	100.0	[Bar chart showing 79.6 vs 100.0]		
糖尿病(男)	78.4	100.0	[Bar chart showing 78.4 vs 100.0]		
(女)	84.9	100.0	[Bar chart showing 84.9 vs 100.0]		
腎疾患(男)	53.5	100.0	[Bar chart showing 53.5 vs 100.0]		
(女)	73.0	100.0	[Bar chart showing 73.0 vs 100.0]		

県全体の値との比較

		※人口10万対	指標値	県全体	←低い		高い→
県民意識・行動	健康診断受診率		68.4	67.6			
	医療機関受診を勧められたが行かなかった		5.8	6.8			
	保健指導を受けて実行		21.1	22.7			
	かかりつけ医を決めている		60.0	65.5			
	かかりつけ歯科医を決めている		56.5	61.7			
	かかりつけ薬局を決めている		40.8	42.8			
	不自由を感じる診療科目がない		14.4	33.7			
	定期的に通院する医療機関あり		54.5	54.3			
	自宅で最期を迎えたい		50.5	42.2			
	健康状態		33.3	37.0			
	睡眠		44.8	48.2			
	日常生活動作		45.5	46.0			
	仕事能力		45.5	44.9			
	自己評価		41.5	41.7			
人間関係		51.0	51.2				
友人との交流		59.2	57.2				
金銭関係		36.8	41.0				
医療・福祉サービスの利用しやすさ		28.6	30.3				
交通アクセス		27.4	33.2				
施設設備	ICU		3.6	7.0			
	HCU		5.4	3.6			
	緩和ケア専用病床数		0.0	11.4			
	人工腎臓(透析)装置		7.3	5.5			
	患者搬送車		5.4	8.9			
	自家発電装置		21.8	19.5			
	リハビリ		16	19			
	脳血管リハI		1.8	3.7			
	運動器リハI		3.6	8.8			
	肺がん検診		17.2	11.2			
	胃がん検診		20.9	17.1			
	大腸がん検診		19.1	12.9			
	呼吸器がん手術		0.9	1.0			
	上部がん手術(食道・胃)		2.7	3.4			
下部がん手術(大腸・直腸)		2.7	3.5				
乳がん手術		0.9	2.3				
子宮がん手術		0.0	0.7				
胸腔鏡下手術		0.9	1.3				
内視鏡下手術		6.4	7.5				
t-P A(血栓溶解療法)		0.9	2.2				
PTCA(経皮経管的冠動脈形成術)		1.8	1.3				
その他	認知症(BPSDを含む)		24.5	24.6			
	PTSD(心的外傷後ストレス障害)		5.4	5.5			
	精神科急患の身体合併症患者発生時連携医療施設		10.0	6.5			
	糖尿病教育入院		8.2	8.9			
	禁煙外来		12.7	10.4			
	在宅医療・訪問看護		26.3	28.6			
	在宅看取り		17.2	12.6			
	地域連携診療計画管理の届出		1.8	3.9			
	退院時カンファレンス		17.2	18.3			
	病院数(医療施設調査)		14.3	15.0			
有床診療所数(")		18.1	19.2				
無床診療所数(")		62.8	66.6				
歯科診療所(")		37.1	50.0				
病床数(")		2,645.0	2,365.2				
医師数(衛生統計年報)		189.1	281.6				
歯科医師数(")		52.9	82.0				
薬剤師数(")		127.6	197.1				
保健師数(看護関係者の現状)		87.9	58.3				
助産師数(")		44.4	38.8				
看護師数(")		1,264.7	1,394.3				
准看護師数(")		515.2	550.2				

- 男性は、65歳未満死亡割合が高く、健康寿命が低い。合計特殊出生率は高い。
- SMRは男女ともに肝疾患が高く、男性は不慮の事故が高い。標準化受診比は全体的に低い、女性の糖尿病が高い。
- 医療従事者数が少ない。

【図表 1-3-86】圏域別人口動態等主要指標の状況

項目		鹿児島	南薩	川薩	出水	始良・伊佐	曾於	肝属	熊毛	奄美	県	
人口動態等	総人口* (人)	668,916	125,011	112,646	80,969	233,055	75,024	148,804	39,550	104,281	1,588,256	
	15歳未満 (人)	85,217	13,925	14,949	10,173	32,159	9,087	20,218	5,103	14,550	205,381	
	15～64歳 (人)	360,064	60,522	58,742	41,084	126,161	36,480	76,531	19,579	53,031	832,194	
	65歳以上 (人)	185,913	49,866	38,144	28,967	72,043	29,179	50,429	14,843	36,507	505,891	
	人口構成*	15歳未満 (%)	13.5	11.2	13.4	12.7	14.0	12.2	13.7	12.9	14.0	13.3
		15～64歳 (%)	57.0	48.7	52.5	51.2	54.8	48.8	52.0	49.5	50.9	53.9
		65歳以上 (%)	29.5	40.1	34.1	36.1	31.3	39.0	34.3	37.6	35.1	32.8
	高齢単身世帯 (%)	13.3	21.1	17.8	18.5	16.0	21.4	18.3	21.2	20.4	16.4	
	高齢夫婦世帯 (%)	13.0	19.2	15.6	17.2	15.4	19.0	16.1	16.9	14.2	14.9	
	出生数・率	人	5,281	685	803	536	1,773	418	1,145	246	751	11,638
		(‰)	8.3	5.5	7.2	6.7	7.7	5.7	7.8	6.3	7.3	7.5
	合計特殊出生率 (H28～R2)		1.59	1.62	1.81	1.85	1.71	1.75	1.89	1.98	2.07	1.69
	死亡数・率	人	7,241	2,200	1,680	1,229	3,120	1,346	2,346	642	1,697	21,501
		(‰)	11.3	17.8	15.1	15.4	13.6	18.2	16.0	16.3	16.4	13.9
	65歳未満死亡数・割合	人	688	157	107	96	246	95	178	49	188	1,804
		(%)	9.5	7.1	6.4	7.8	7.9	7.1	7.6	7.6	11.1	8.4
	死産数・率	(胎)	131	19	20	16	39	9	23	6	15	278
		(‰)	24.2	27.0	24.3	29.0	21.5	21.1	19.7	23.8	19.6	23.3
	周産期死亡数・率	(胎・人)	15	3	2	1	4	0	2	2	5	34
		(‰)	2.8	4.4	2.5	1.9	2.3	0.0	1.7	8.1	6.6	2.9
死因別死亡数	悪性新生物 (人)	1,873	561	421	301	768	319	545	158	412	5,358	
	心疾患 (人)	1,052	348	306	169	495	230	373	97	225	3,295	
	脳血管疾患 (人)	558	194	152	91	275	98	179	50	129	1,726	
	その他 (人)	3,758	1,097	804	670	1,582	700	1,252	337	931	11,131	
死因別死亡割合	悪性新生物 (%)	25.9	25.5	25.0	24.5	24.6	23.7	23.2	24.6	24.3	24.9	
	心疾患 (%)	14.5	15.8	18.2	13.7	15.9	17.1	15.9	15.1	13.3	15.3	
	脳血管疾患 (%)	7.7	8.8	9.0	7.4	8.8	7.3	7.6	7.8	7.6	8.0	
	その他 (%)	51.9	49.9	47.8	54.4	50.7	52.0	53.3	52.5	54.9	51.8	
医療費	一人当たり後期高齢医療費 (千円)	1,188	1,198	1,101	1,049	1,161	977	1,016	968	995	1,118	
	一人当たり国保医療費 (千円)	469	491	497	494	481	445	423	381	369	458	
健康寿命	男性 (年)	79.6	78.0	81.0	79.0	79.9	78.7	79.0	78.7	77.1	79.2	
	女性 (年)	78.7	83.2	85.4	83.9	84.8	82.7	83.6	84.9	83.6	84.0	
QOL	男性	36.1	36.4	33.9	36.3	36.5	36.0	35.6	35.2	36.3	35.9	
	女性	36.2	36.6	36.0	34.9	35.7	35.6	35.1	35.5	35.3	35.8	

*総人口には年齢不詳人口を含む。人口構成の割合は、年齢不詳人口を除いて算出。

*端数処理のため、割合の計と内訳は一致しない。